

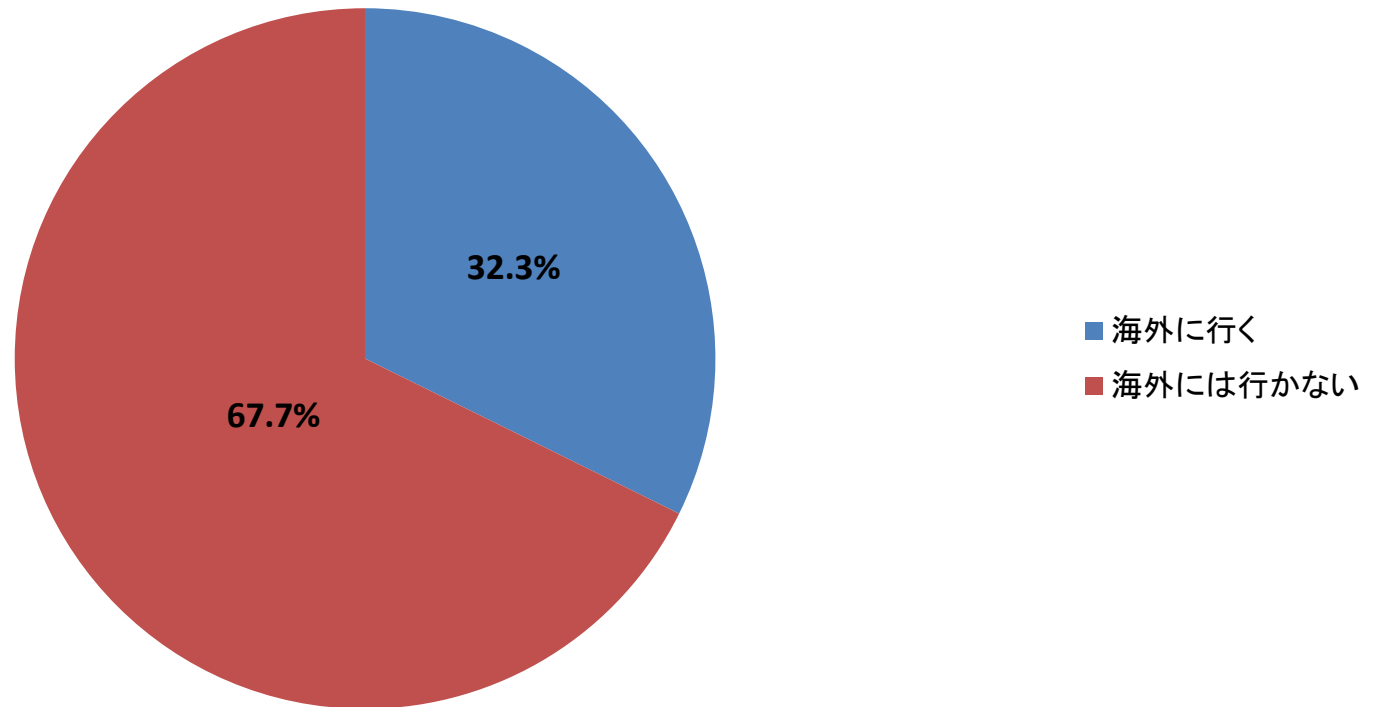
# babycom不妊実態調査結果 グラフ一覧

babycom

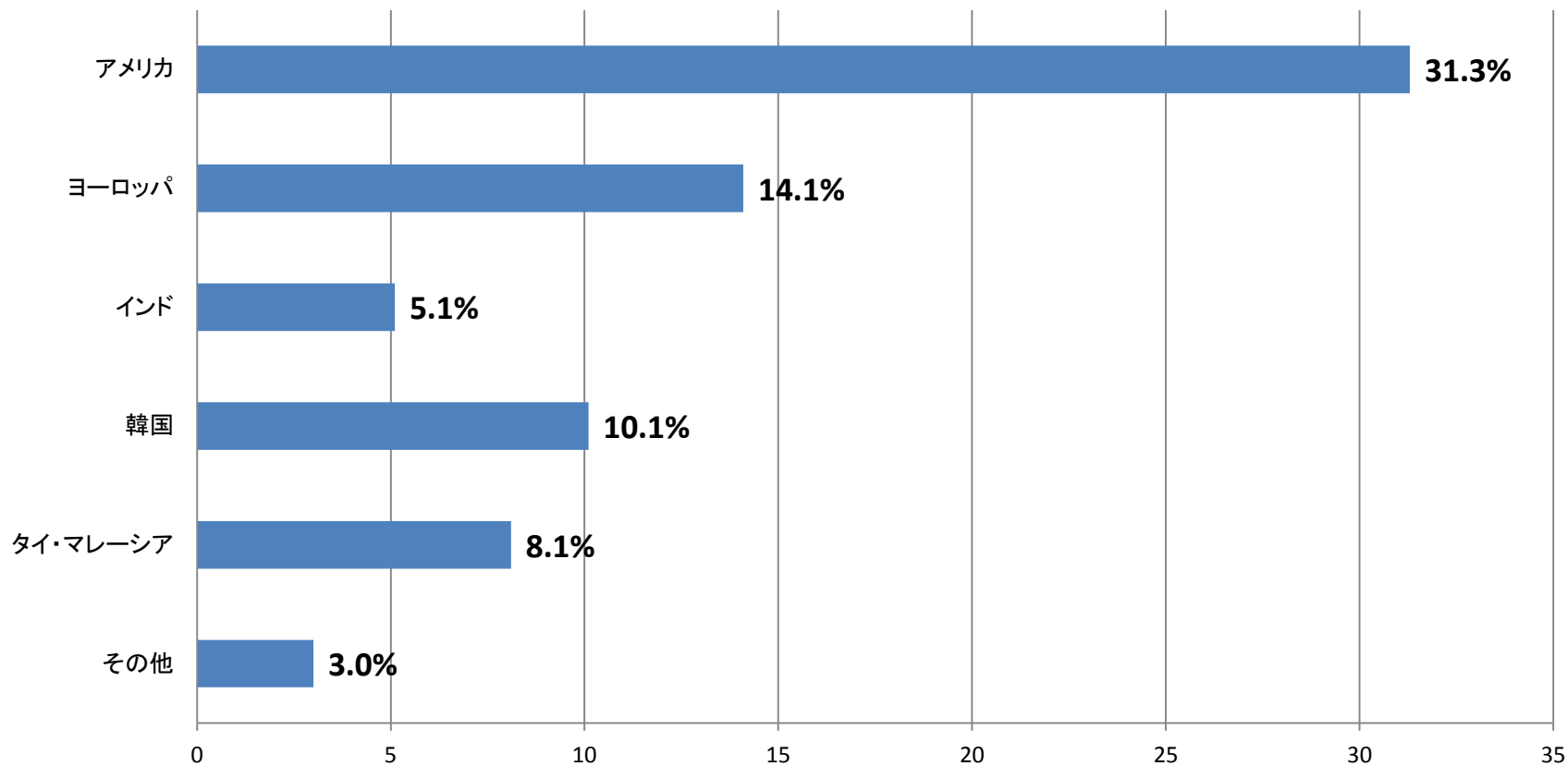
# 「不妊当事者の意識に関する調査」 実施概要

- 2011年8月5日～12月31日、webコミュニティ babycom([URL:http://www.babycom.gr.jp/](http://www.babycom.gr.jp/))で調査アンケート方式にて実施。
- 対象は不妊治療経験者(現在は治療中でない者も含む)、Web経由によるデータ送信方式で回収し、98票の回答(回収率不明)
- アンケート分量はA4版換算で8枚に相当(想定回答時間10分超)

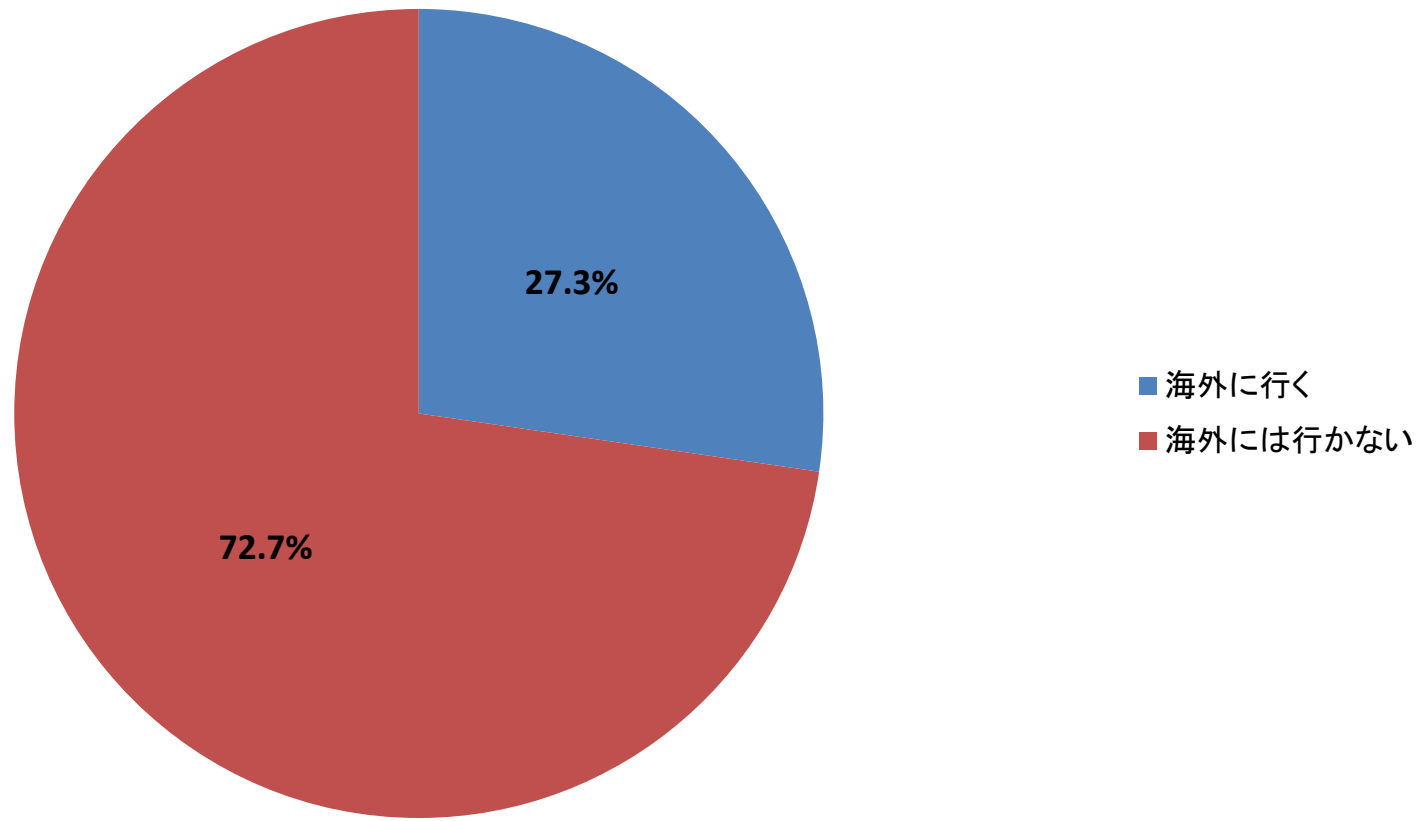
# 夫婦間体外受精を受けるために 海外渡航を考えるか



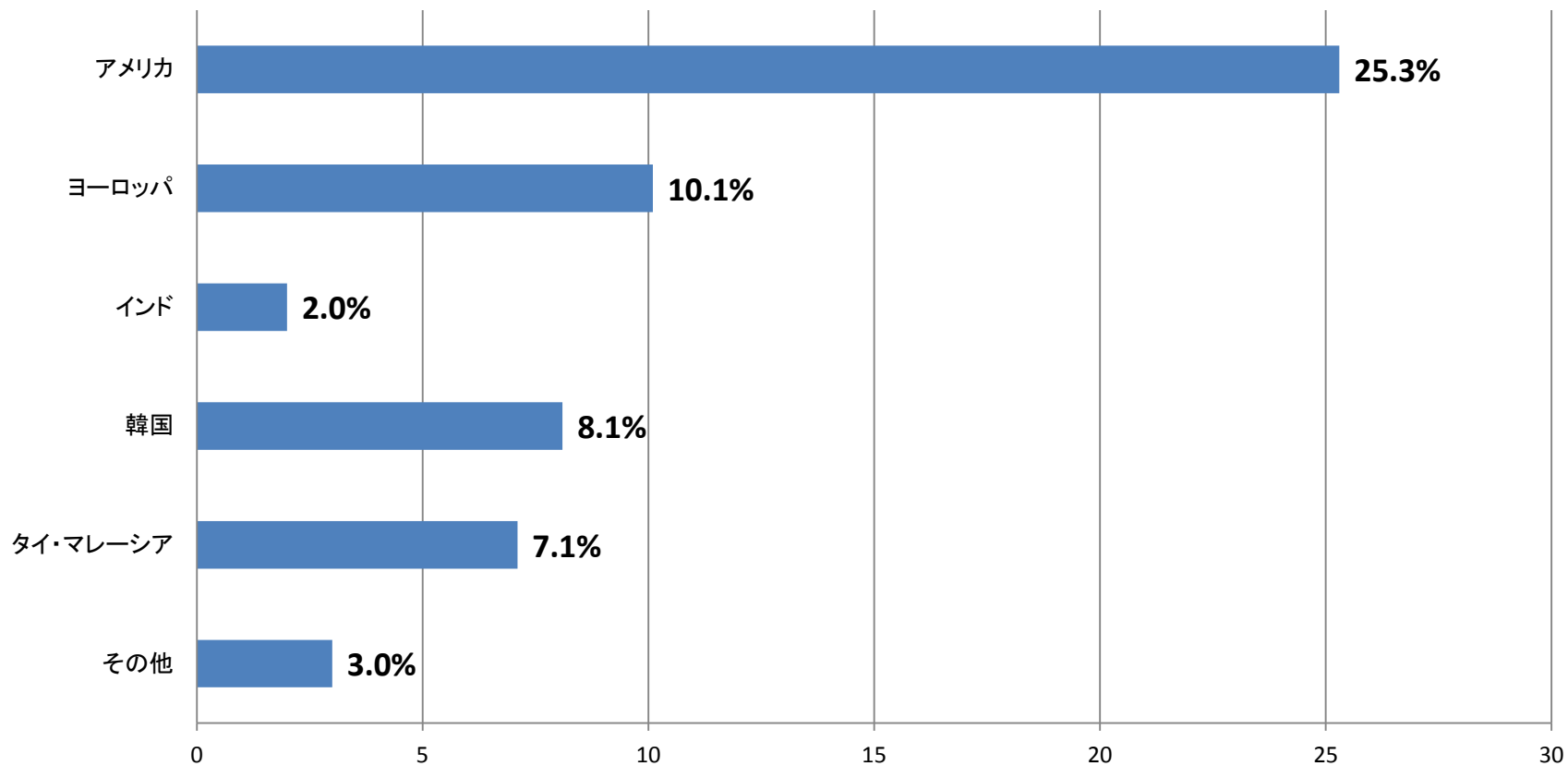
# 行ってみても良いと思う渡航先 夫婦間体外受精(複数回答可)



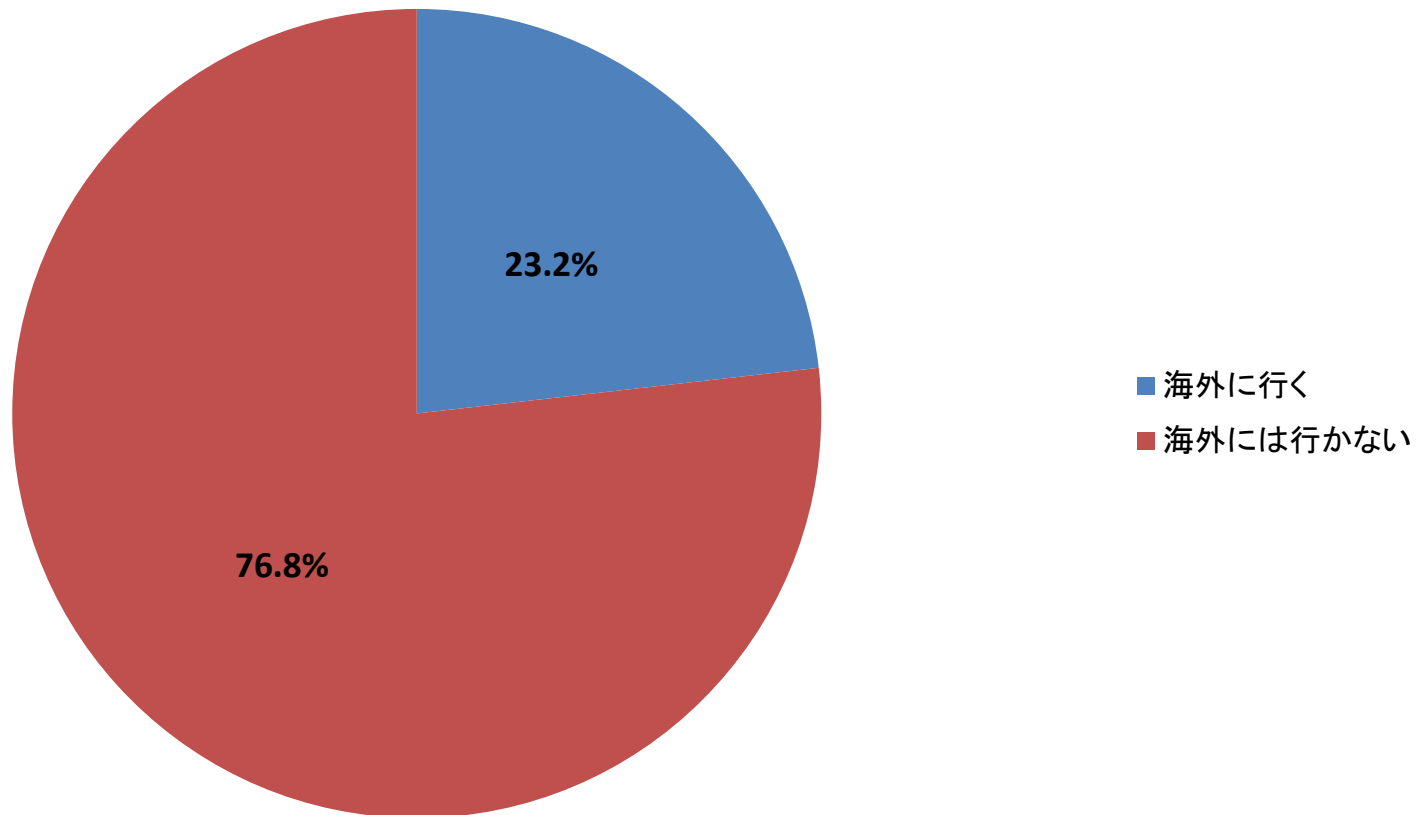
# 着床前診断を受けるために 海外渡航を考えるか



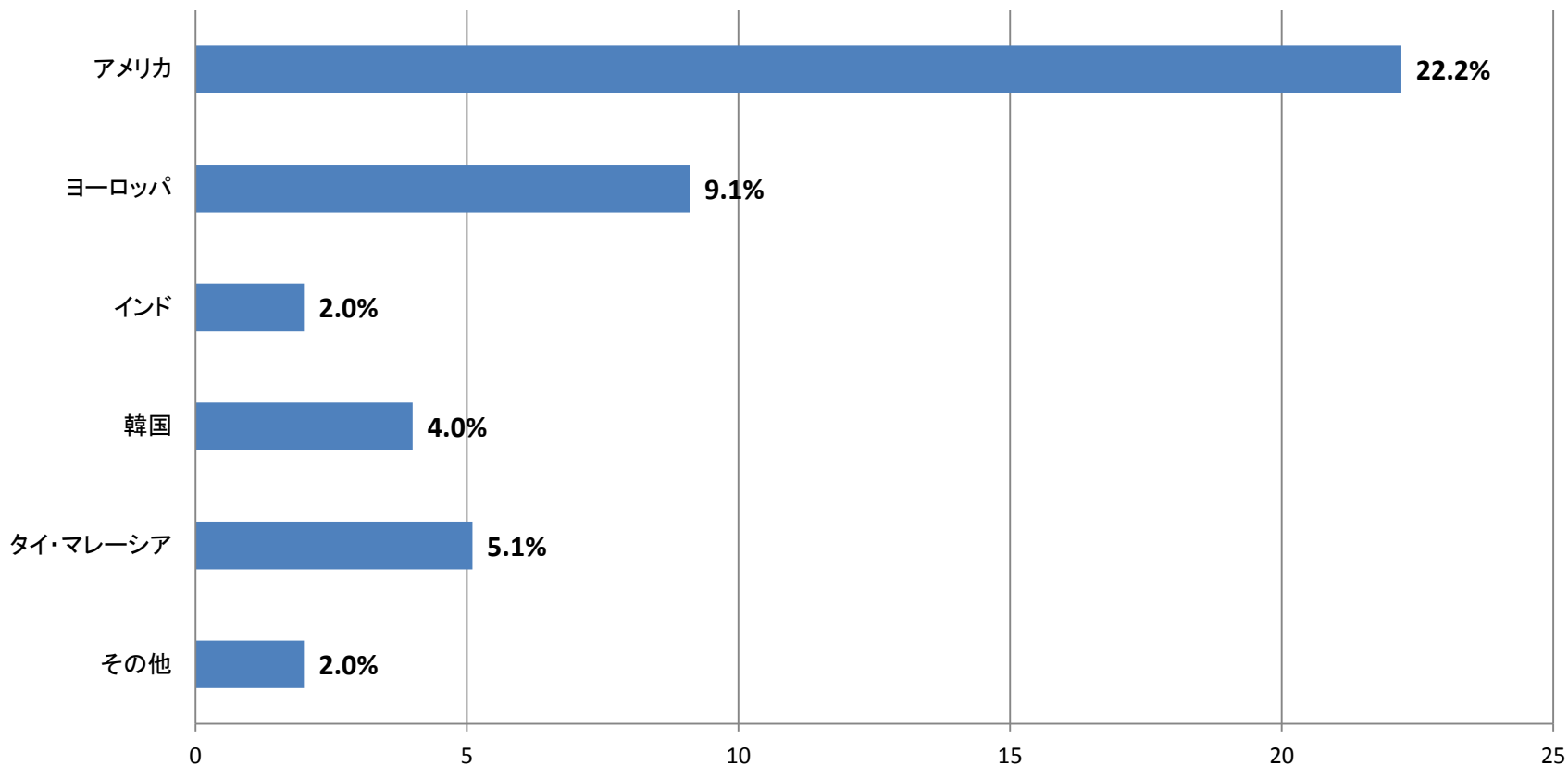
# 行ってみても良いと思う渡航先 着床前診断(複数回答可)



# 男女産み分けのために 海外渡航を考えるか

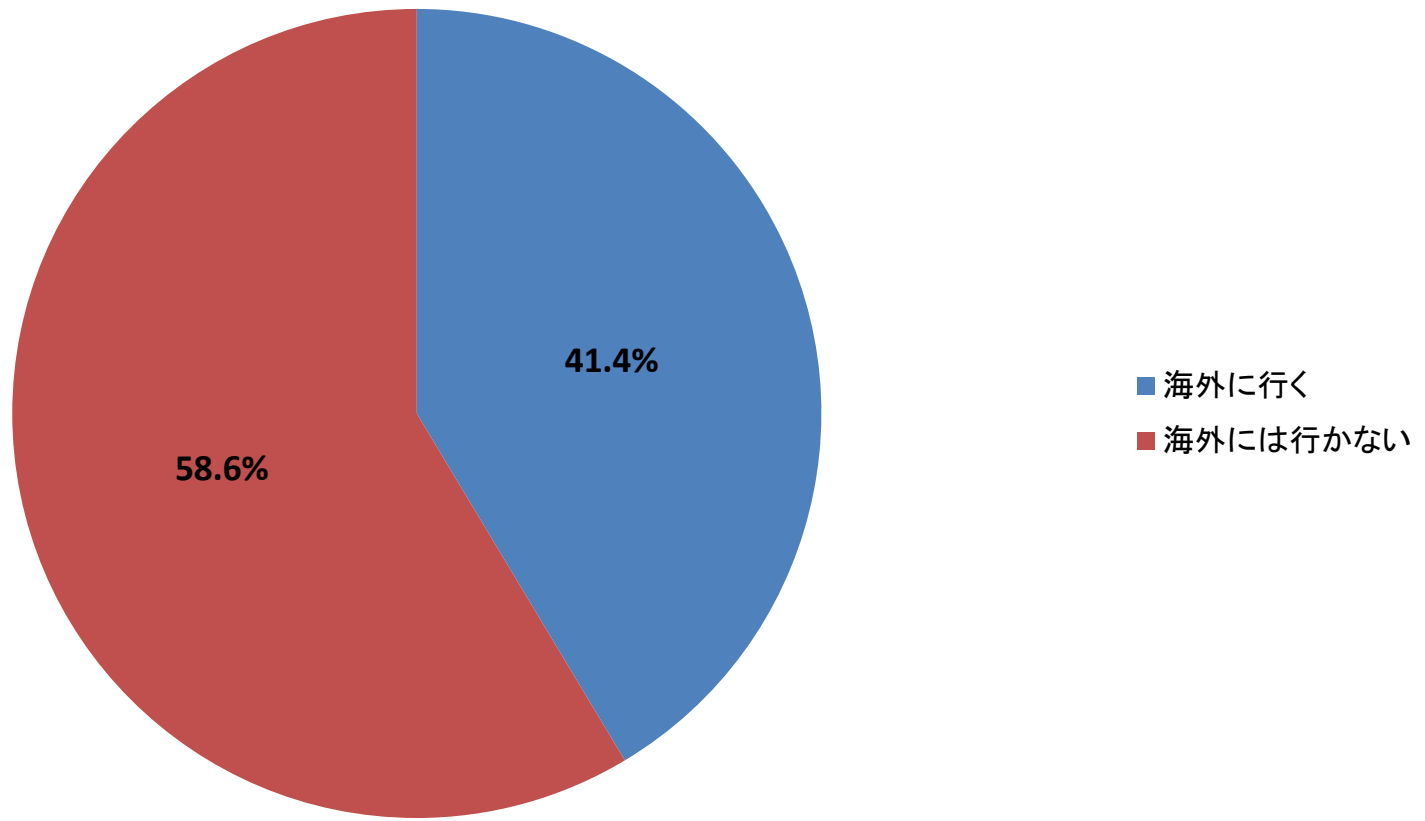


# 行ってみても良いと思う渡航先 男女産み分け(複数回答可)

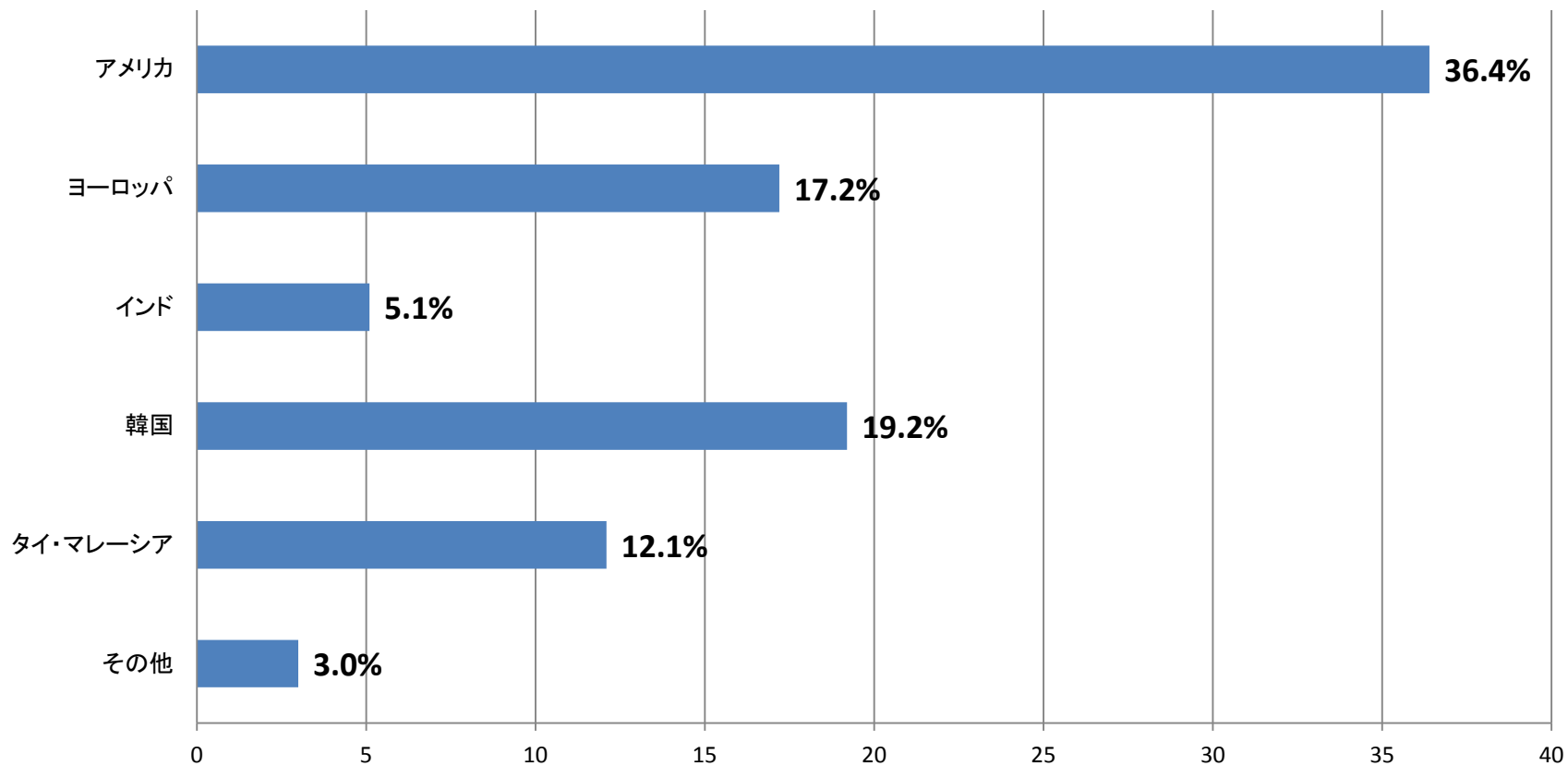




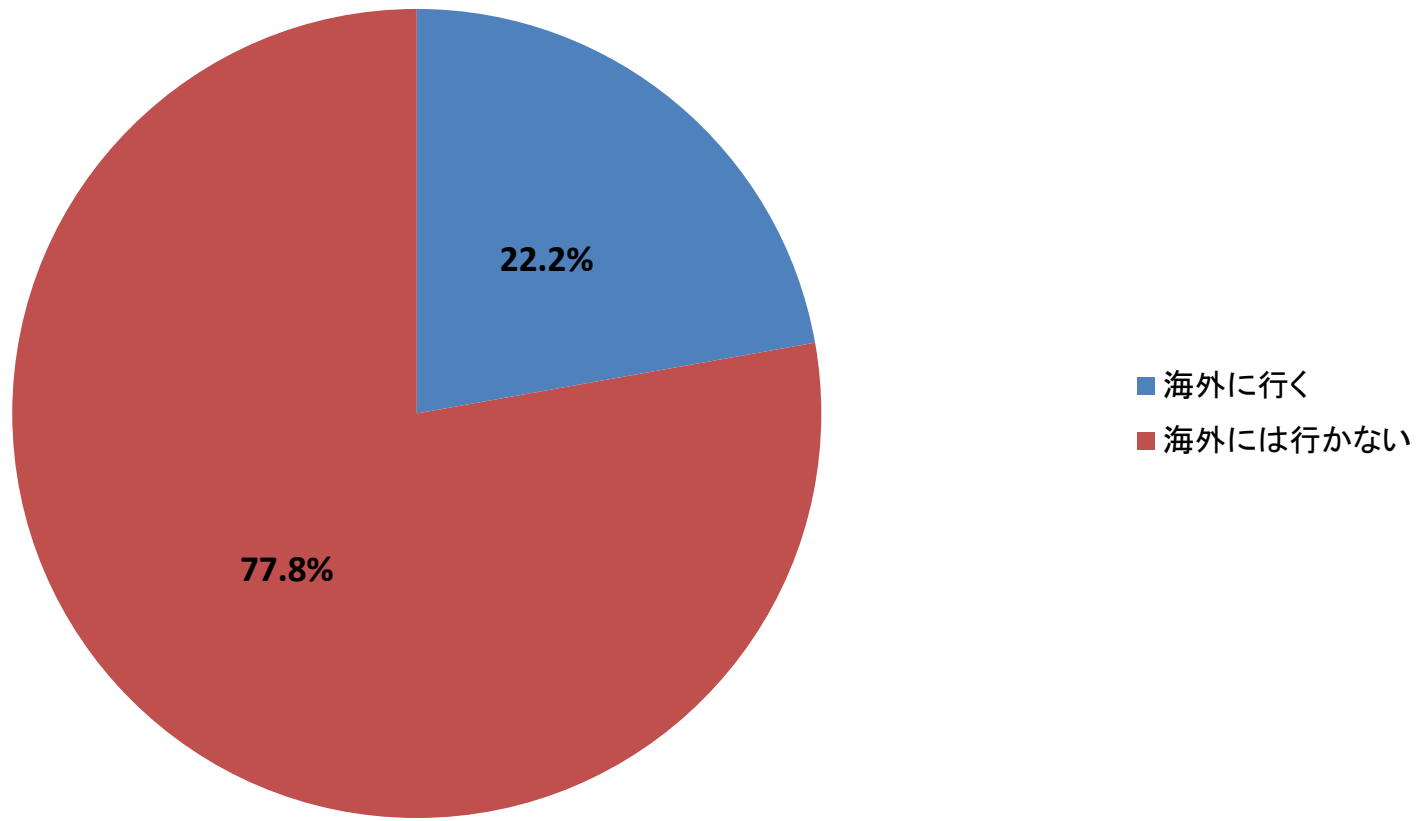
# 卵子提供を受けるために 海外渡航を考えるか



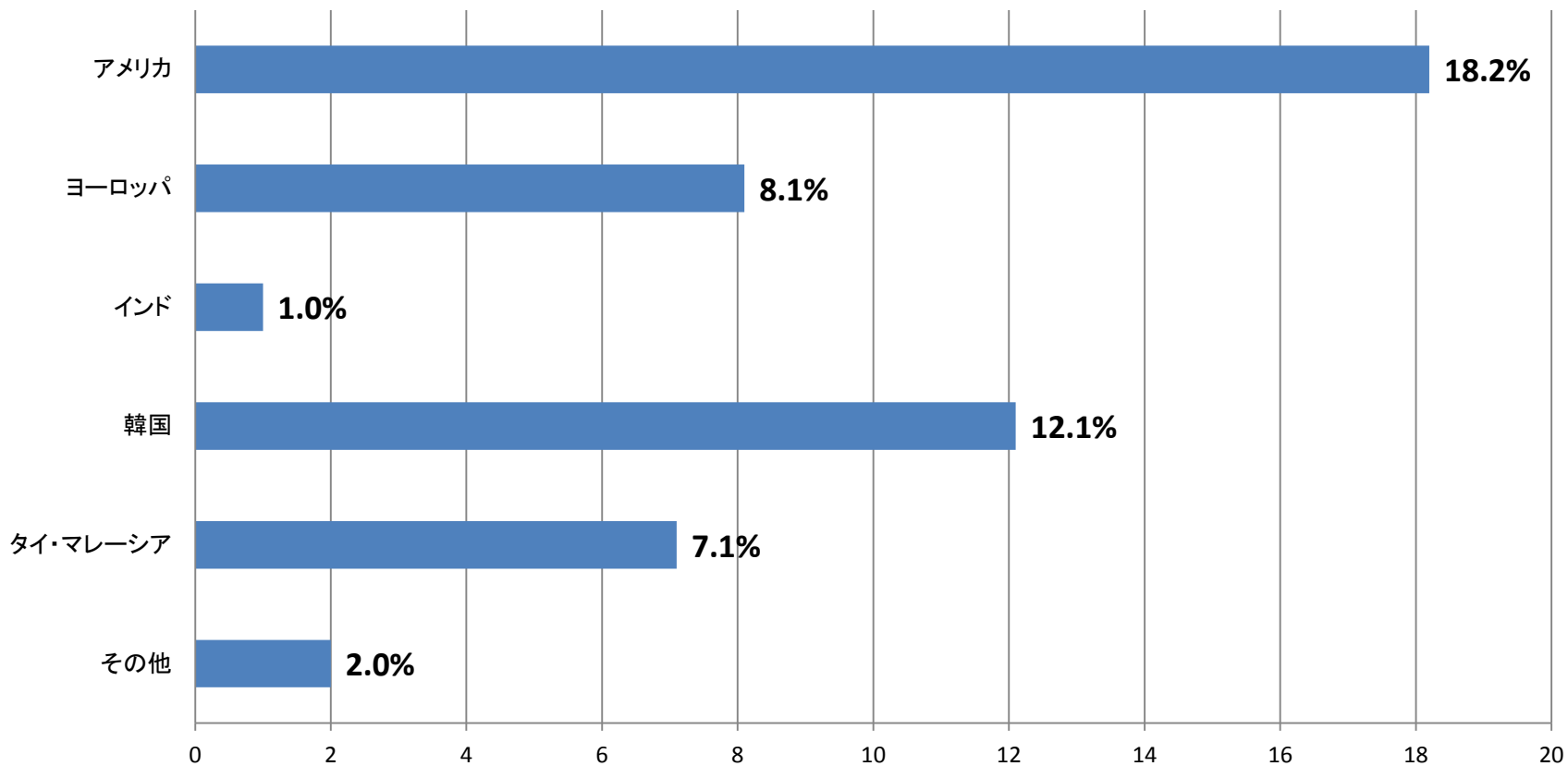
# 行ってみても良いと思う渡航先 卵子提供(複数回答可)



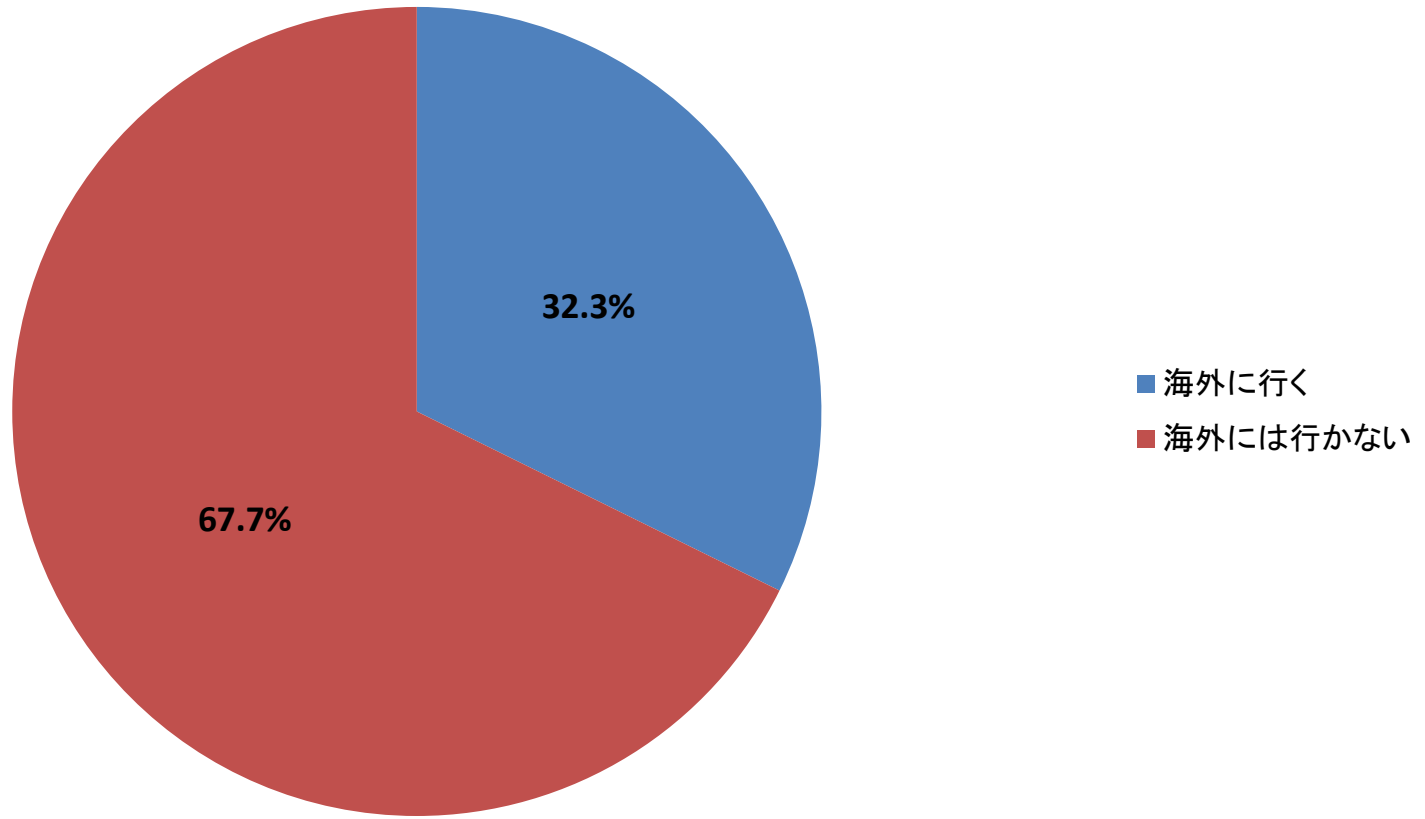
# 精子提供を受けるために 海外渡航を考えるか



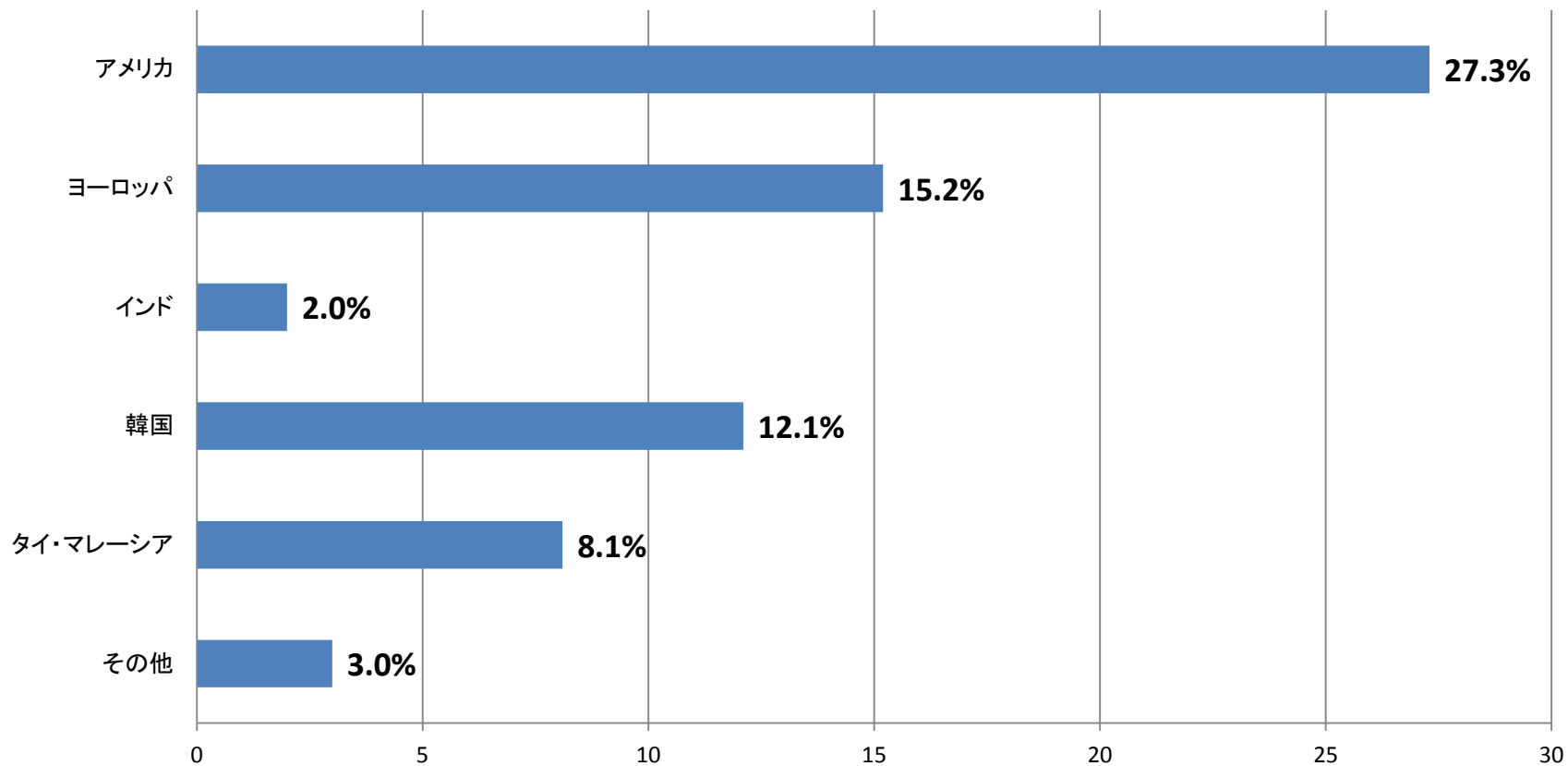
# 行ってみても良いと思う渡航先 精子提供(複数回答可)



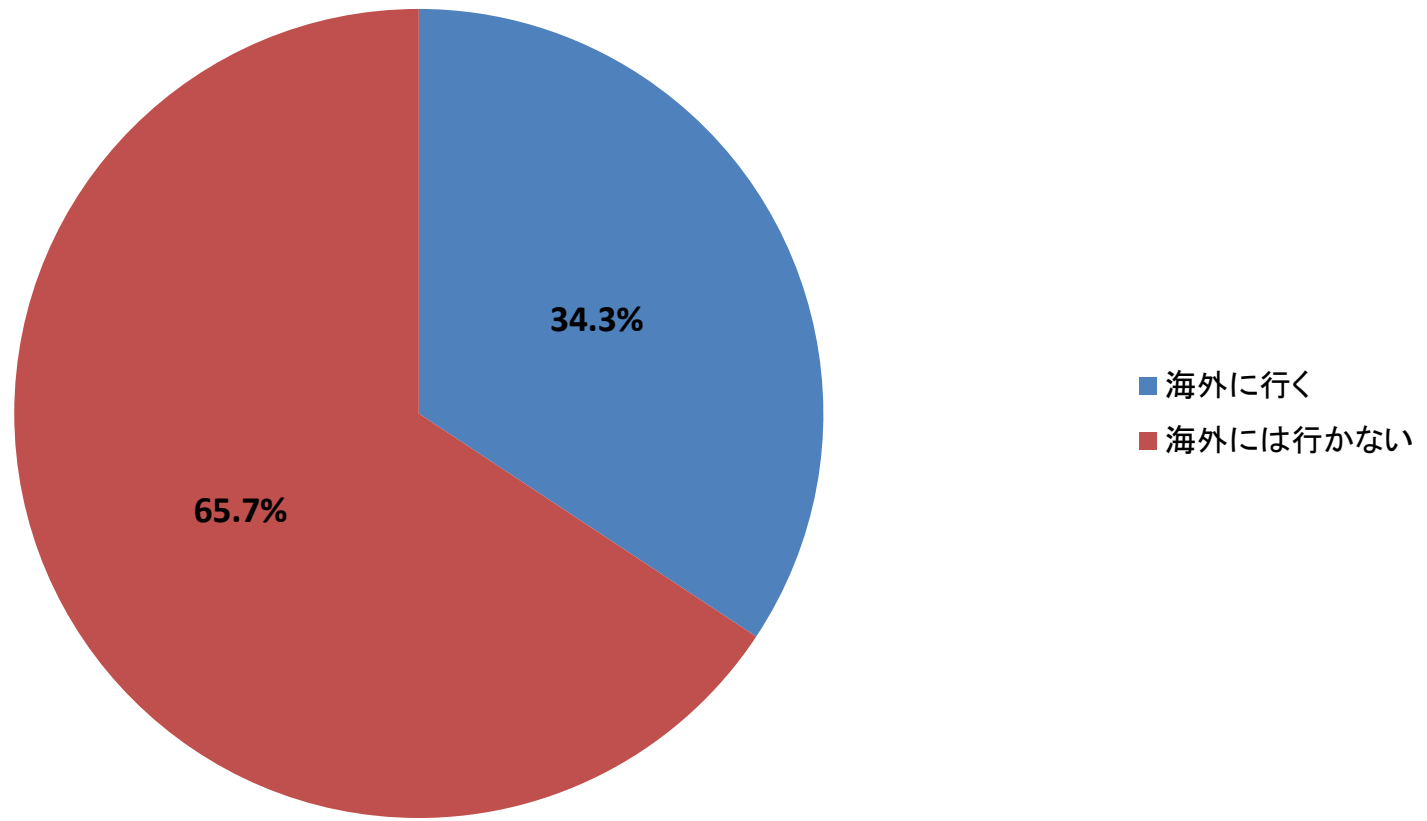
# 受精卵提供を受けるために 海外渡航を考えるか



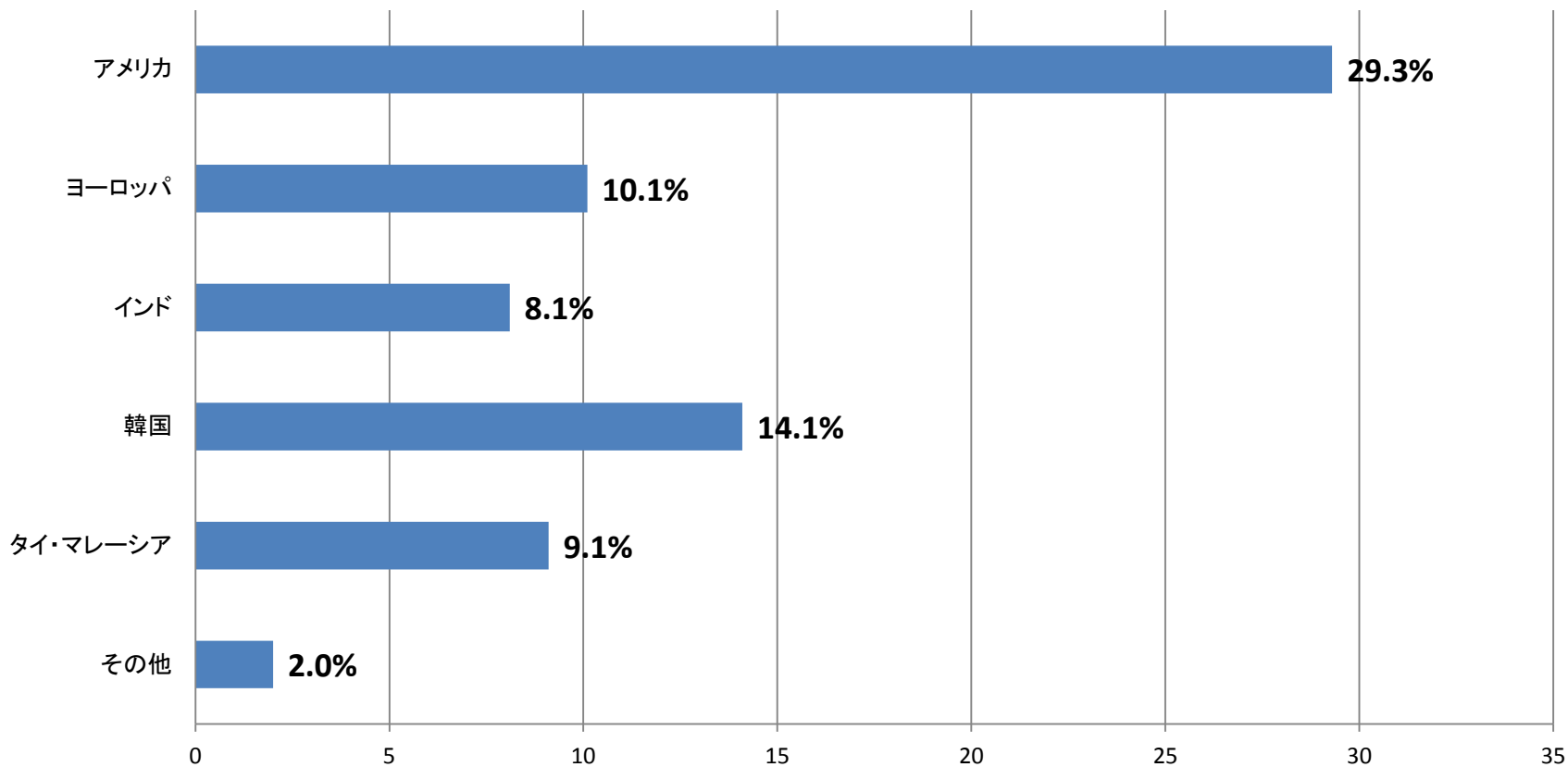
# 行ってみても良いと思う渡航先 受精卵提供(複数回答可)



# 代理出産を依頼するために 海外渡航を考えるか

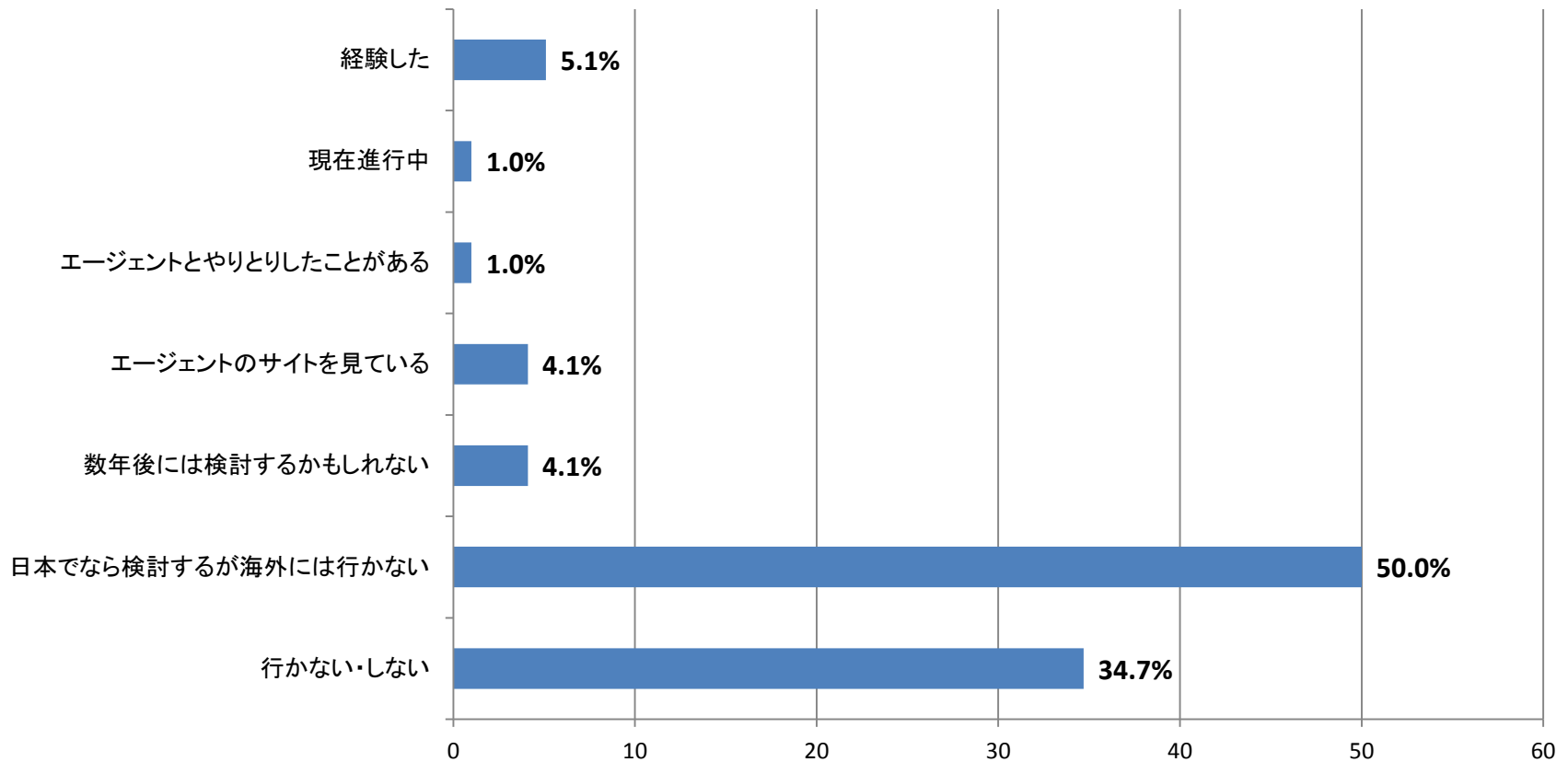


# 行ってみても良いと思う渡航先 代理出産(複数回答可)

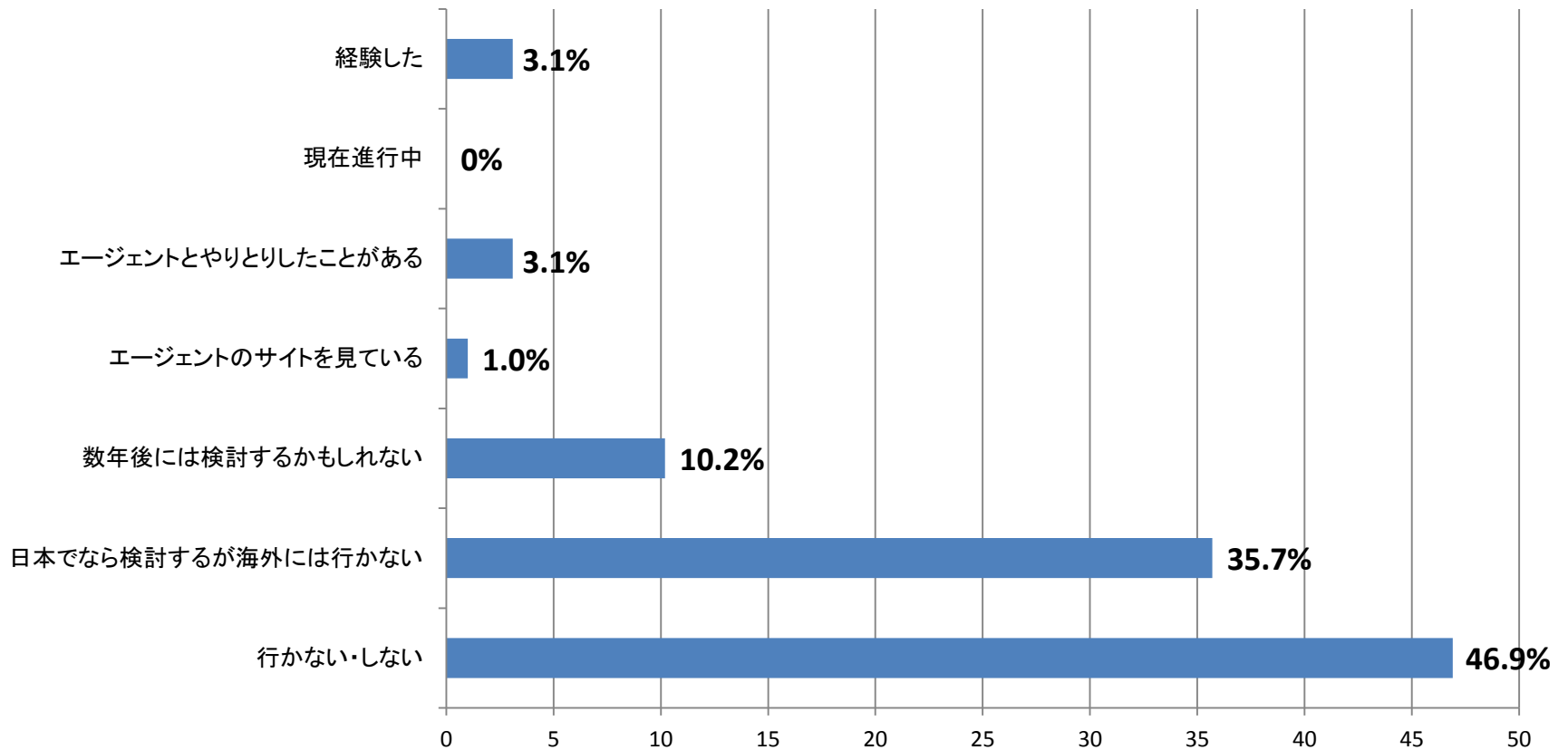




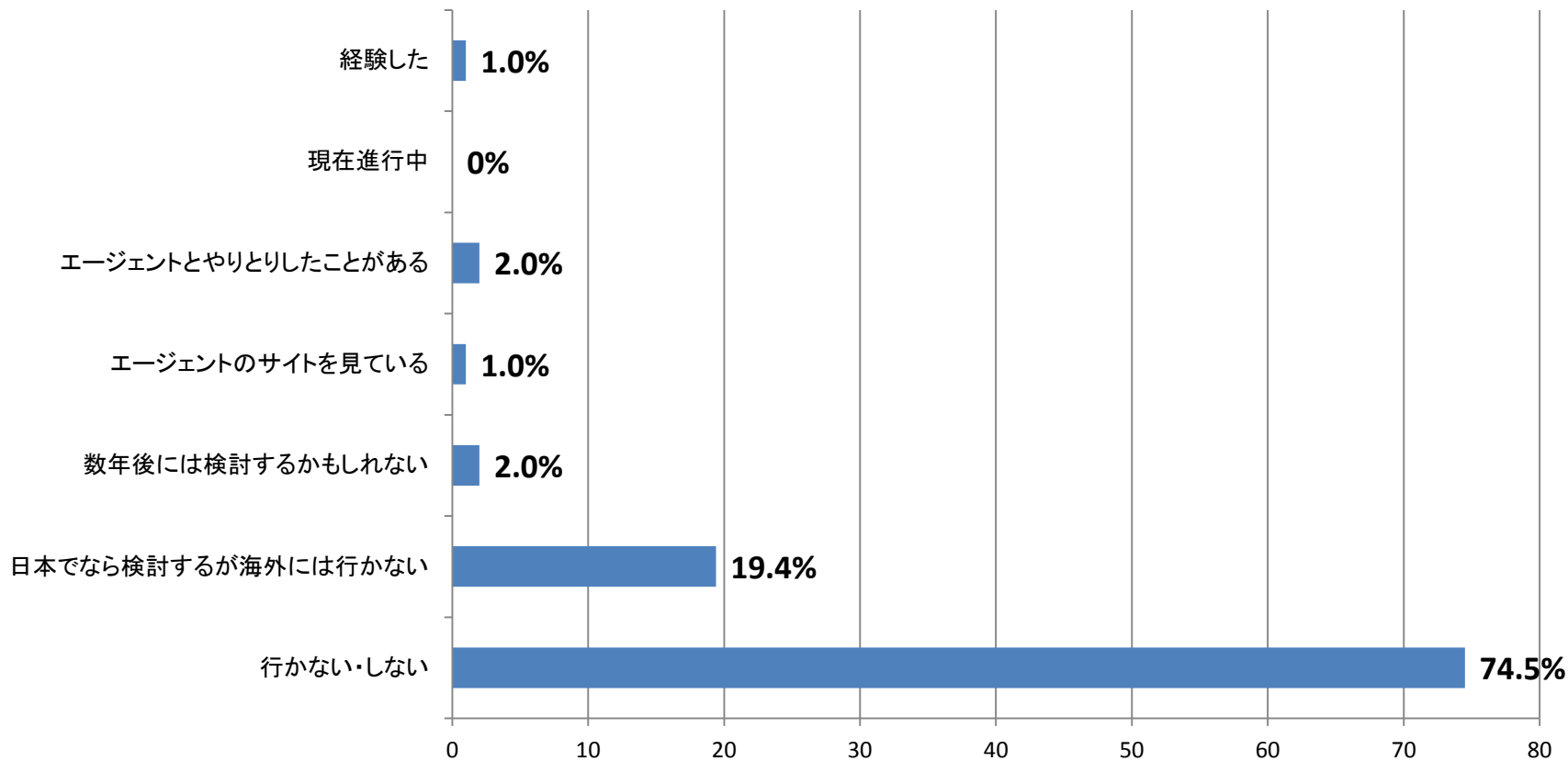
# 海外での夫婦間体外受精についての 現実性



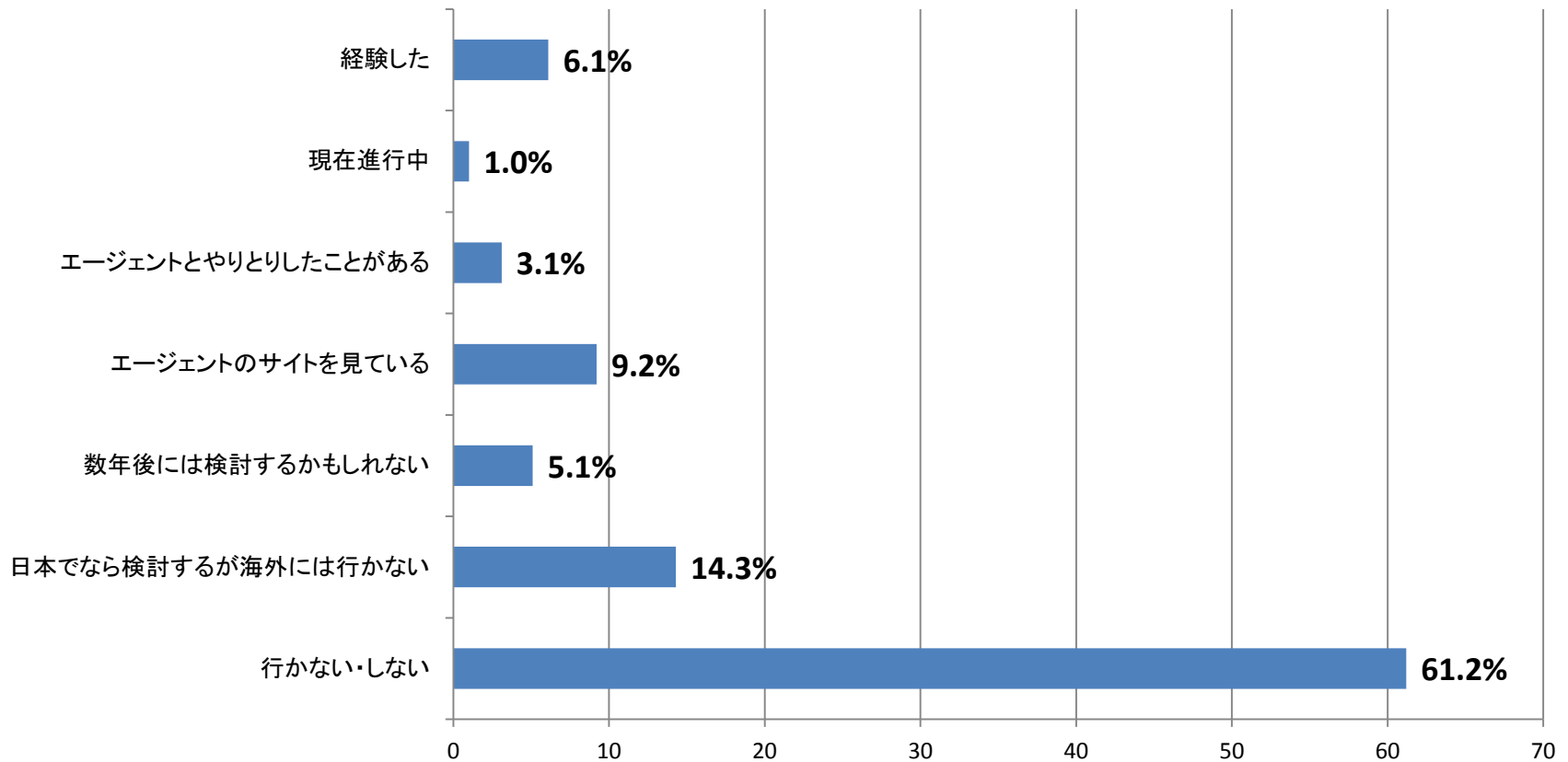
# 海外での着床前診断についての 現実性



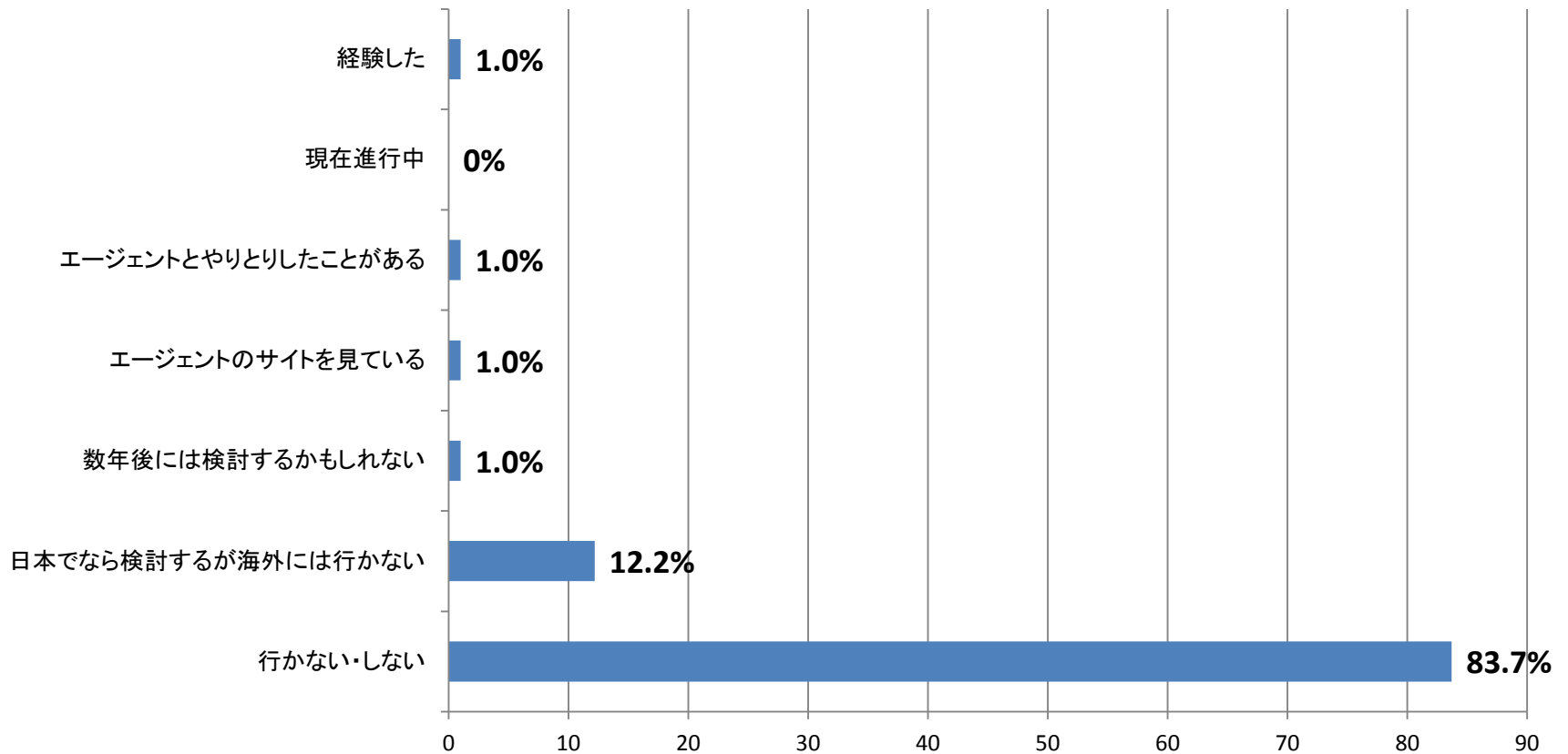
# 海外での男女産み分けについての 現実性



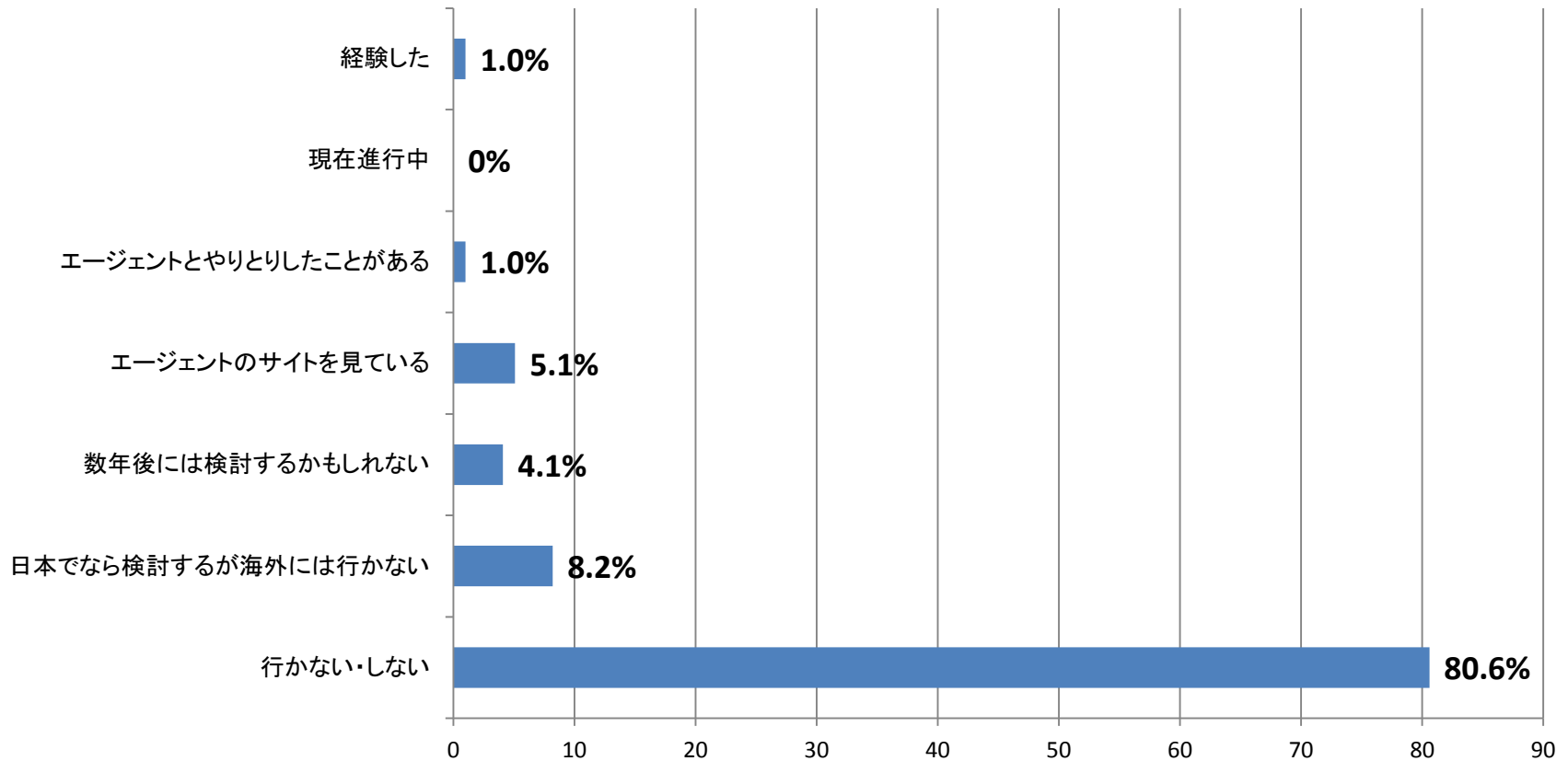
# 海外での卵子提供についての 現実性



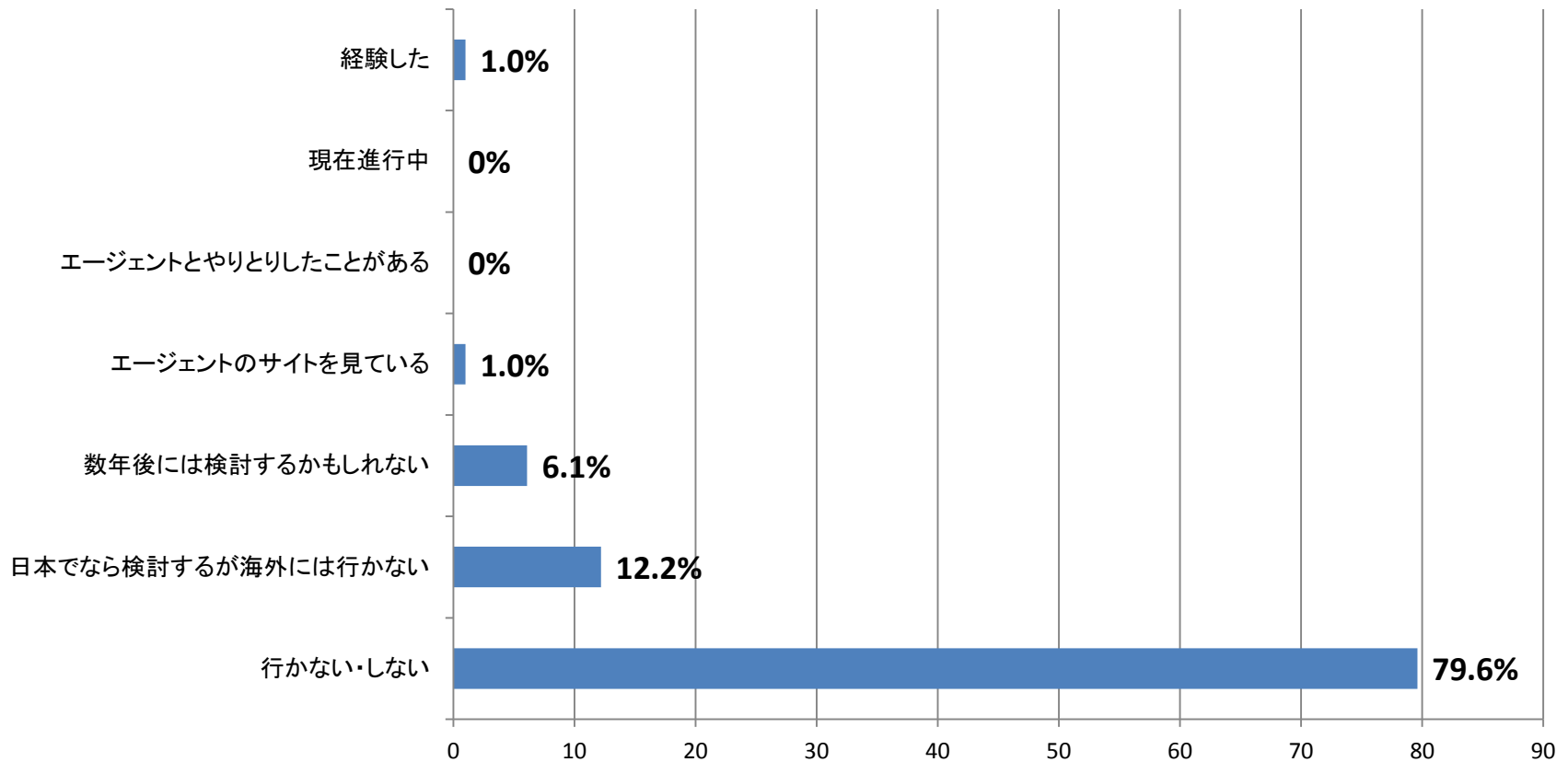
# 海外での精子提供についての 現実性



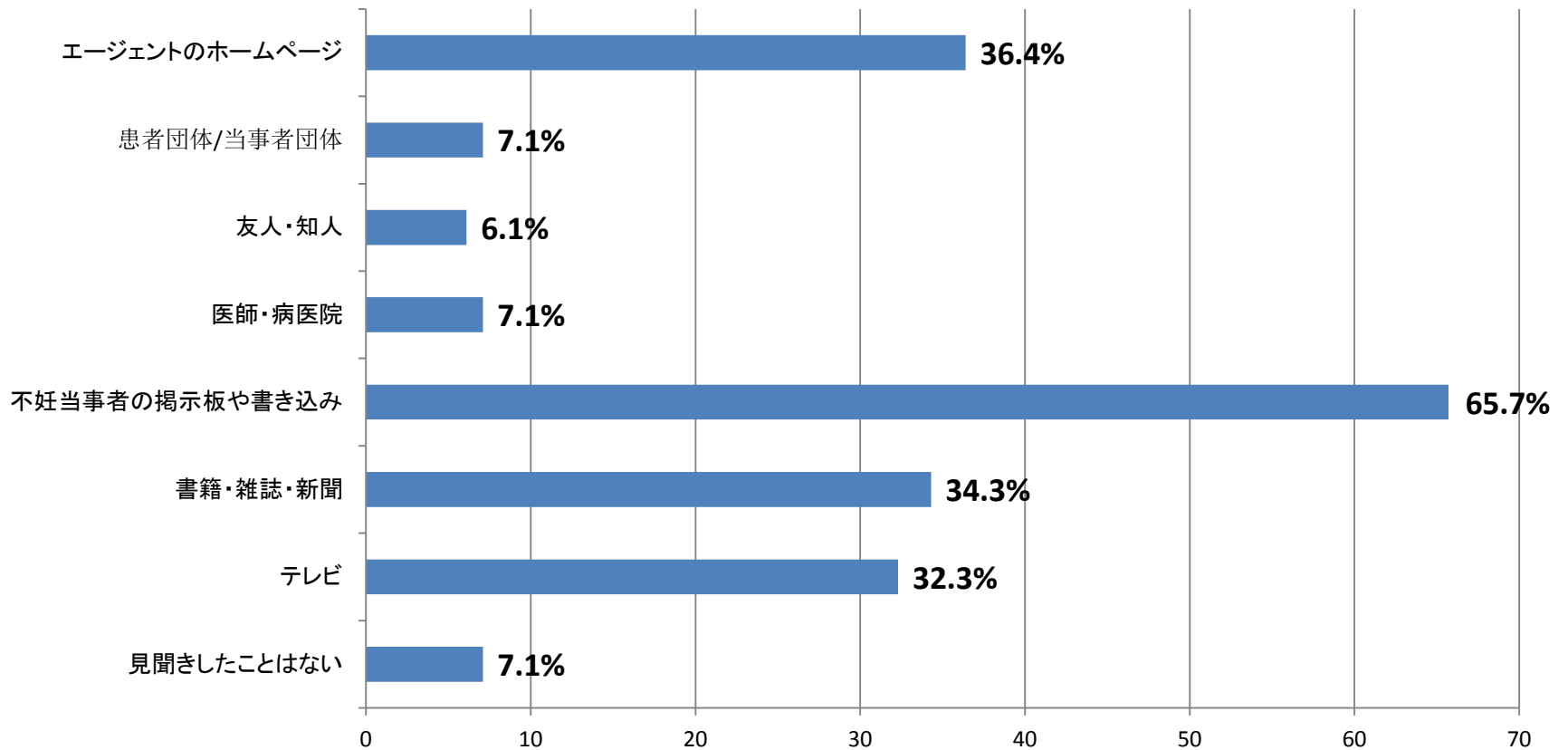
# 海外での受精卵提供についての 現実性



# 海外での代理出産についての 現実性

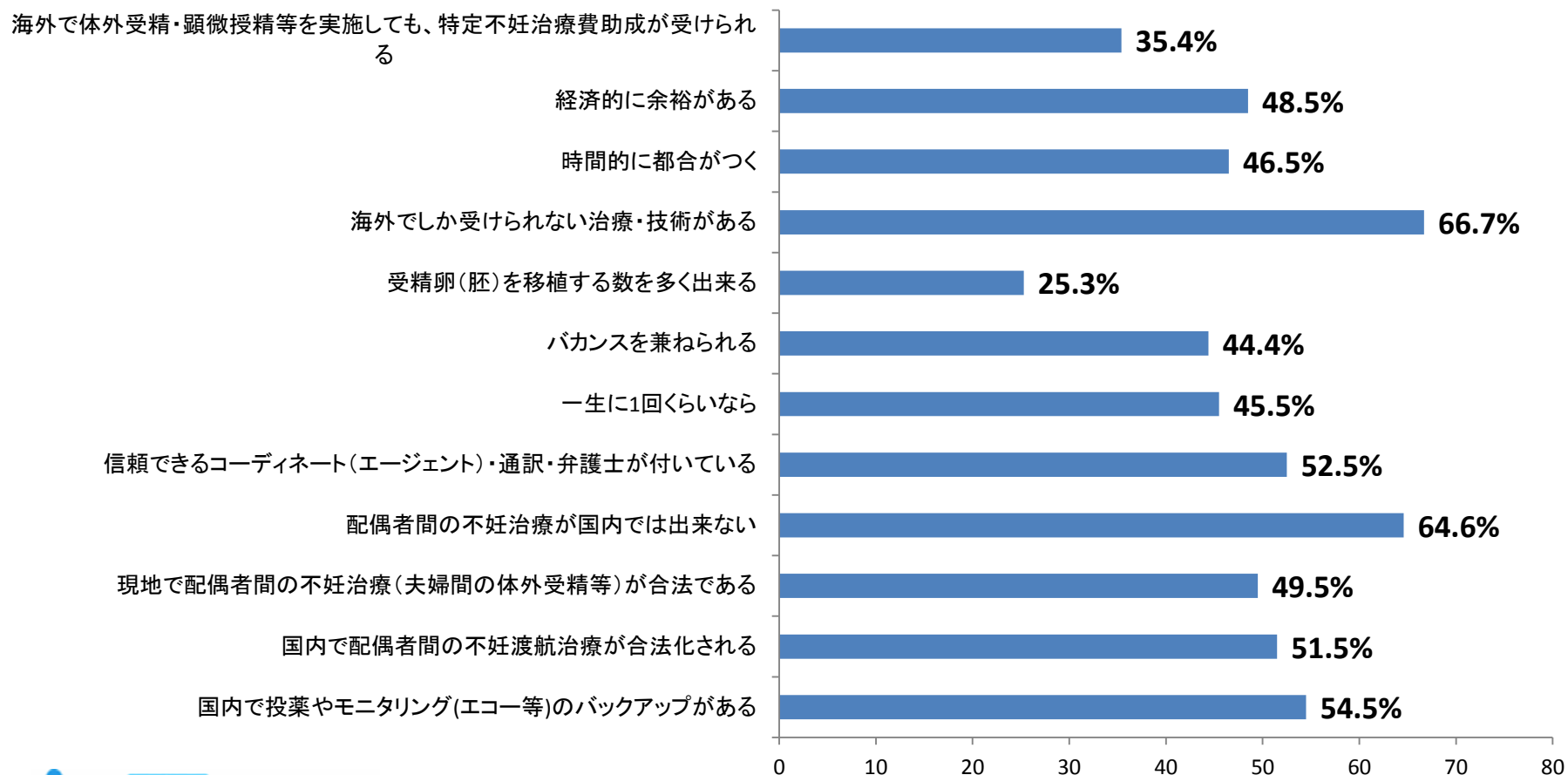


# 渡航治療に関する情報源(複数回答可)



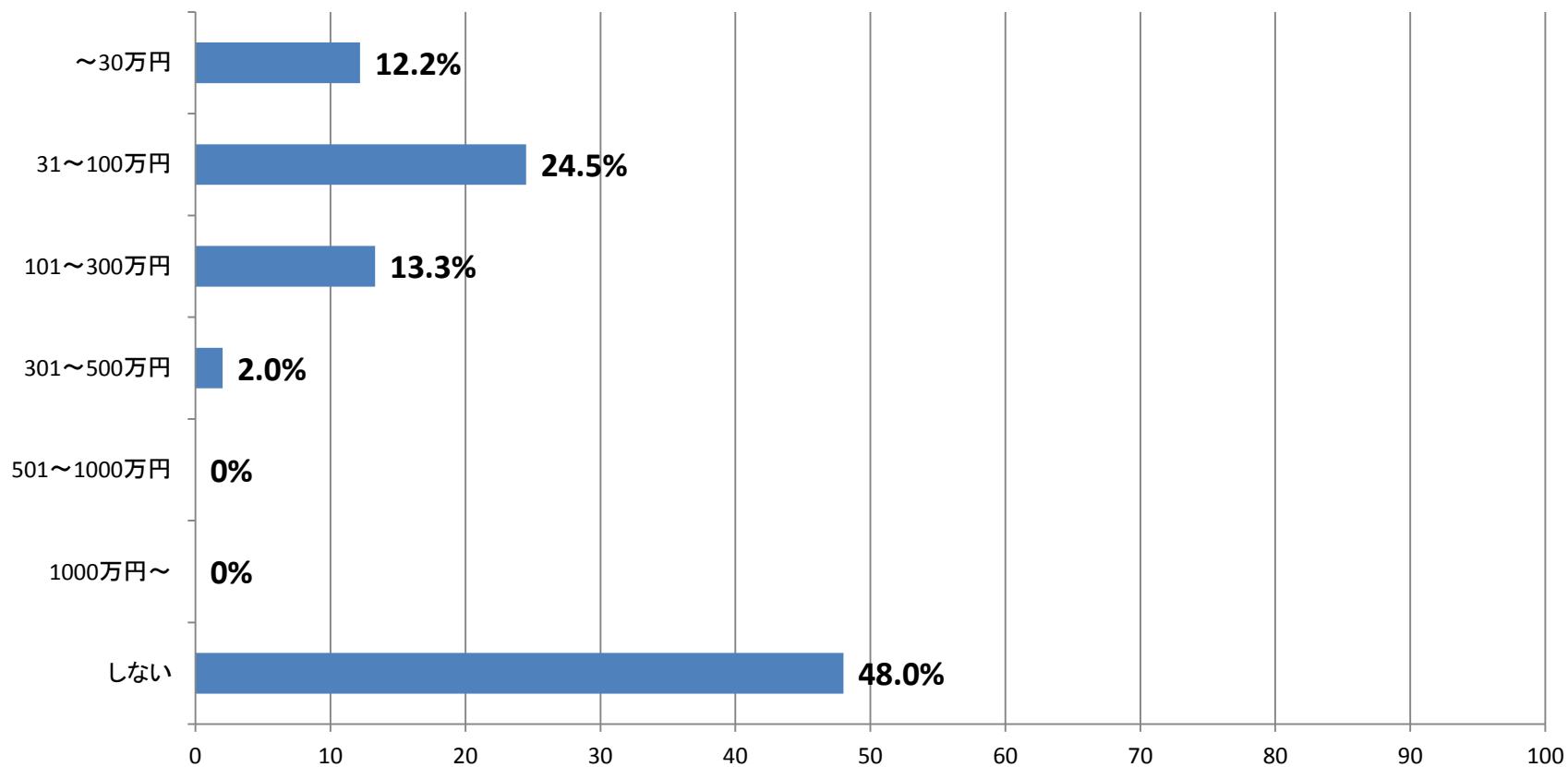


# 配偶者間不妊治療のために 渡航治療を行う条件



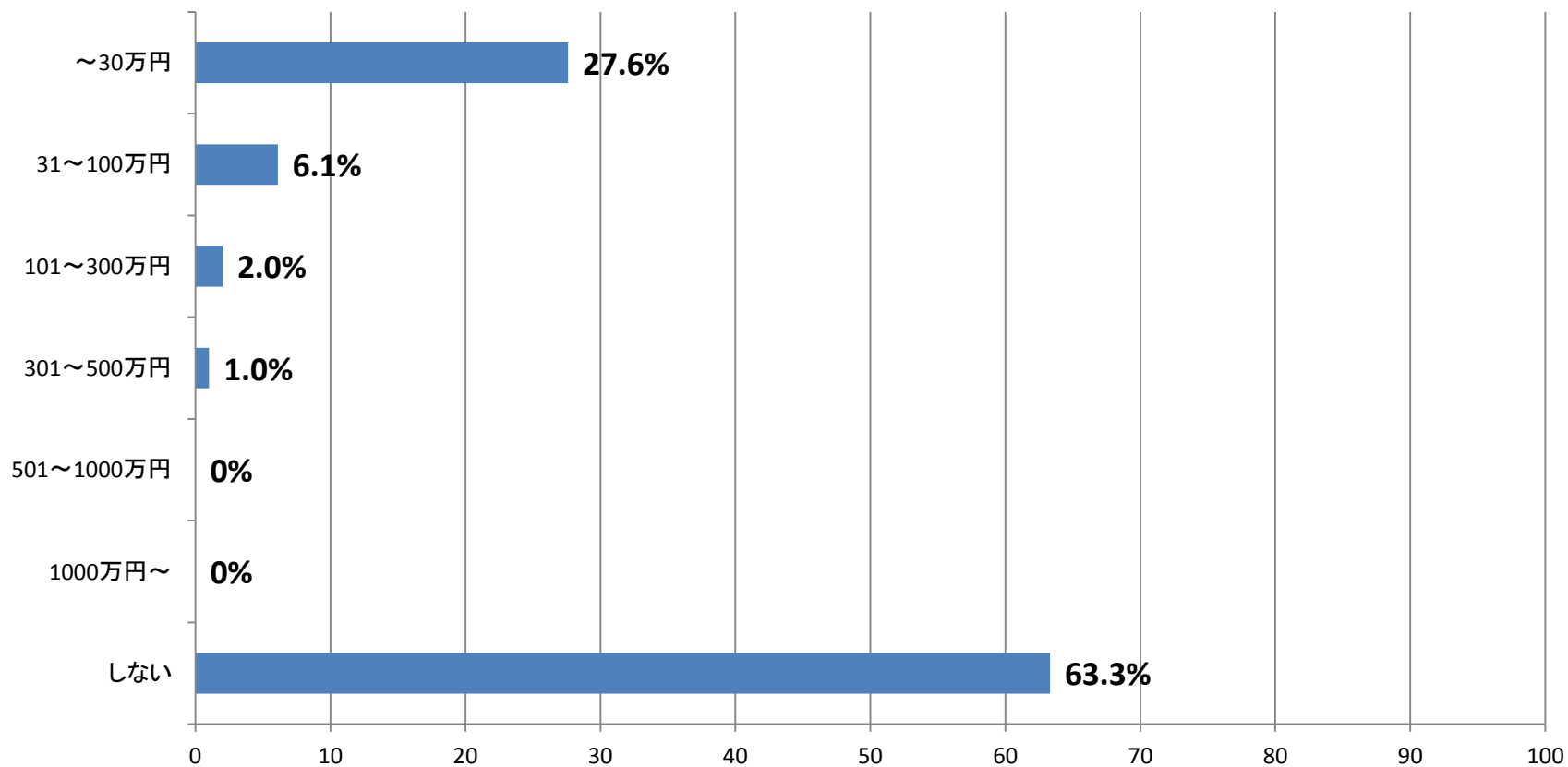
# 渡航治療を検討する金額

## 夫婦間体外受精

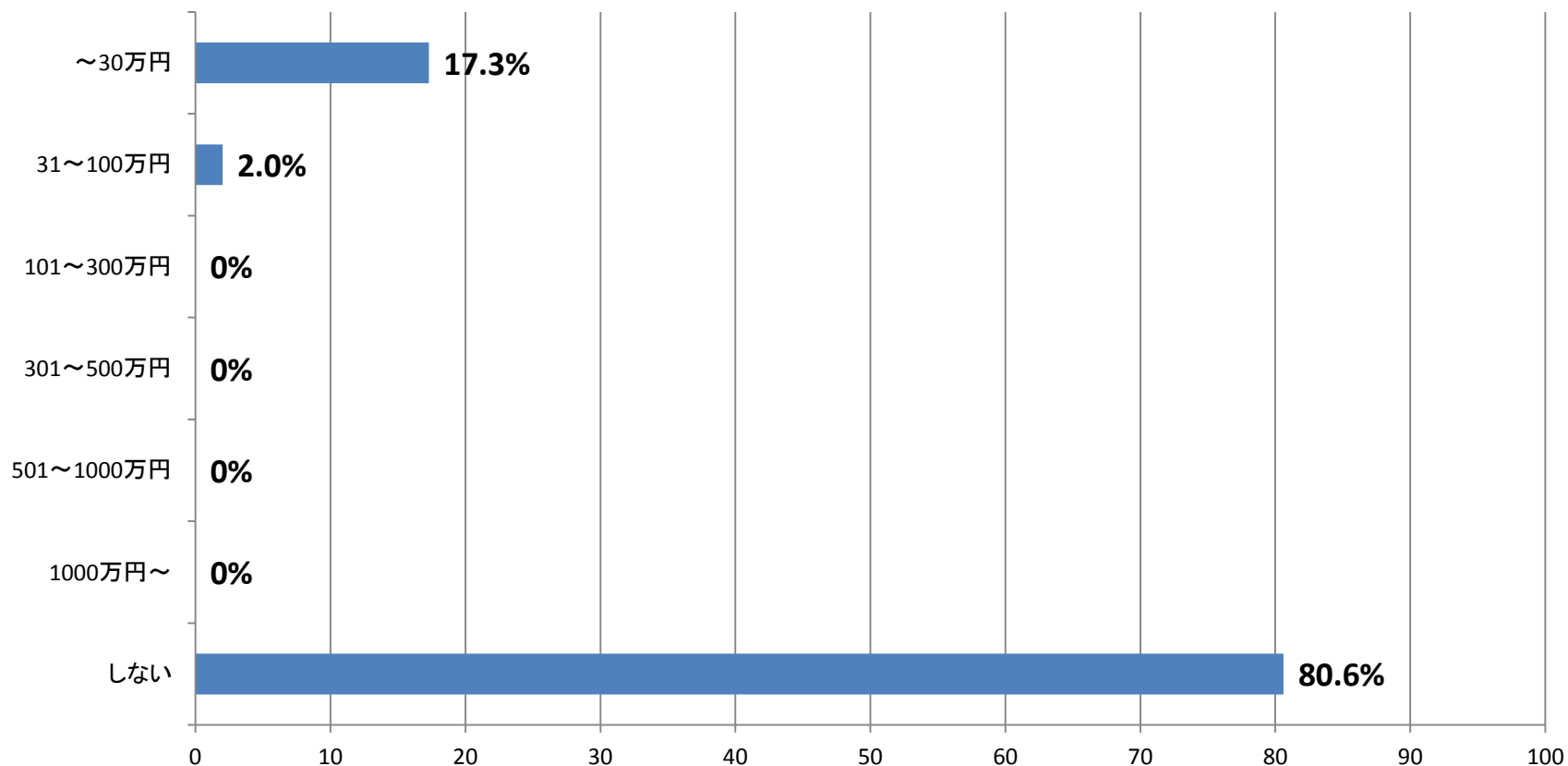


# 渡航治療を検討する金額

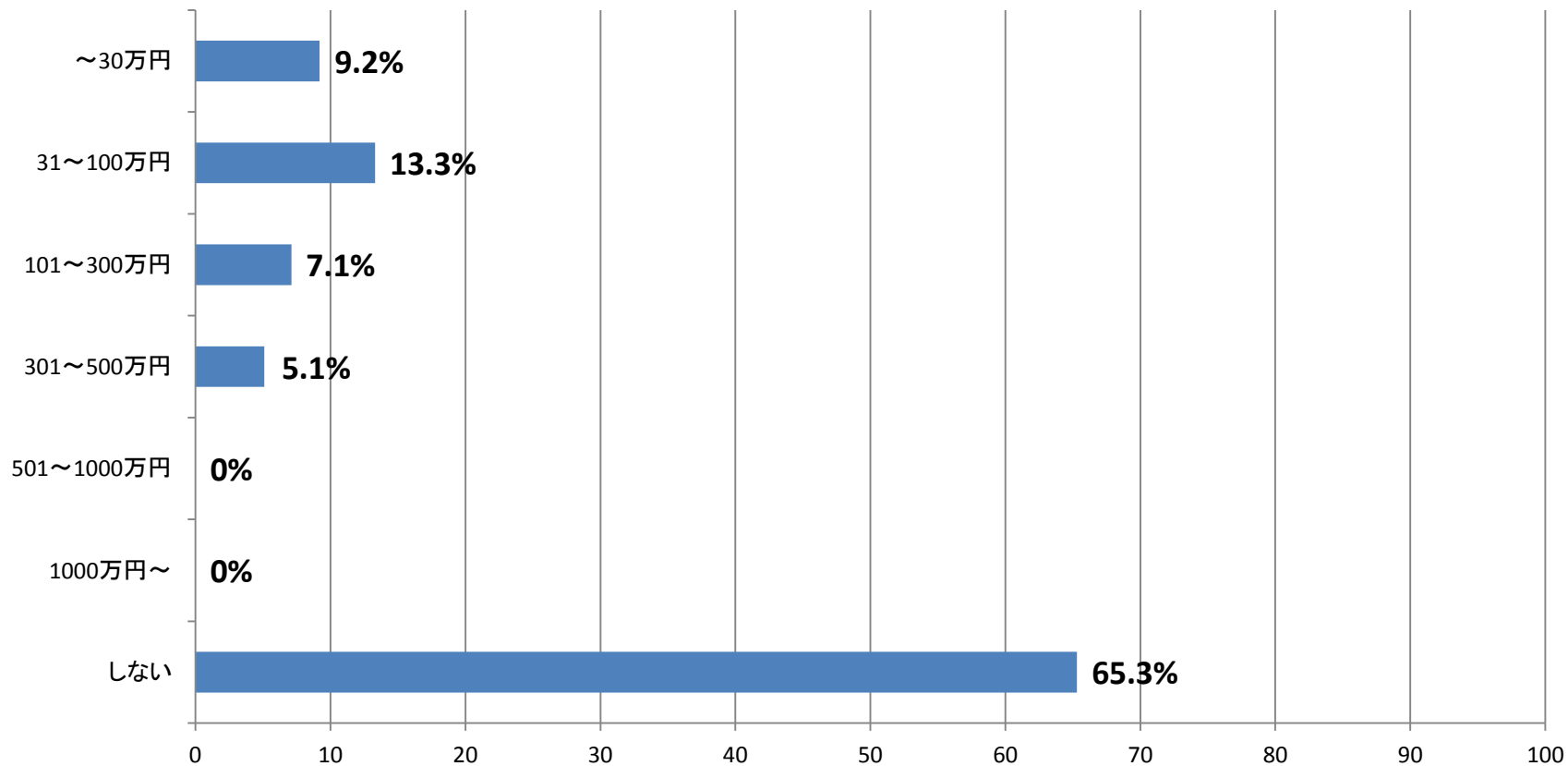
## 着床前診断



# 渡航治療を検討する金額 男女産み分け

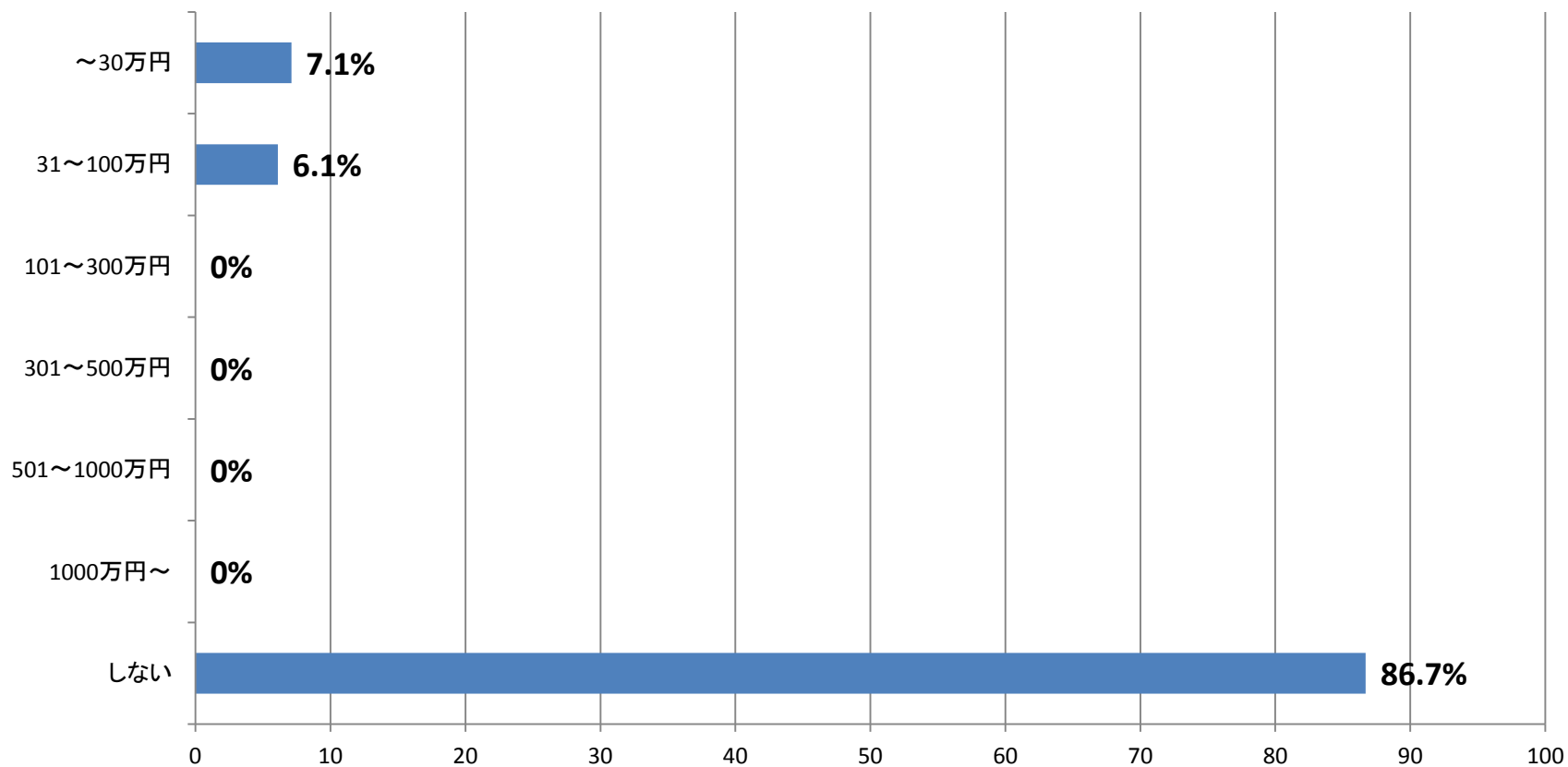


# 渡航治療を検討する金額 卵子提供

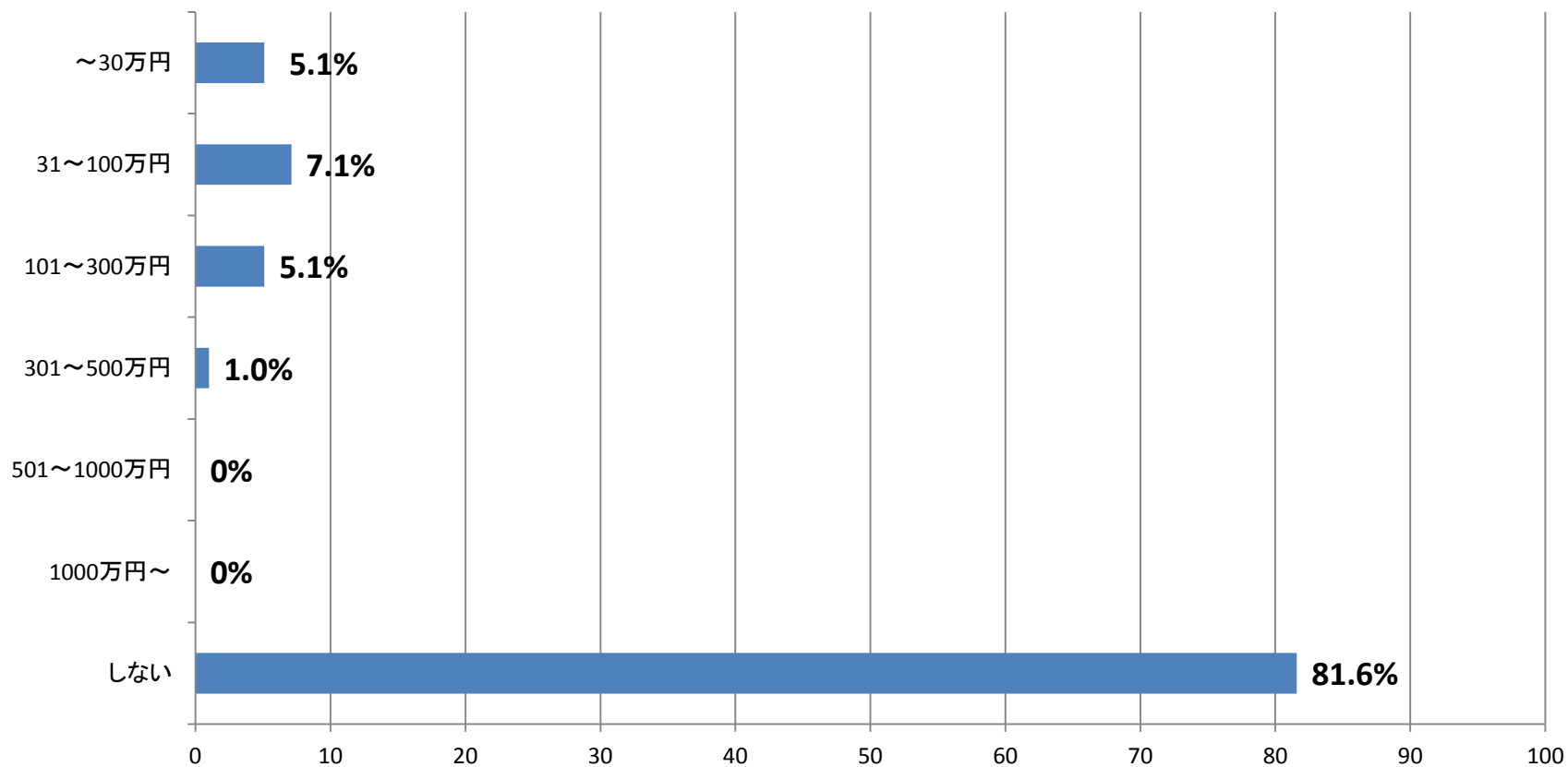


# 渡航治療を検討する金額

## 精子提供

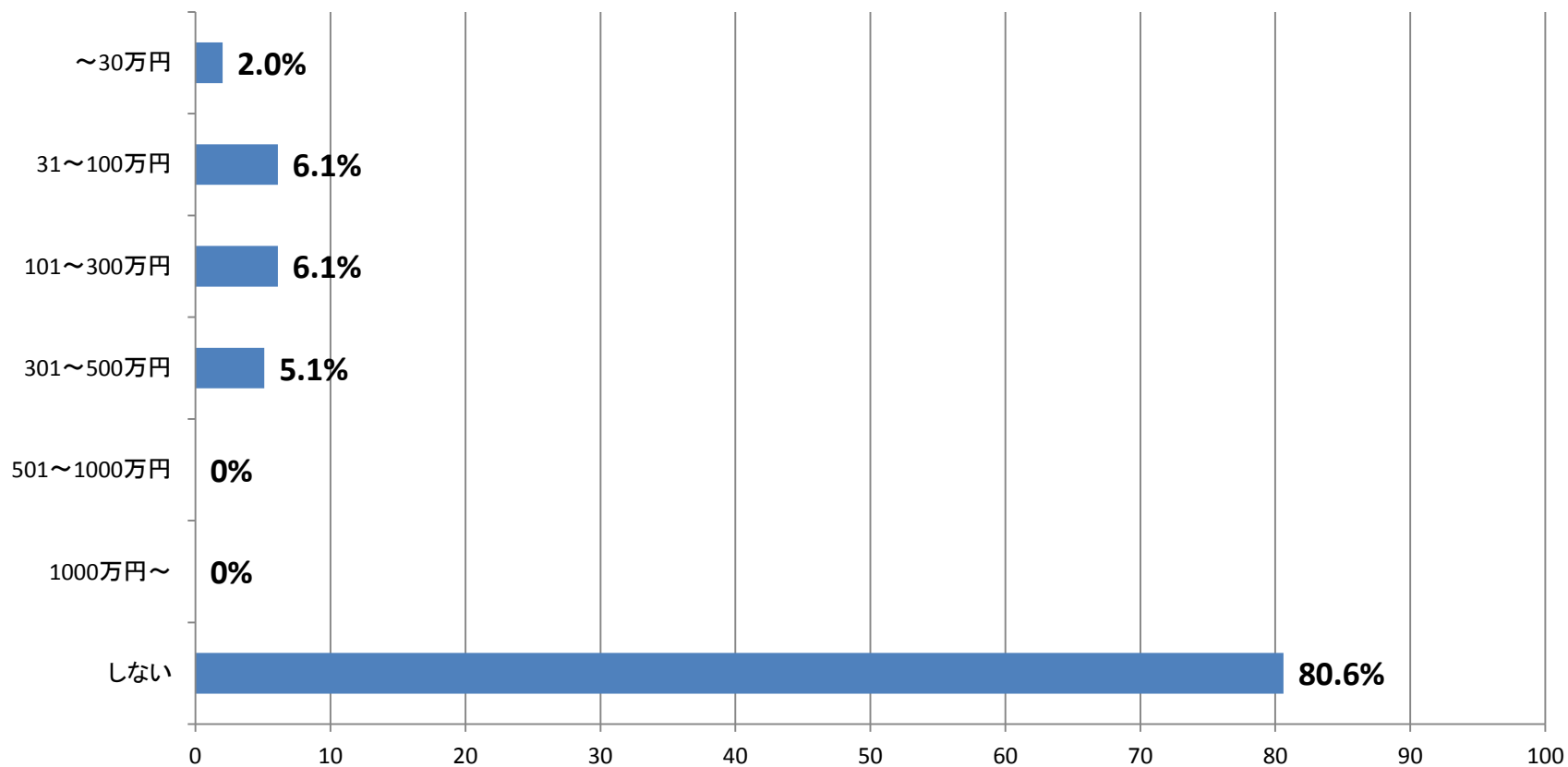


# 渡航治療を検討する金額 受精卵提供



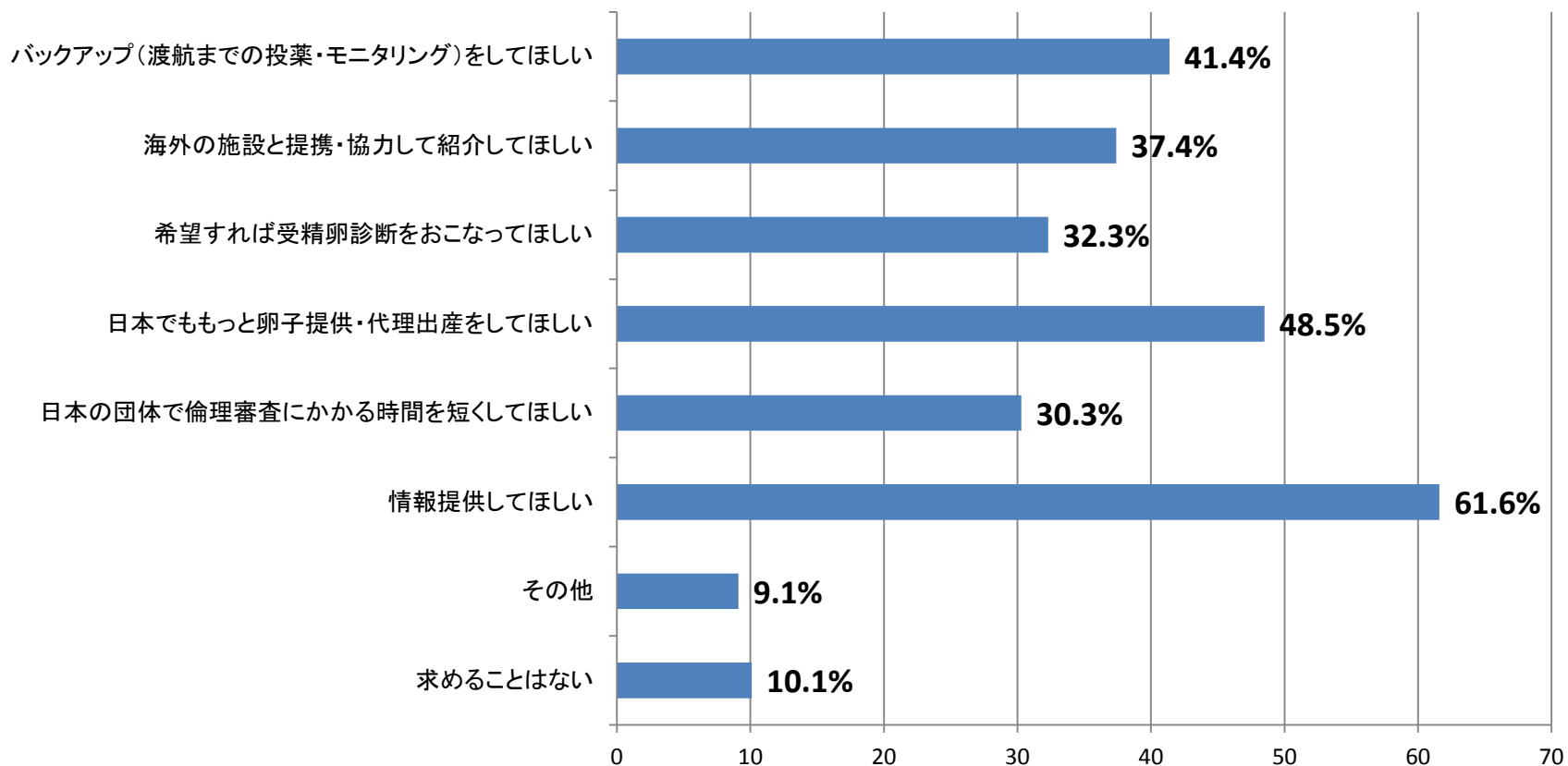
# 渡航治療を検討する金額

## 代理出産

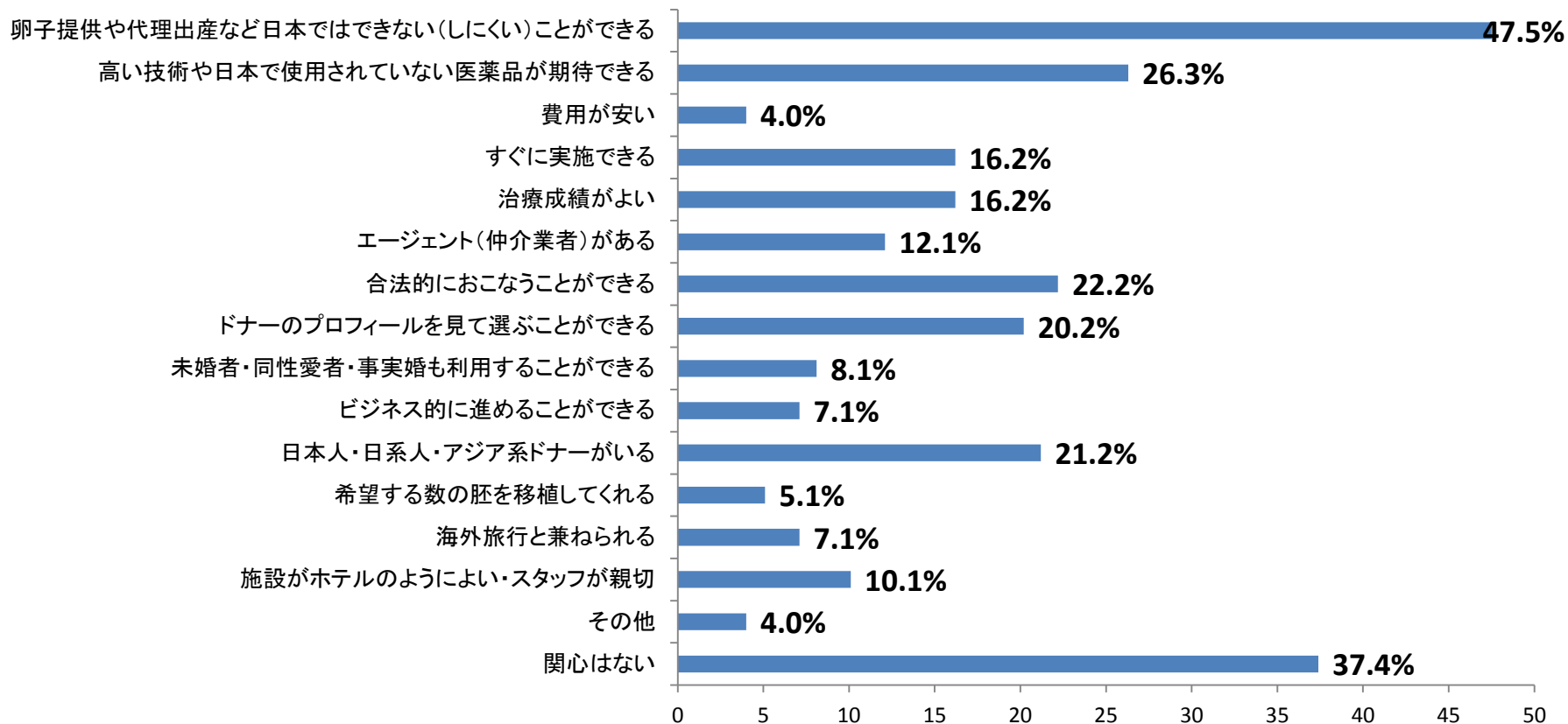




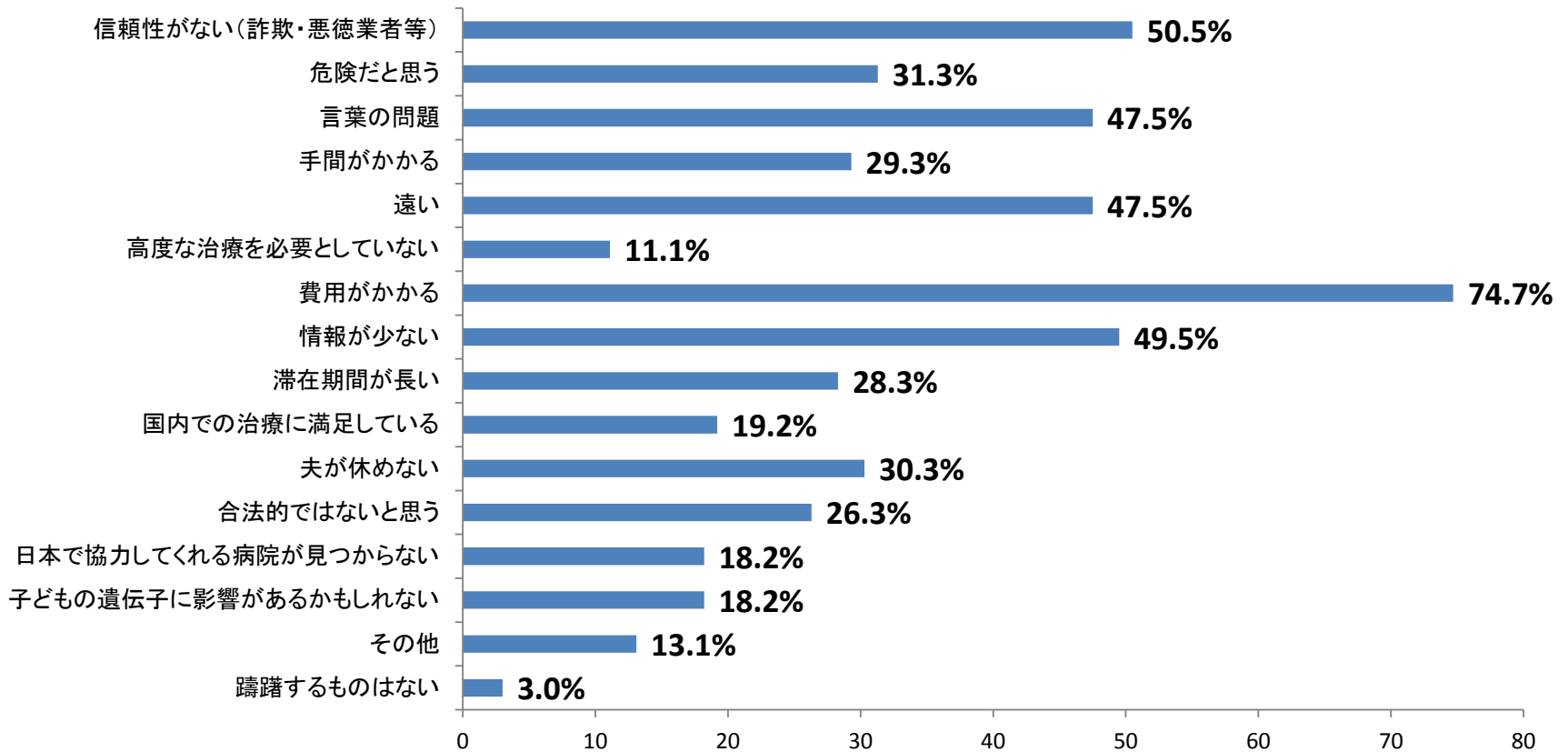
# 日本の病医院と医師に求めること (複数回答可)



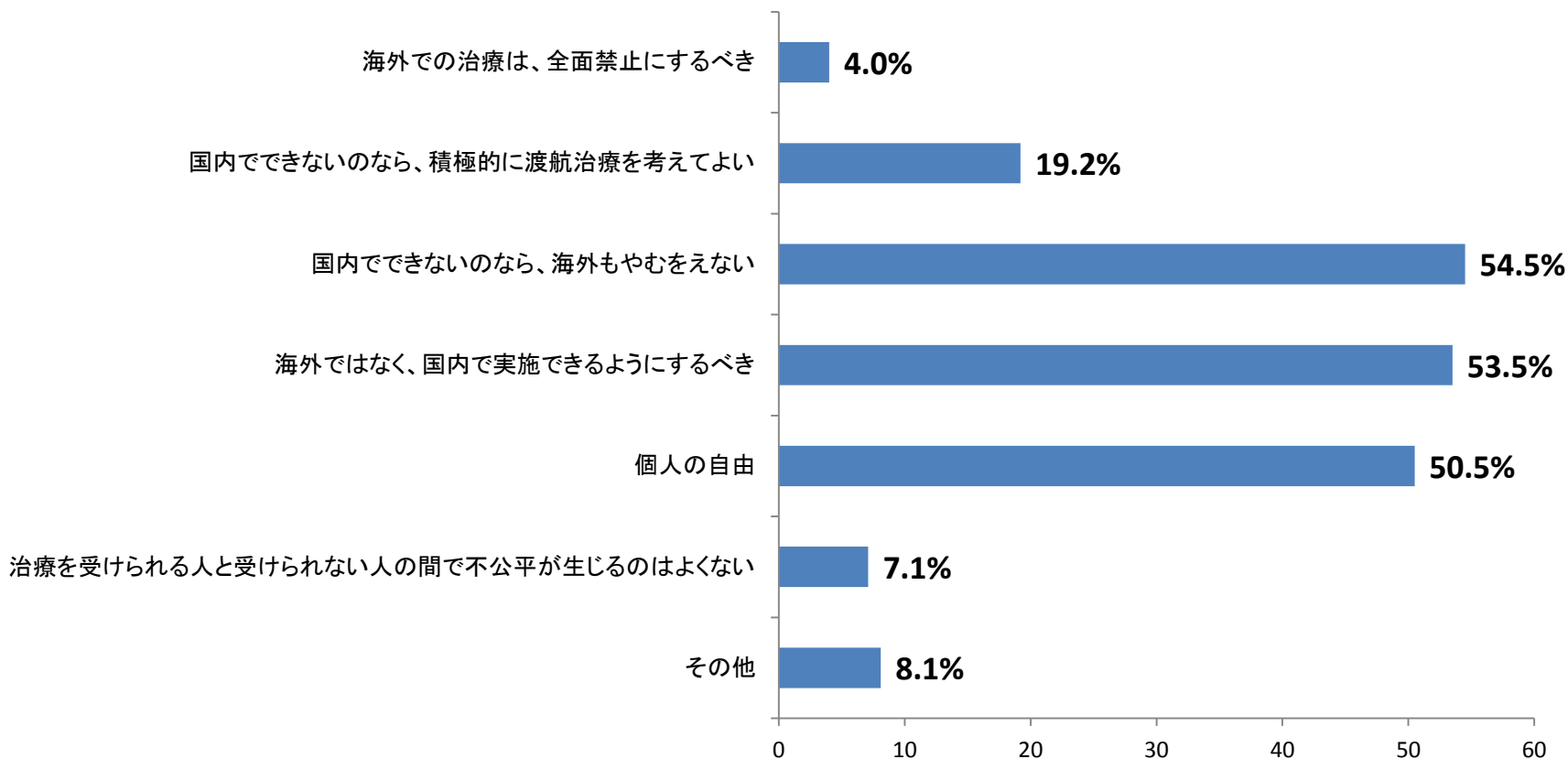
# 渡航治療に関心をもつ理由 (複数回答可)



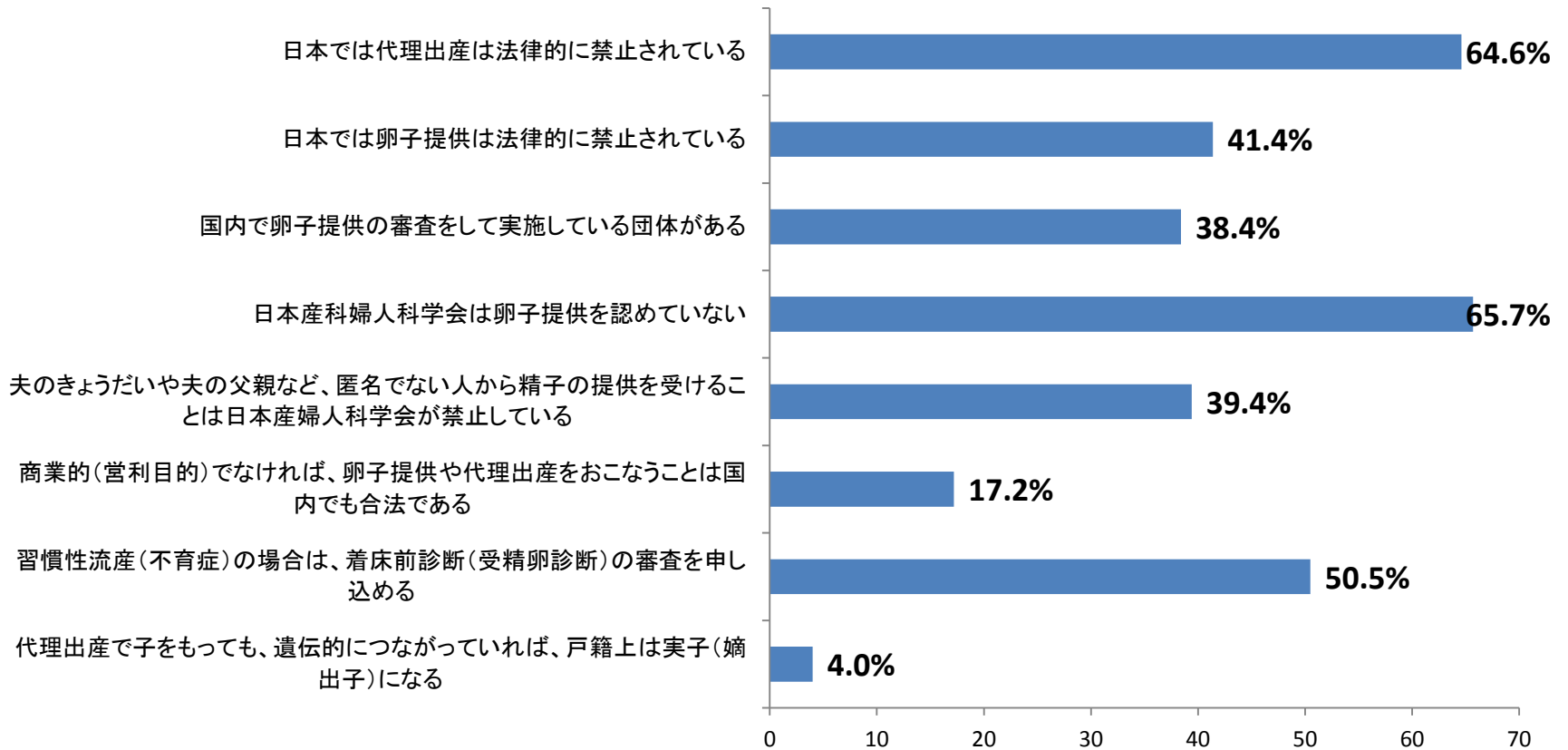
# 渡航治療を躊躇する理由 (複数回答可)



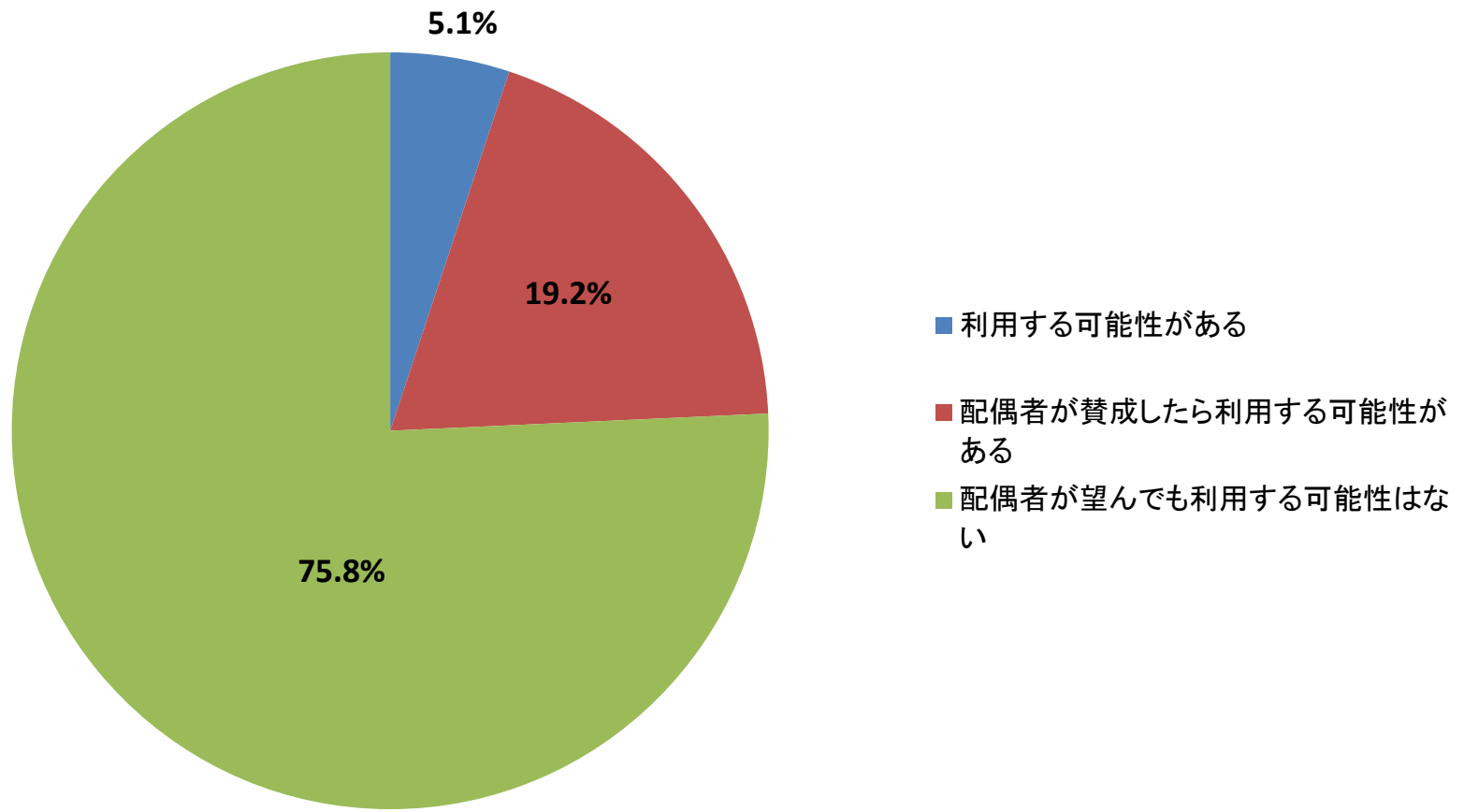
# 渡航治療に関する見解 (複数回答可)



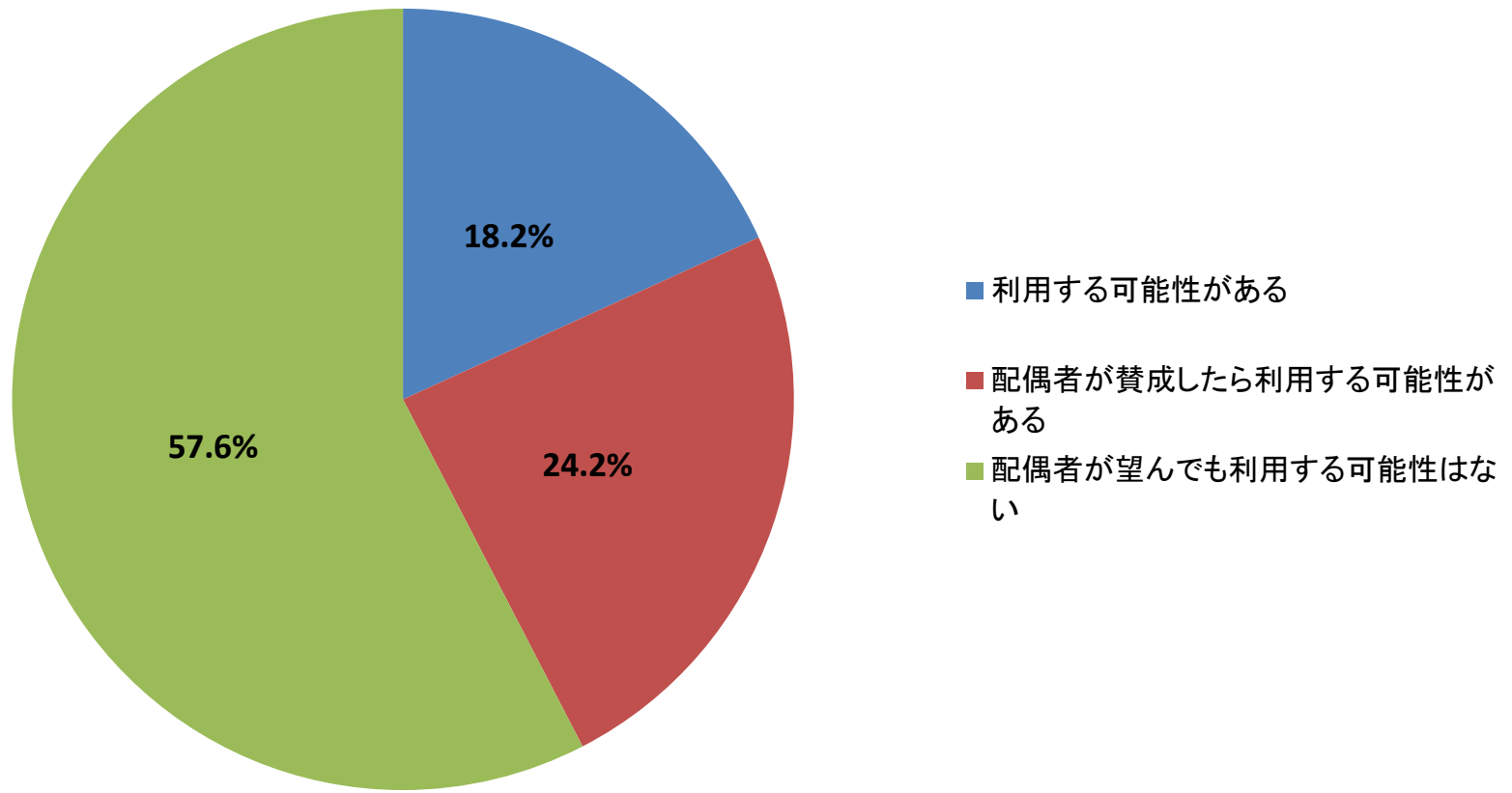
# 正しいと思うものはどれか (回答数制限なし)



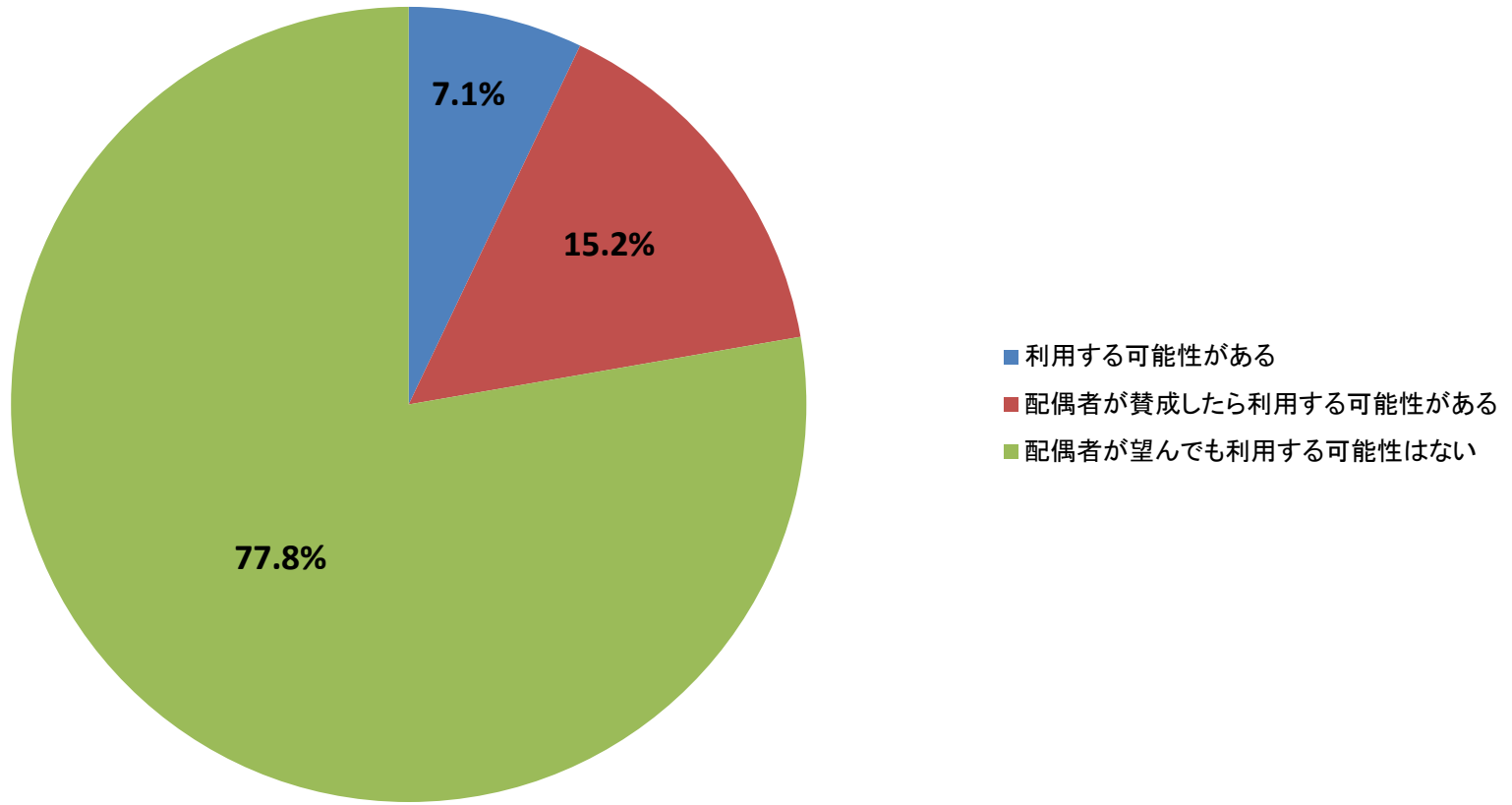
# 第三者の精子を用いた人工授精を 利用する可能性



# 第三者の卵子を用いた体外受精を利用する可能性

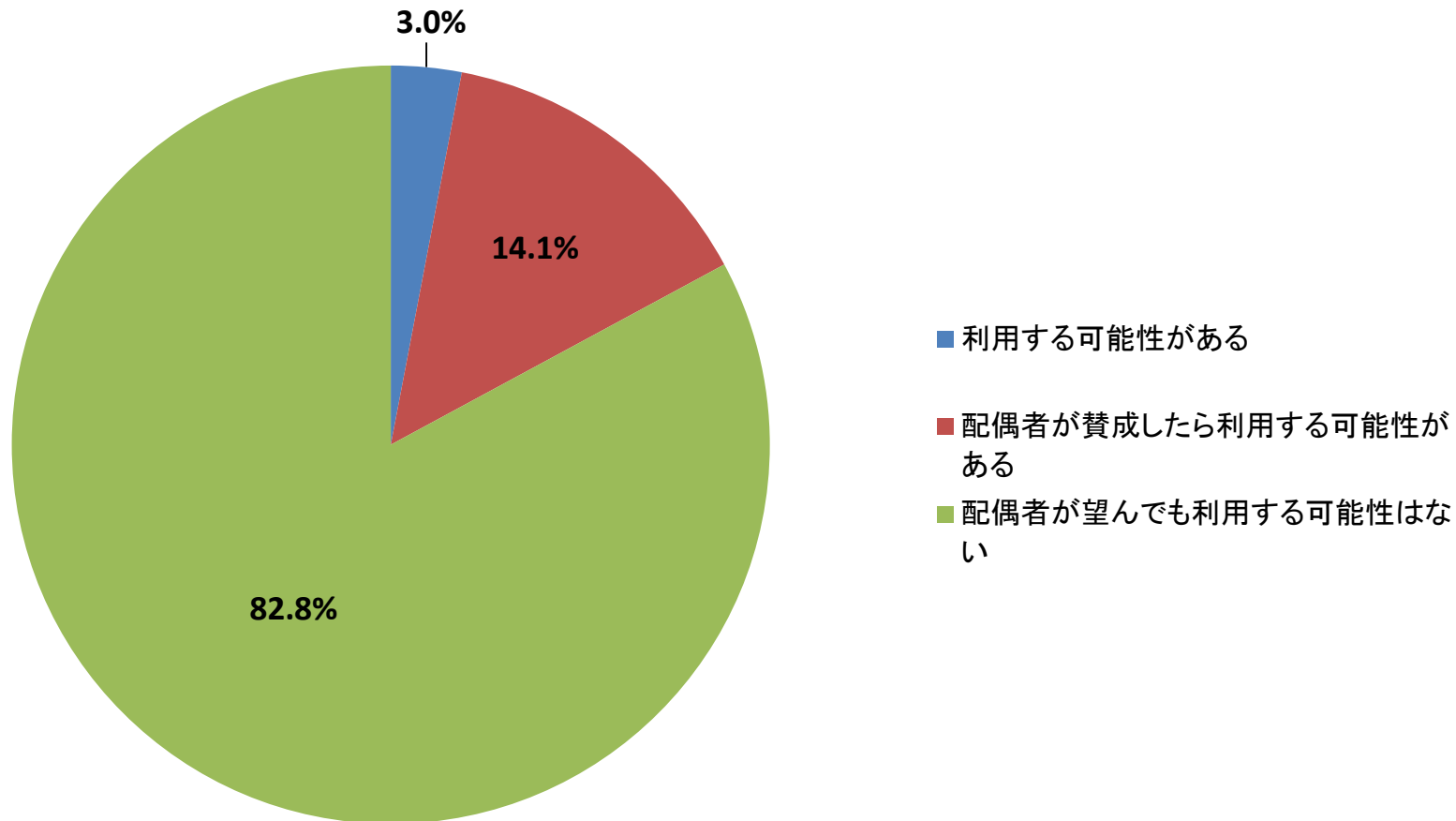


# 第三者の受精卵を用いた胚移植を 利用する可能性

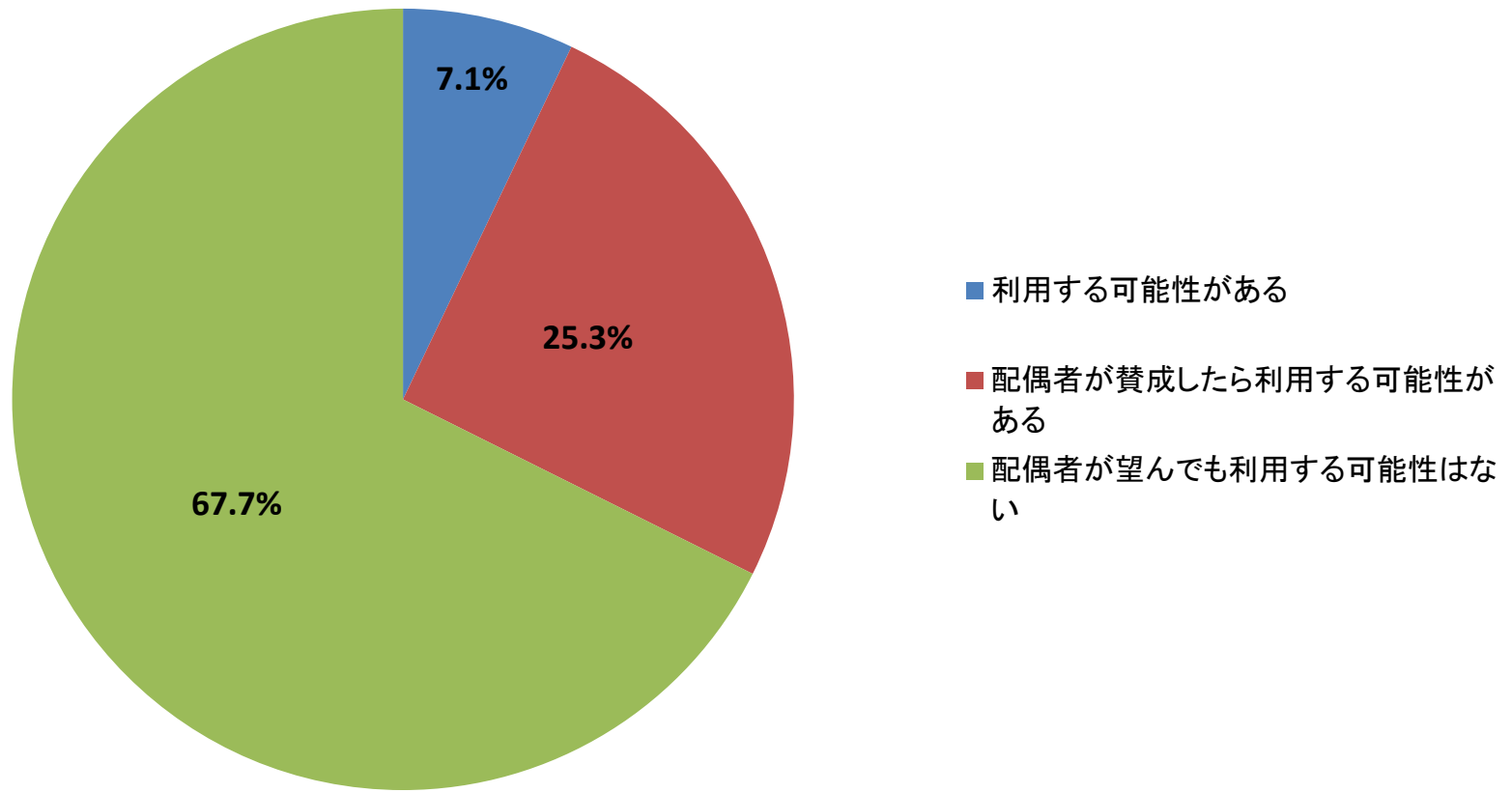




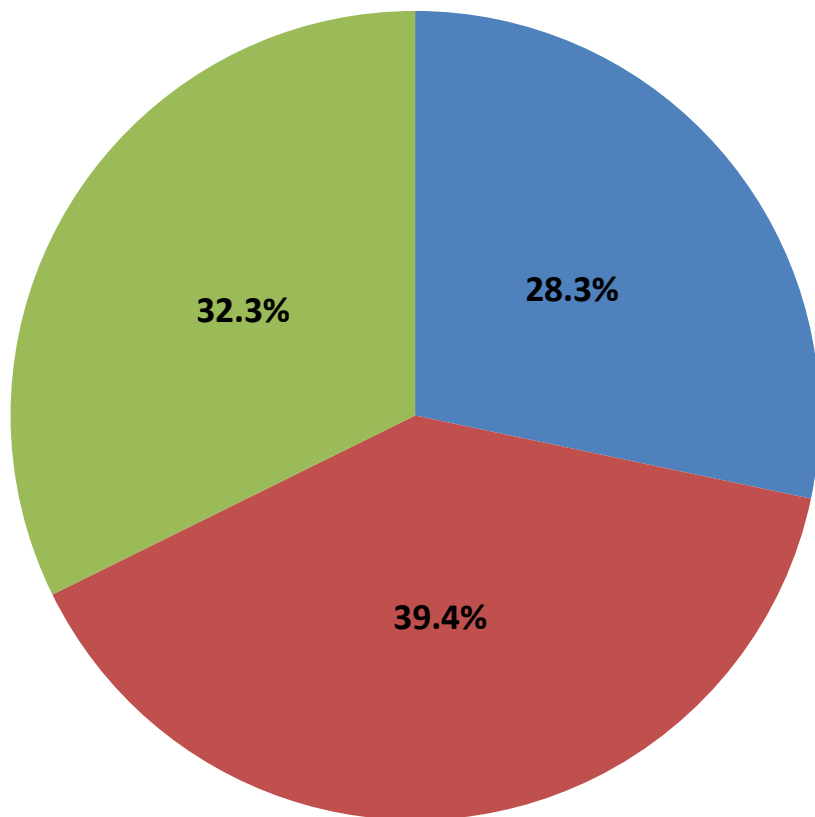
# 代理母(代理母卵子と夫の精子)を 利用する可能性



# 代理出産(夫婦の受精卵)を 利用する可能性

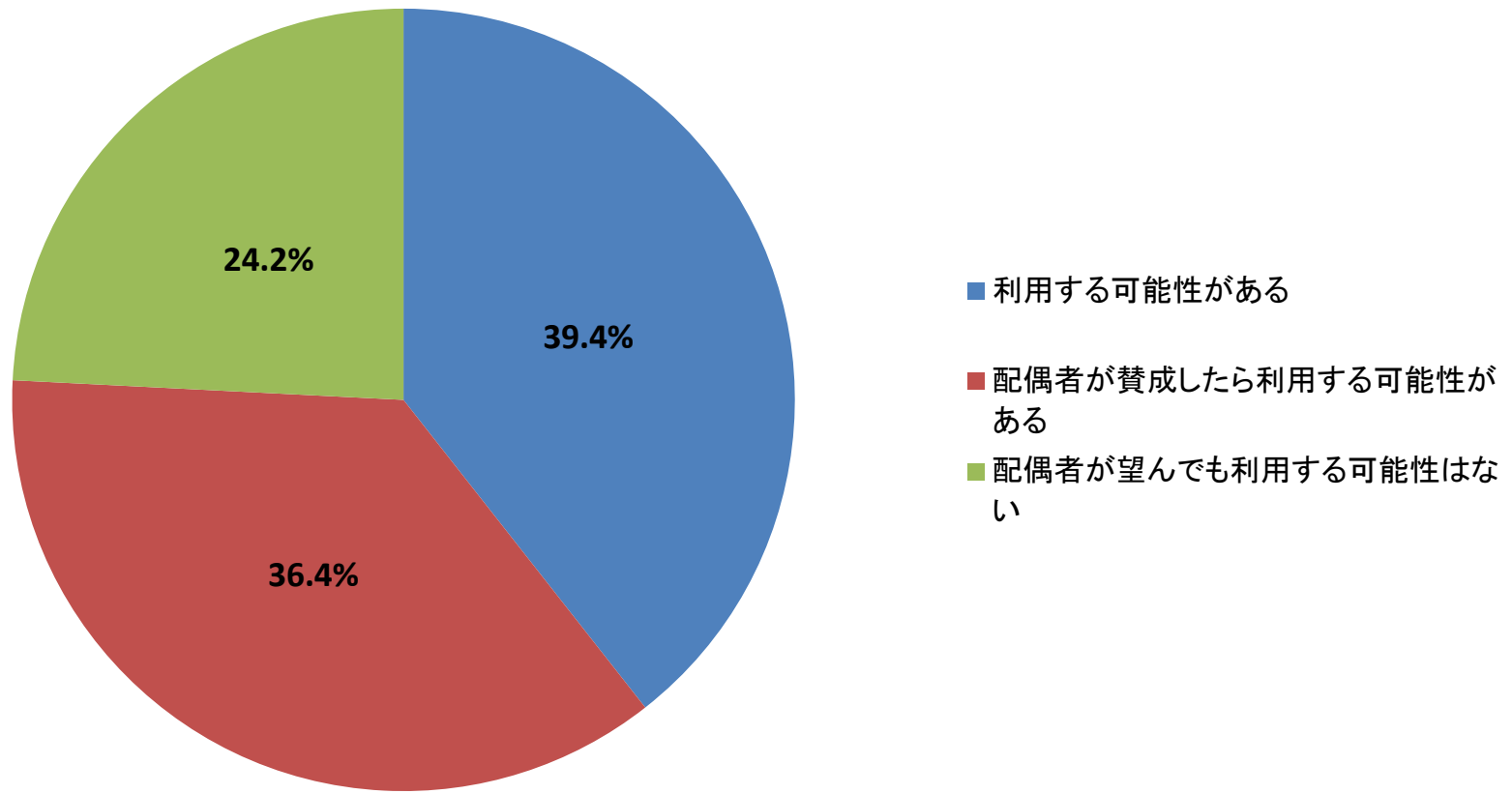


# 遺伝的障害の有無の判別のため 受精卵診断を利用する可能性

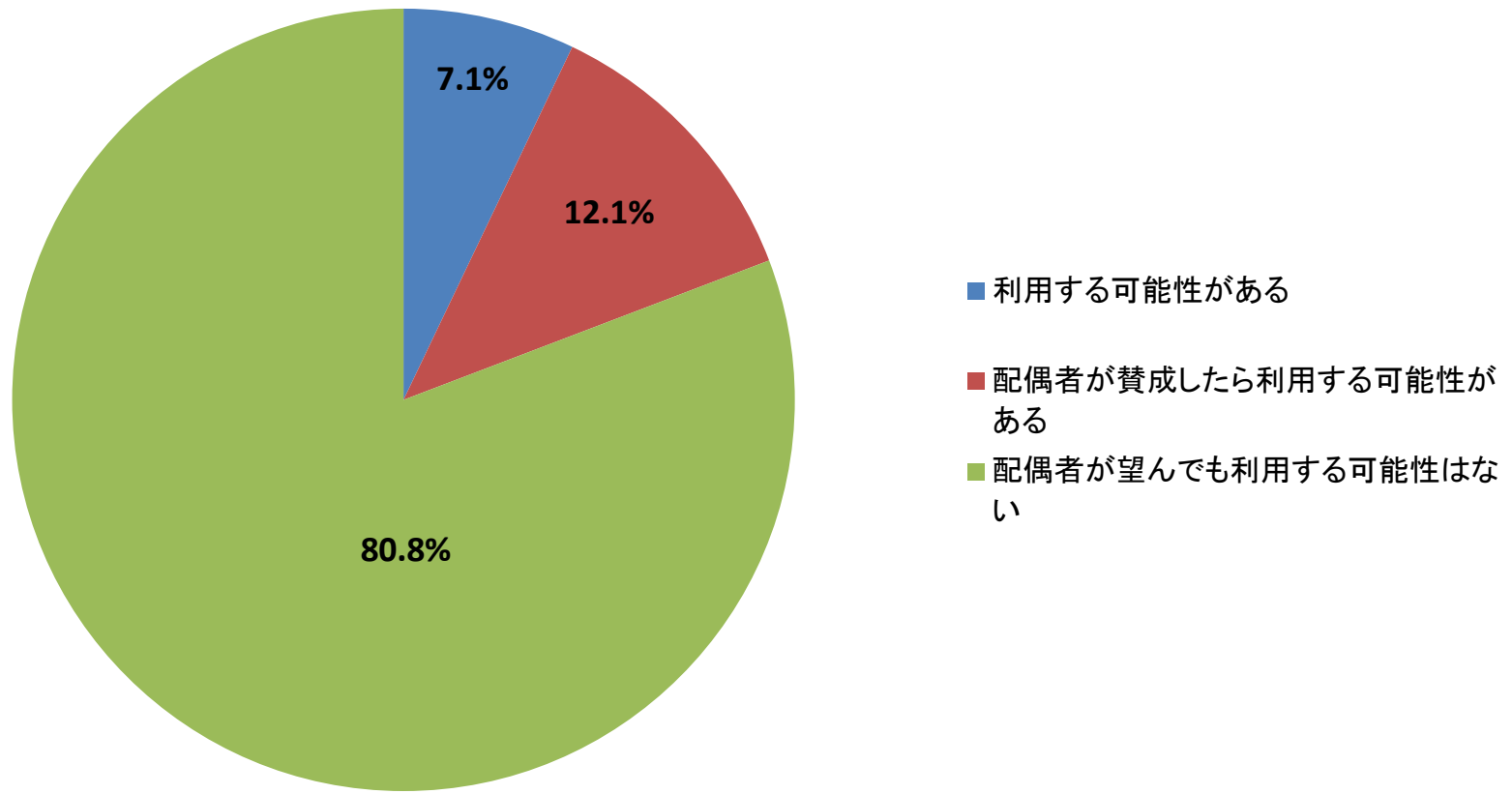


- 利用する可能性がある
- 配偶者が賛成したら利用する可能性がある
- 配偶者が望んでも利用する可能性はない

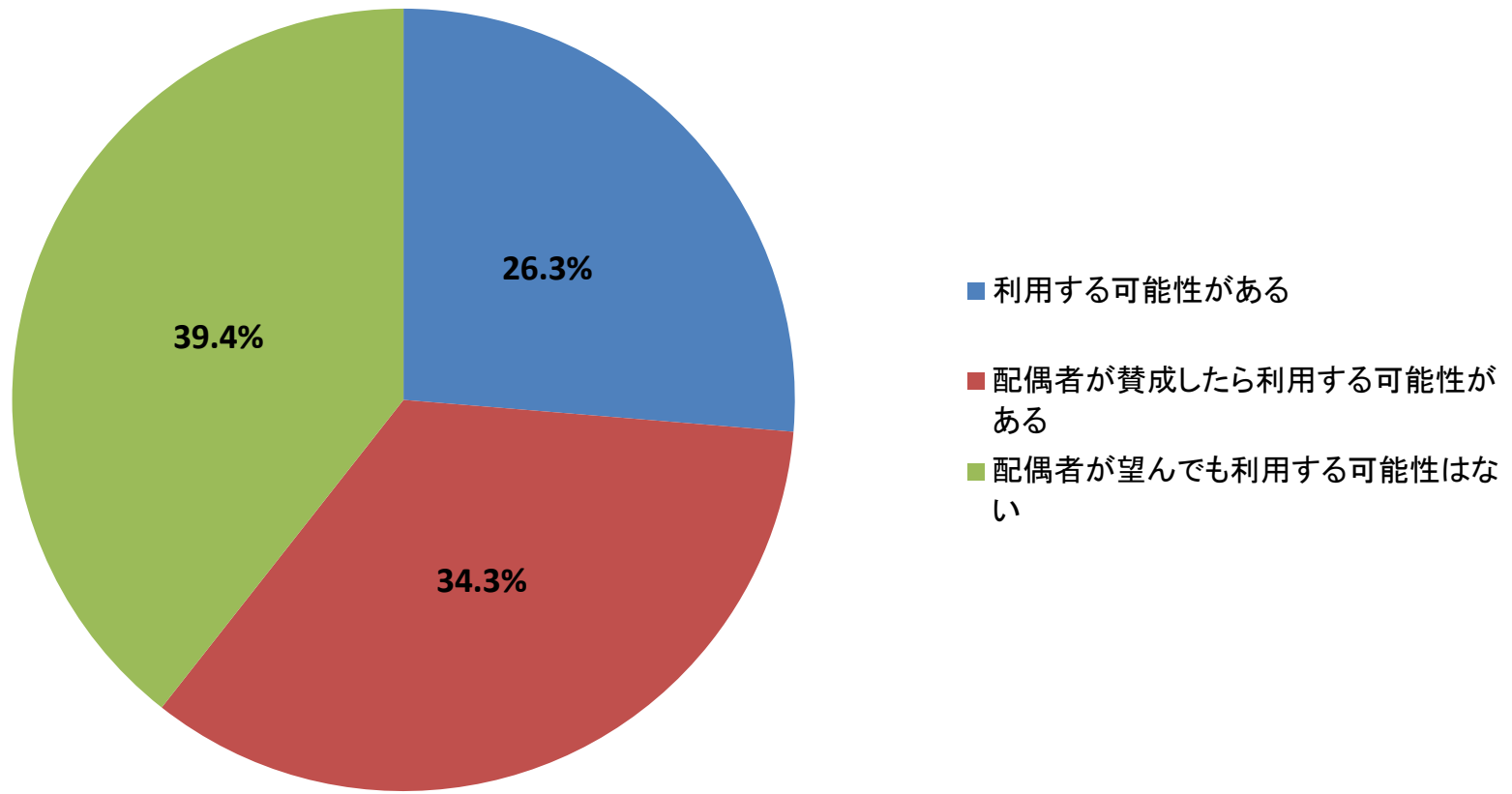
# 習慣的流産回避のため 受精卵診断を利用する可能性



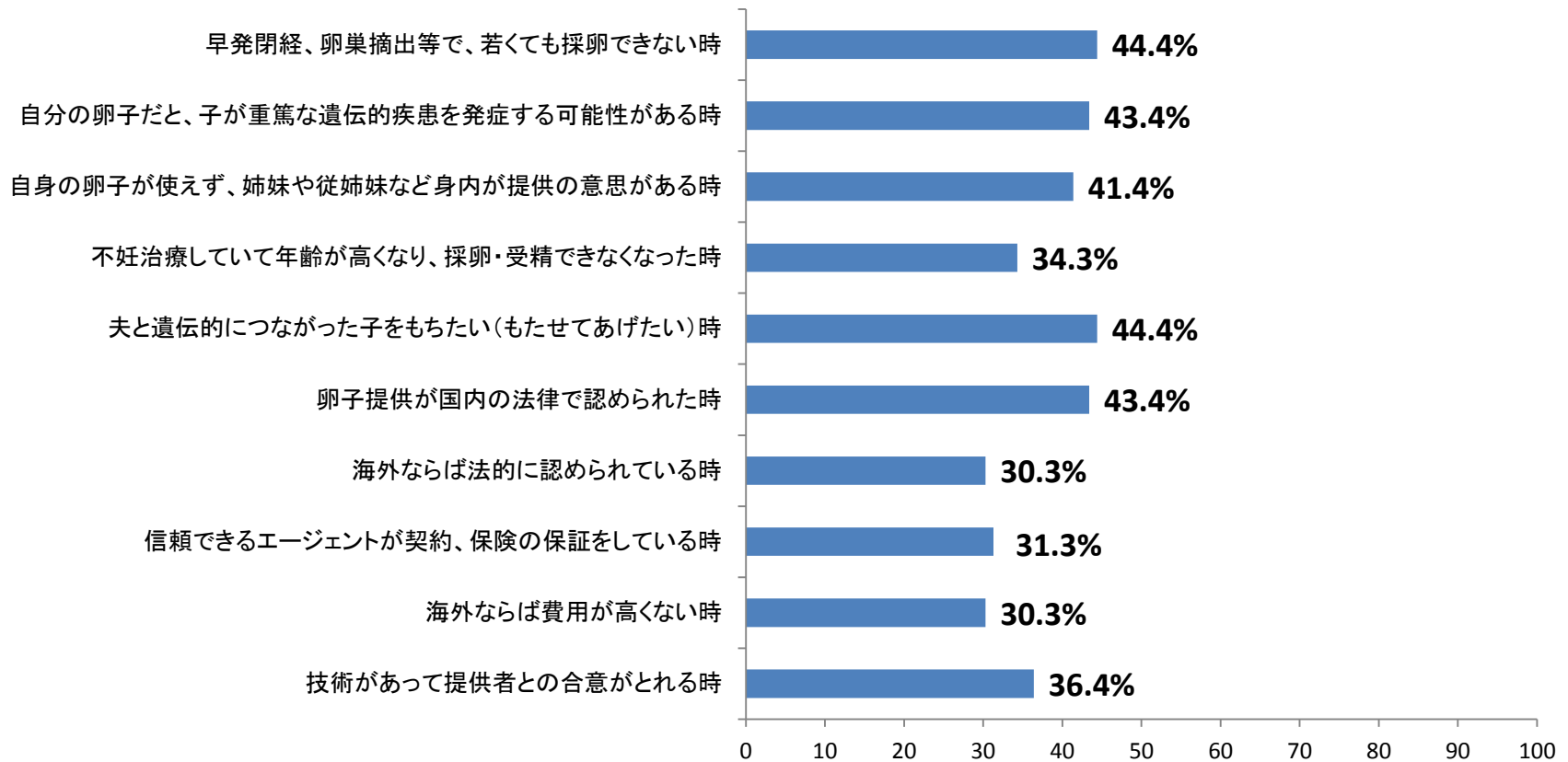
# 男女産み分けのため 受精卵診断を利用する可能性



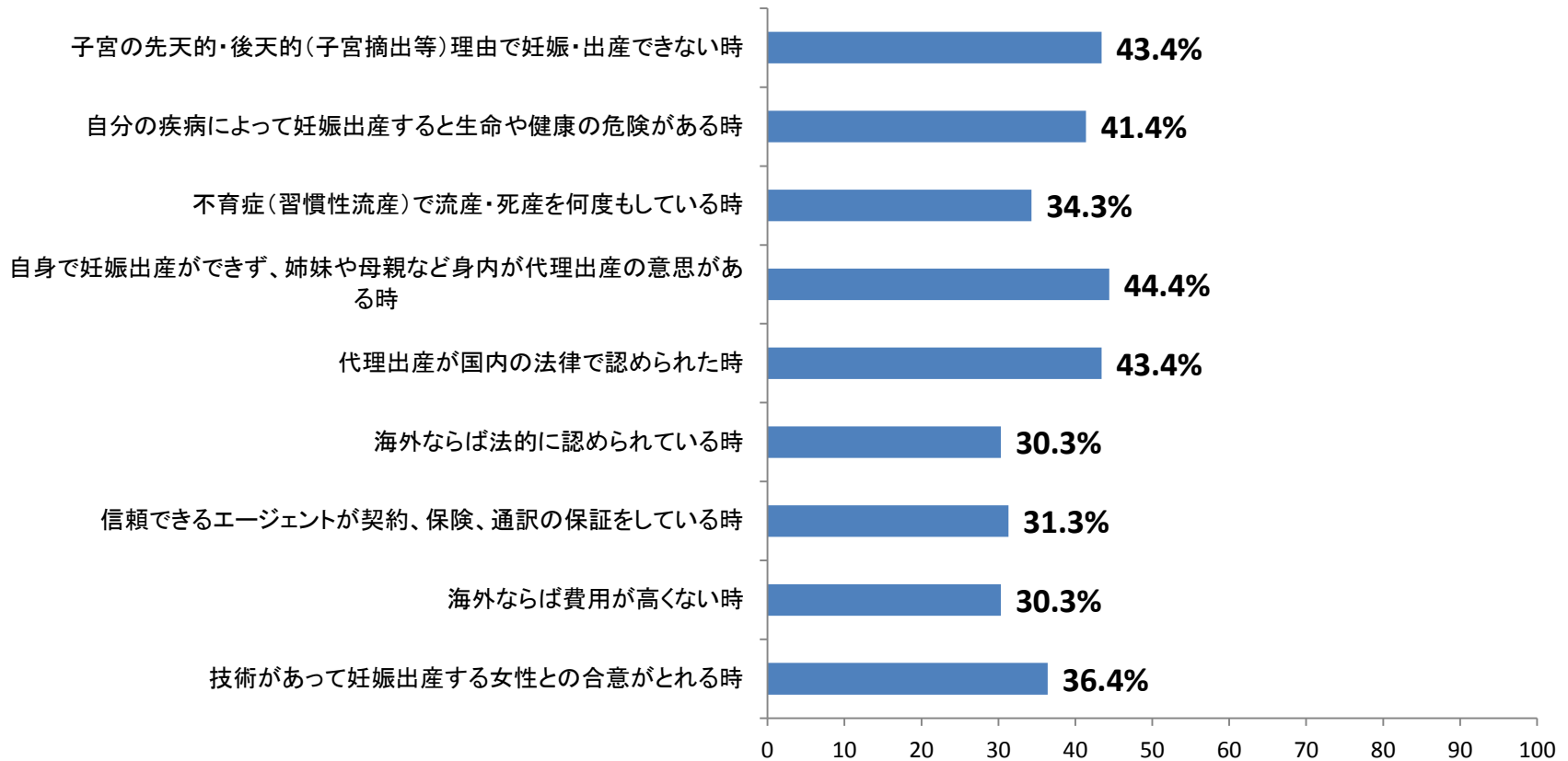
# 卵子若返りのために核置換法を利用する可能性



# どのような状況に置かれたら 卵子提供を受けると思うか

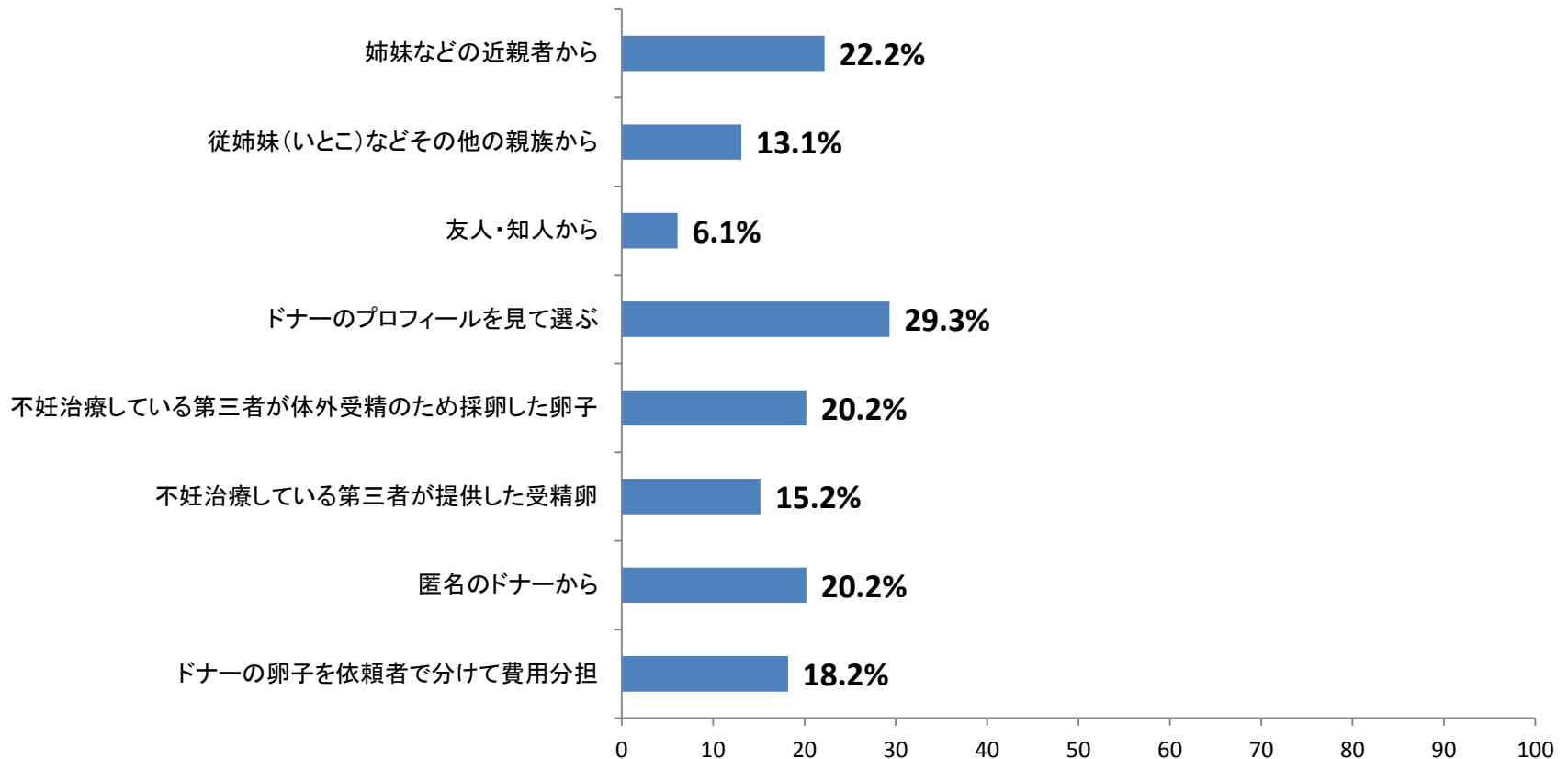


# どのような状況に置かれたら 代理出産を依頼すると思うか

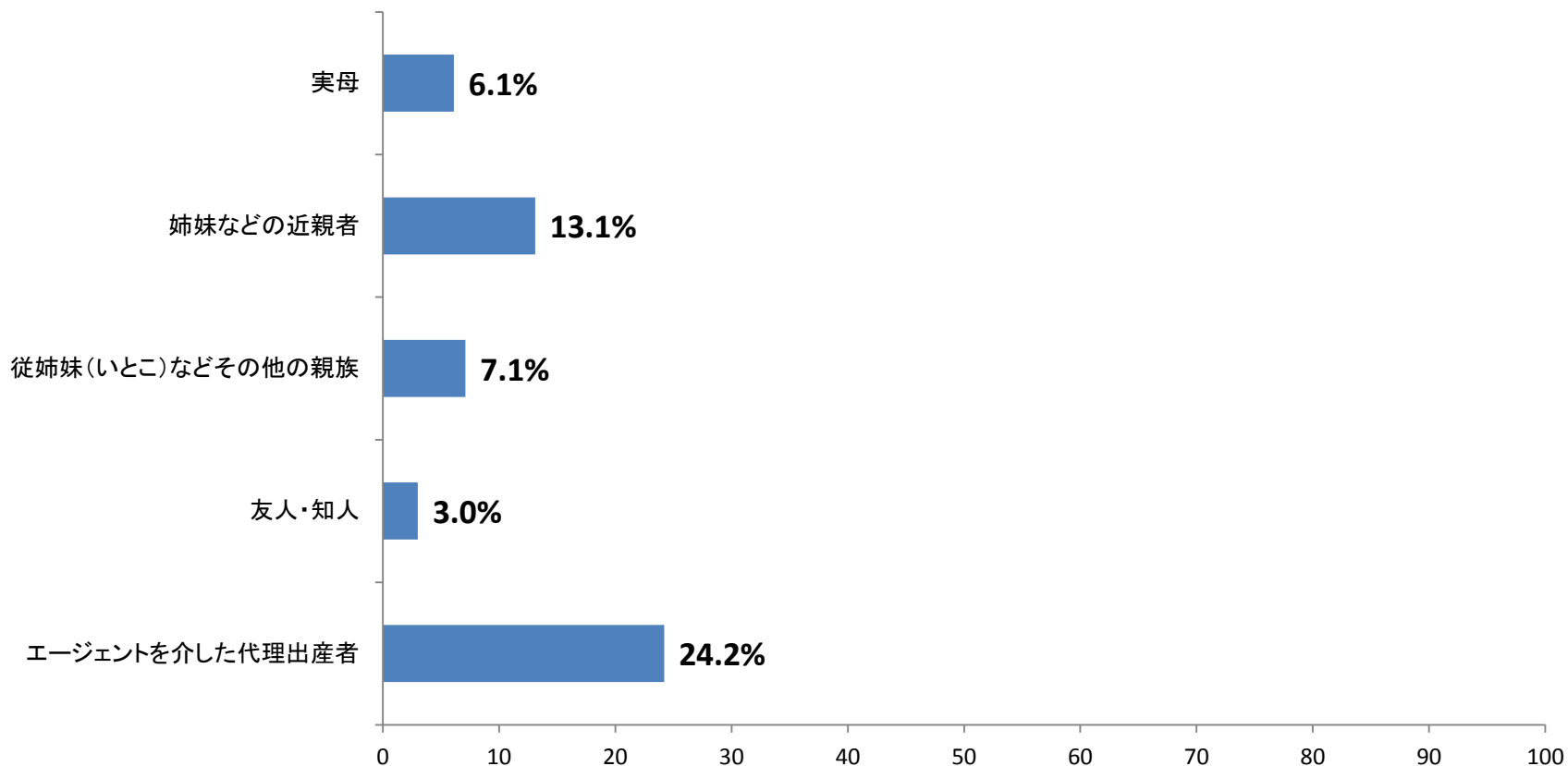




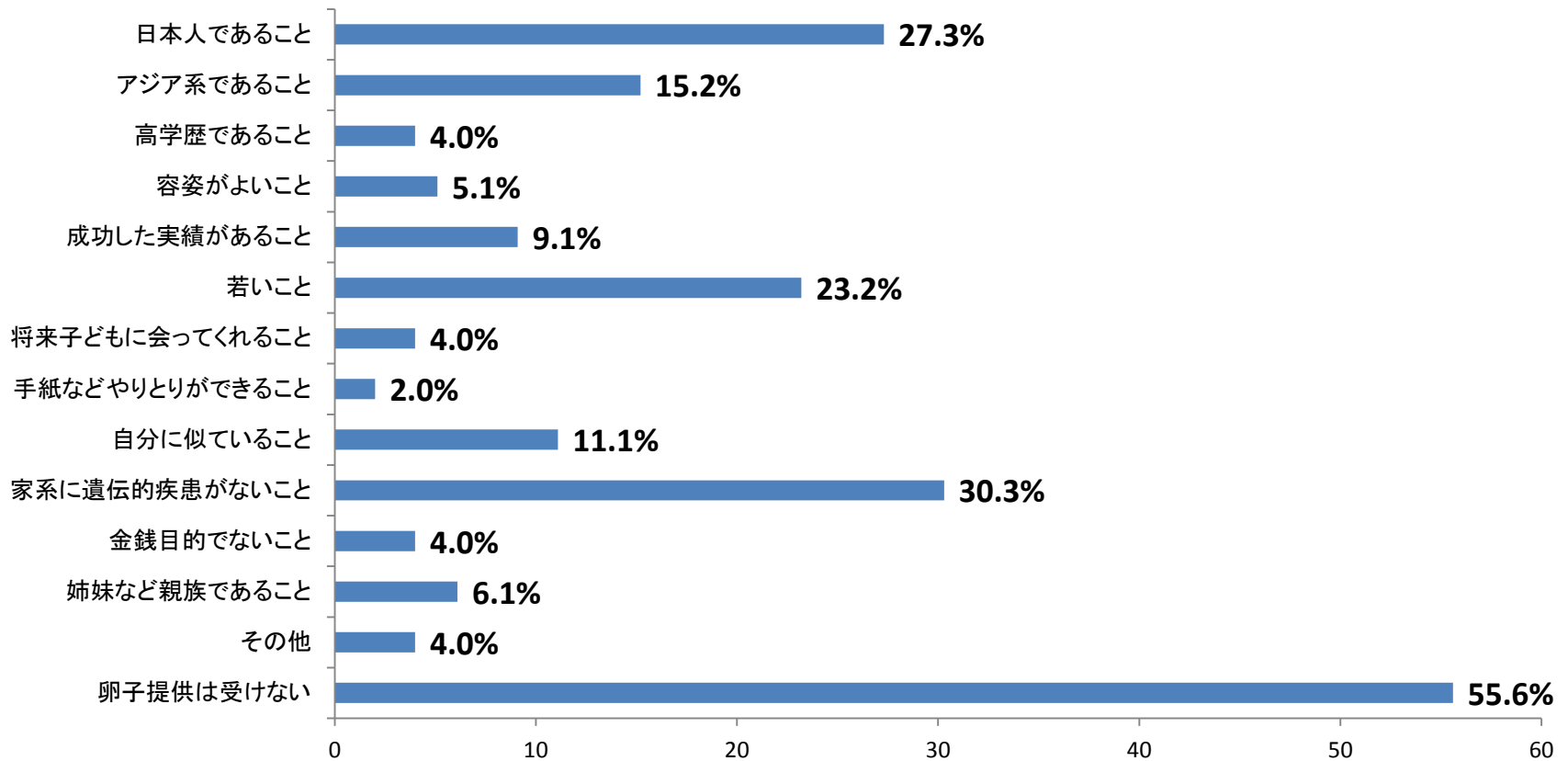
# 卵子提供を受けると仮定した場合 検討する可能性のある選択肢



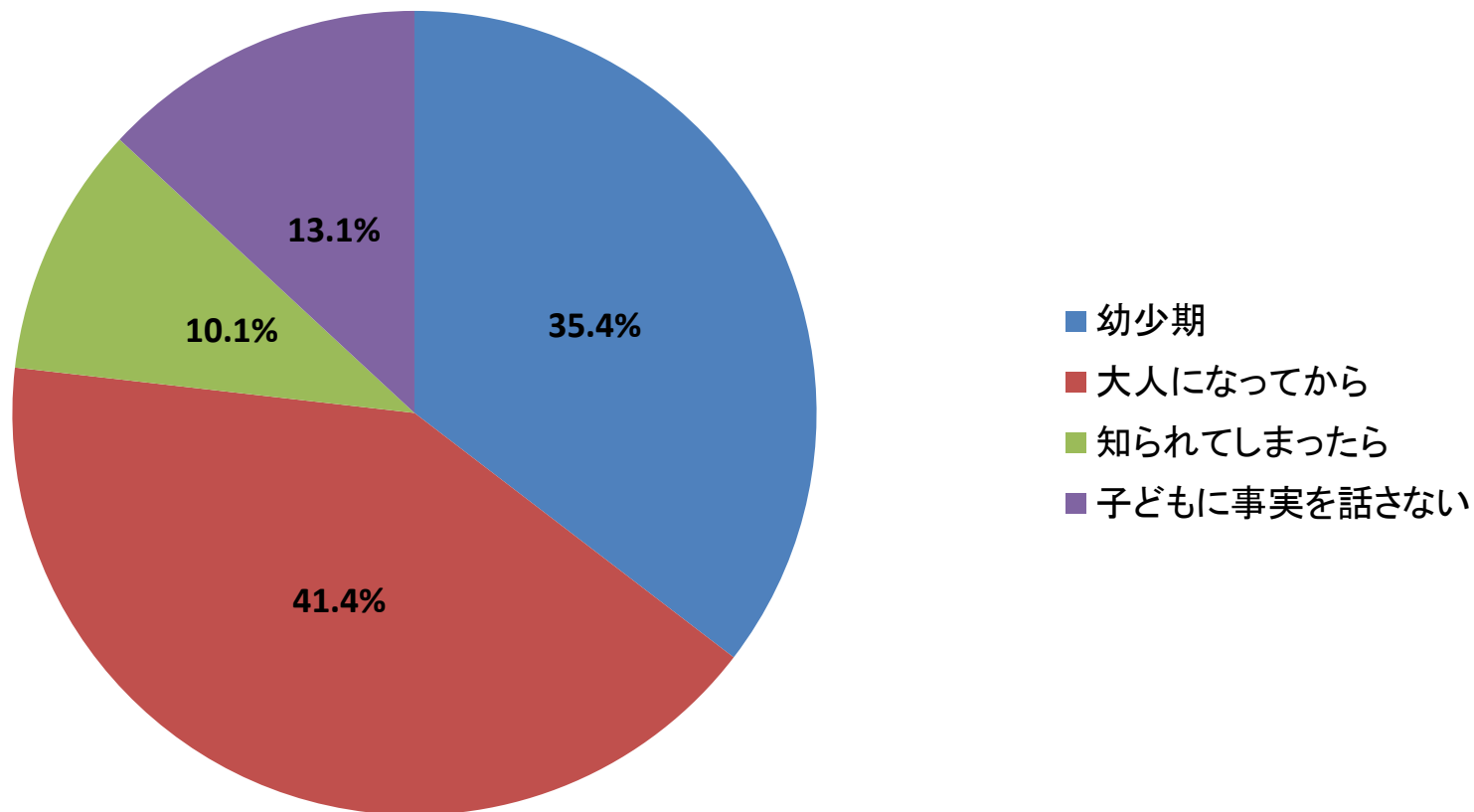
# 代理出産を依頼すると仮定した場合 検討する可能性のある選択肢



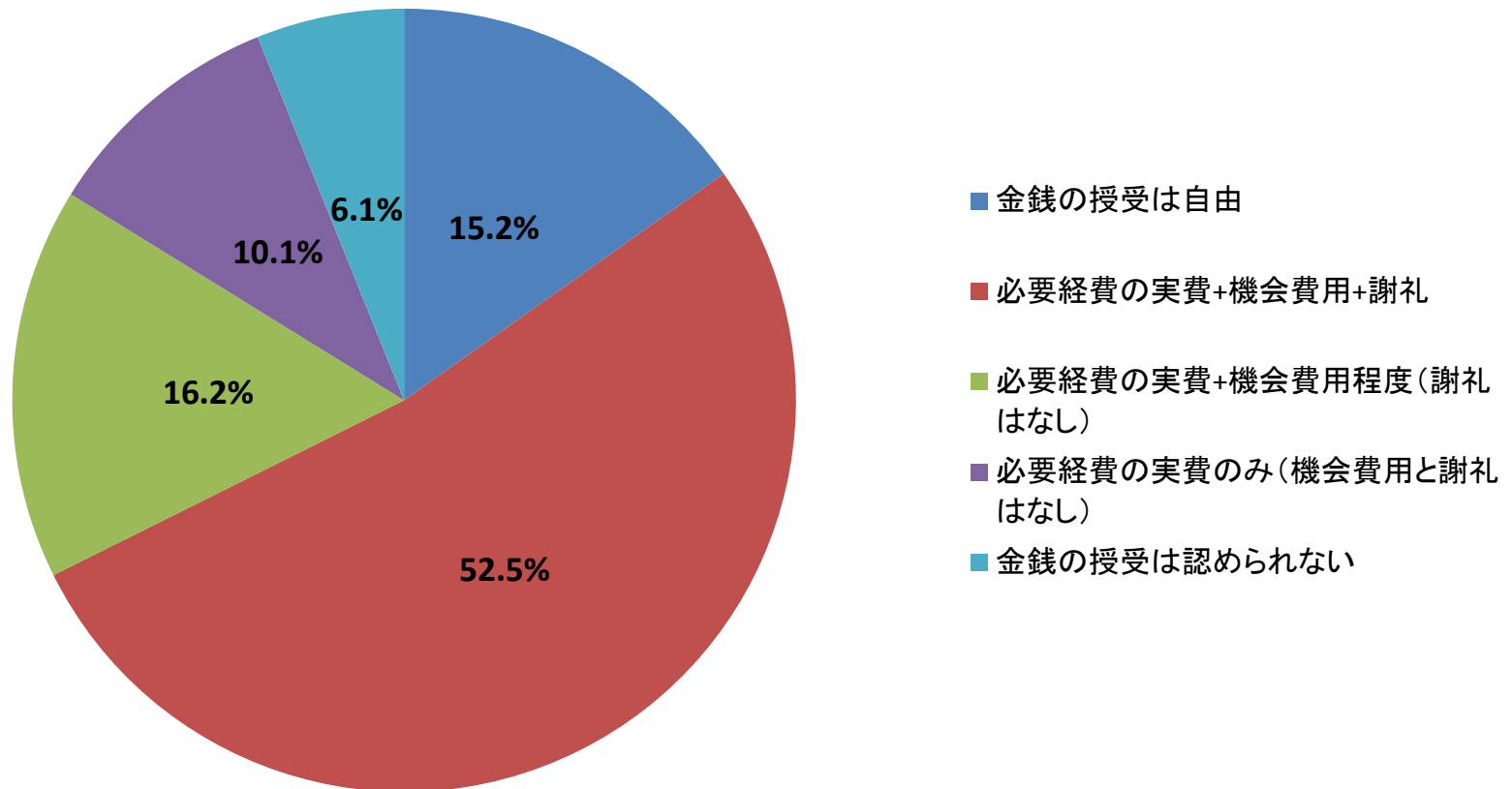
# 卵子提供のドナーに求めることは何か (複数回答可)



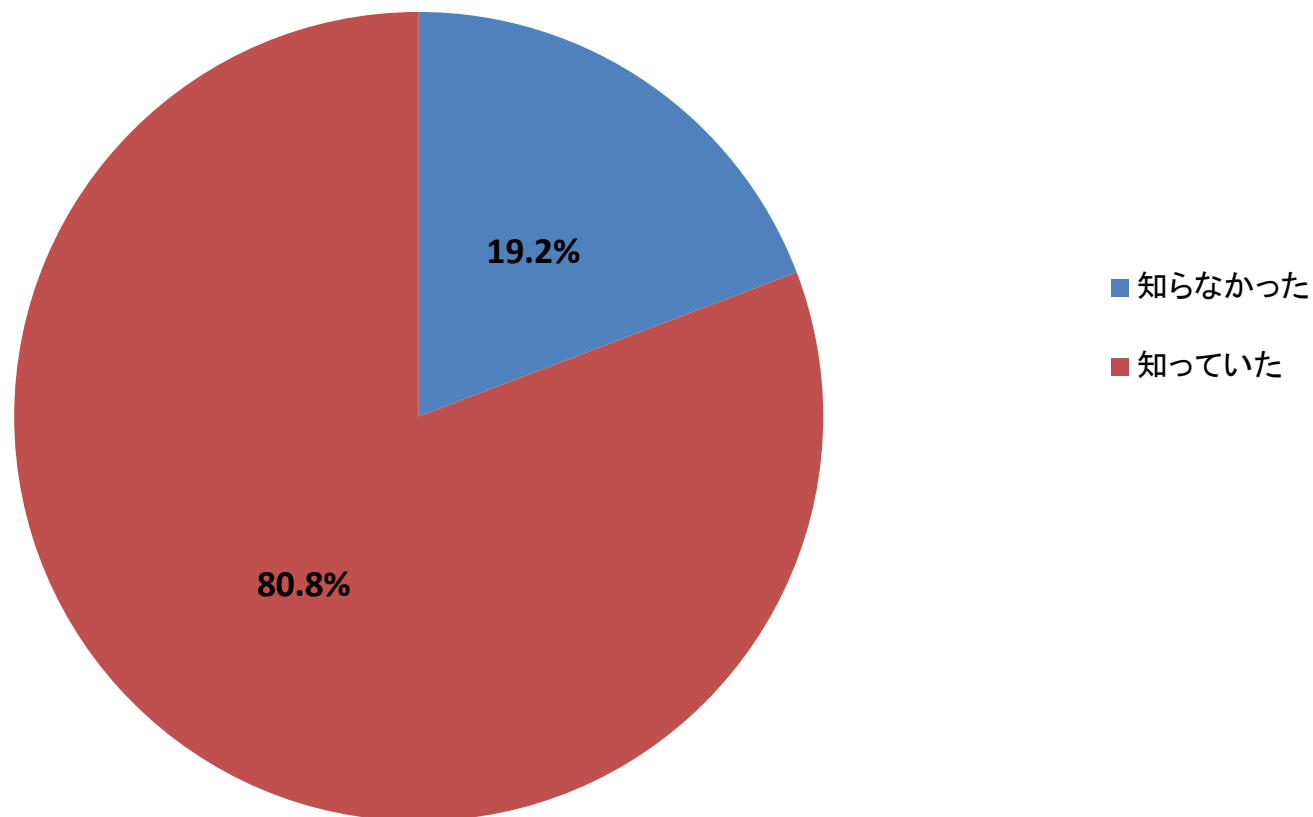
# 卵子提供・代理出産で子を得たら いつ子どもにもその事実を話すか



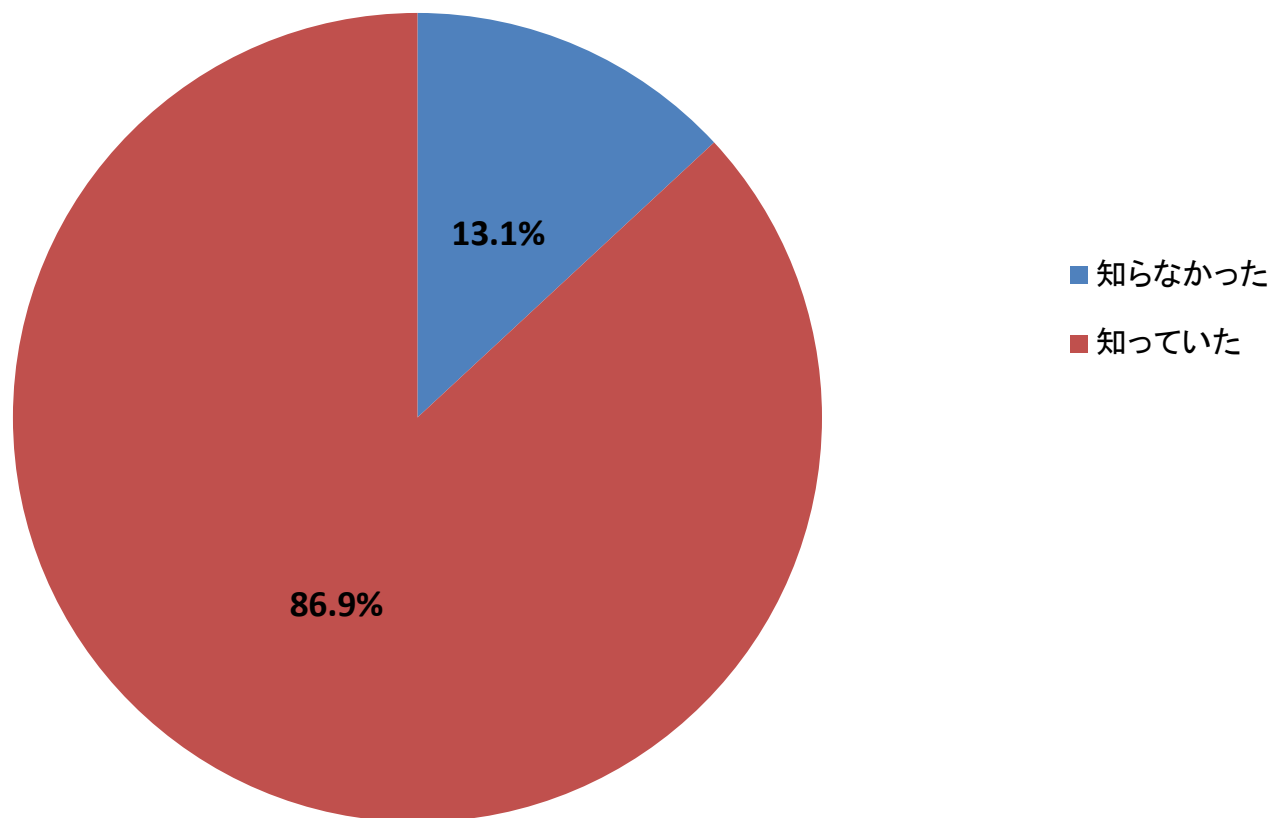
# 卵子提供・代理出産者への 金銭授受について



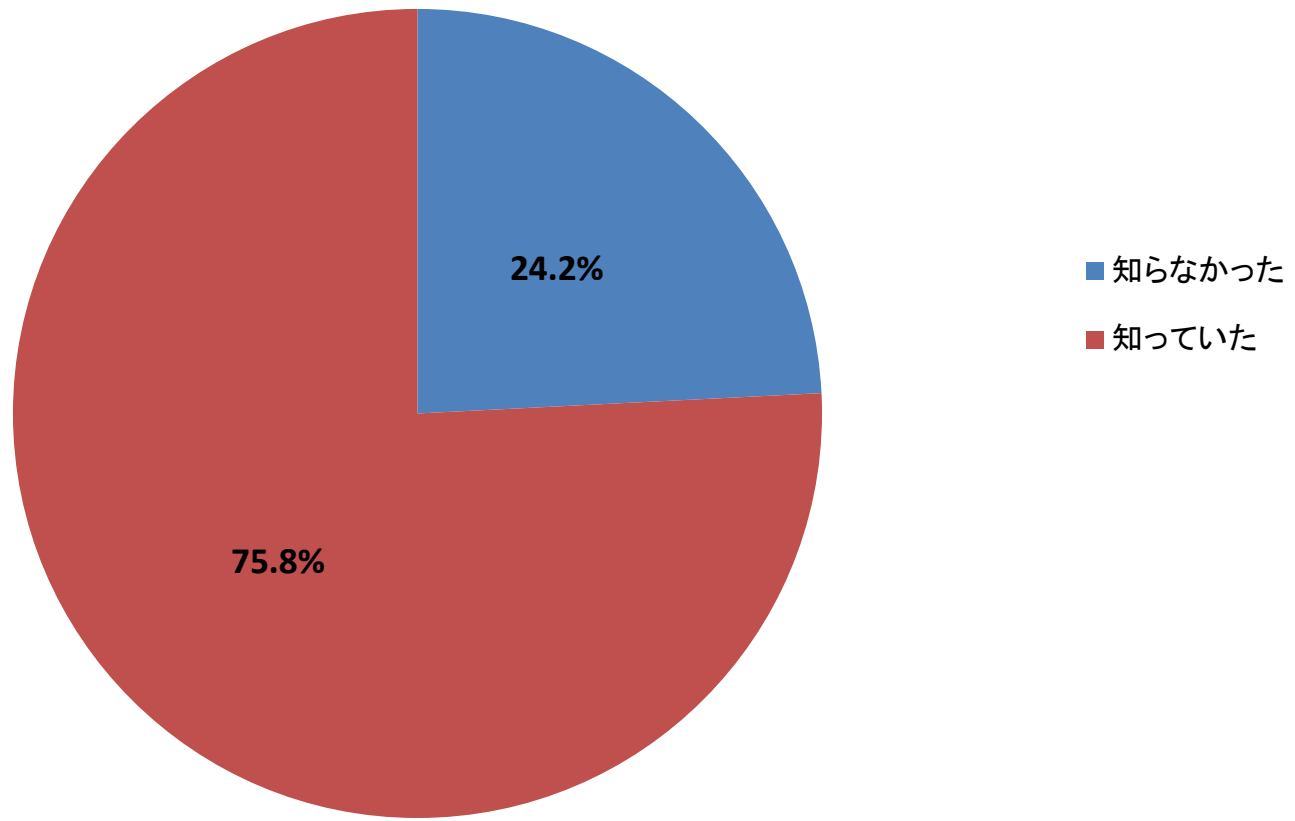
# 高年齢で卵子提供を受けると、出血多量・子宮全摘のリスクが高くなる



# 高年齢で卵子提供を受けると、流産・死産・早産による児の事後不良のリスクが高くなる

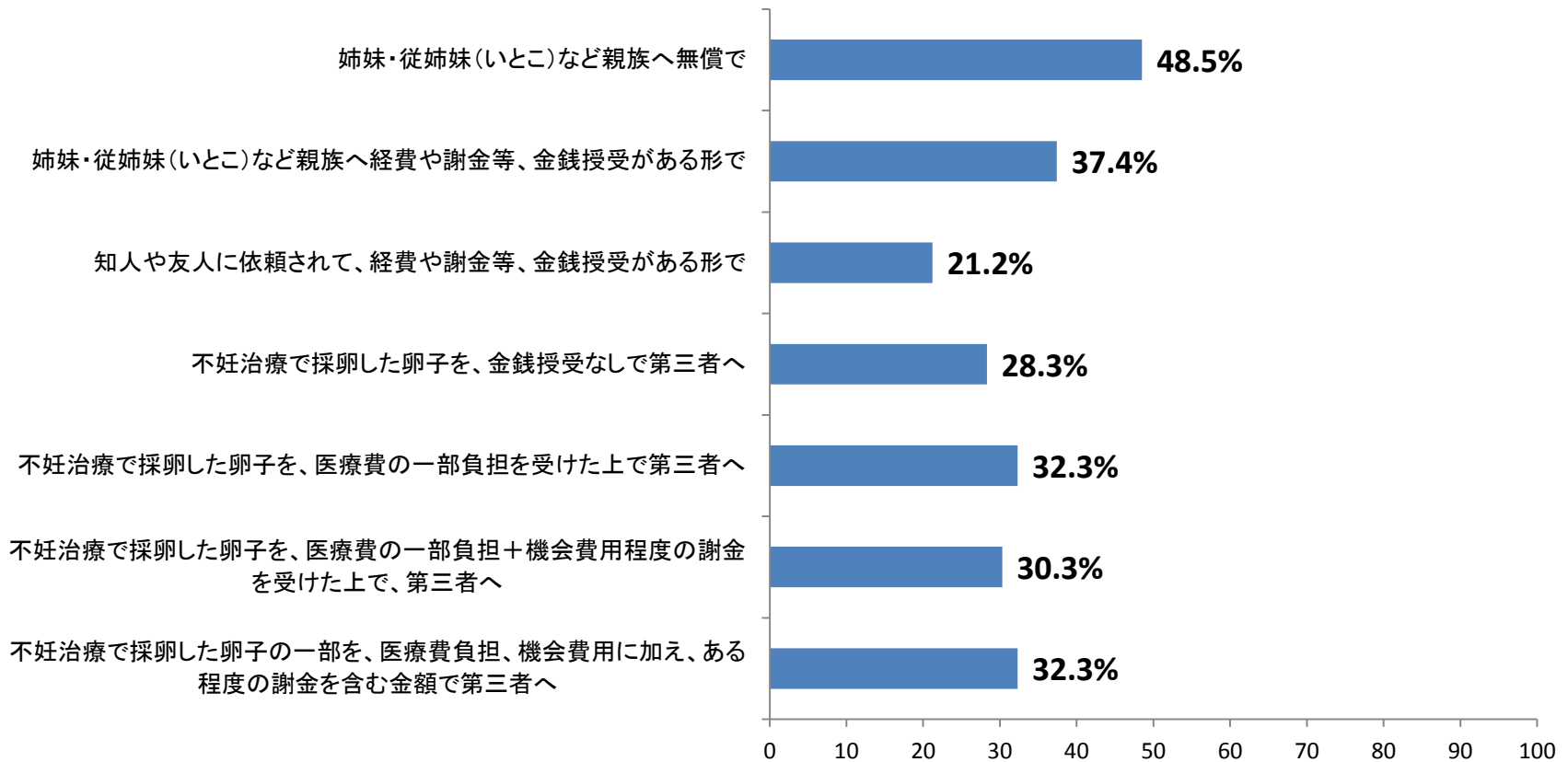


# 高年齢で卵子提供を受けると、国内で妊娠管理・分娩を受け入れてくれる施設が見つからないことがある

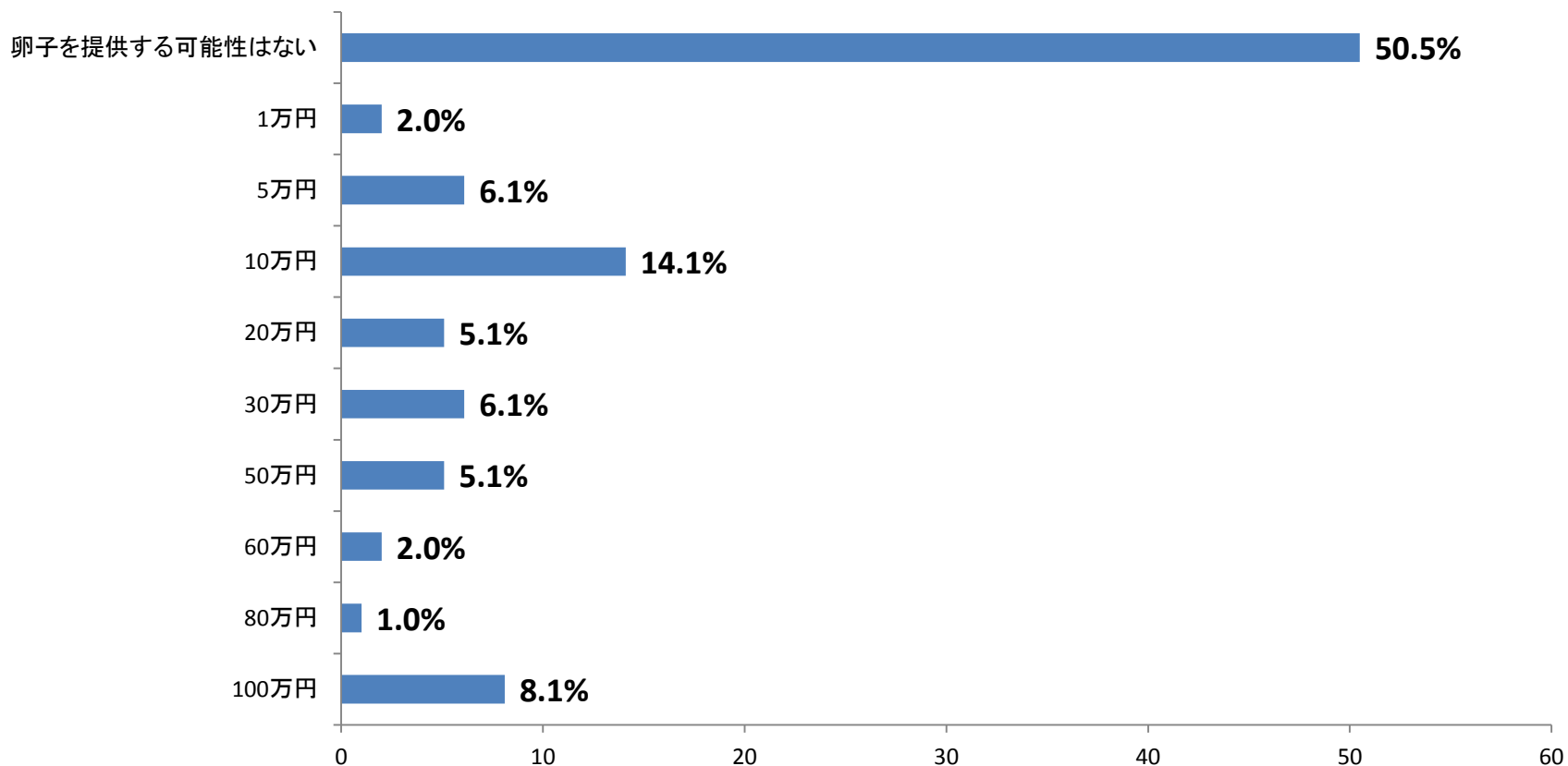




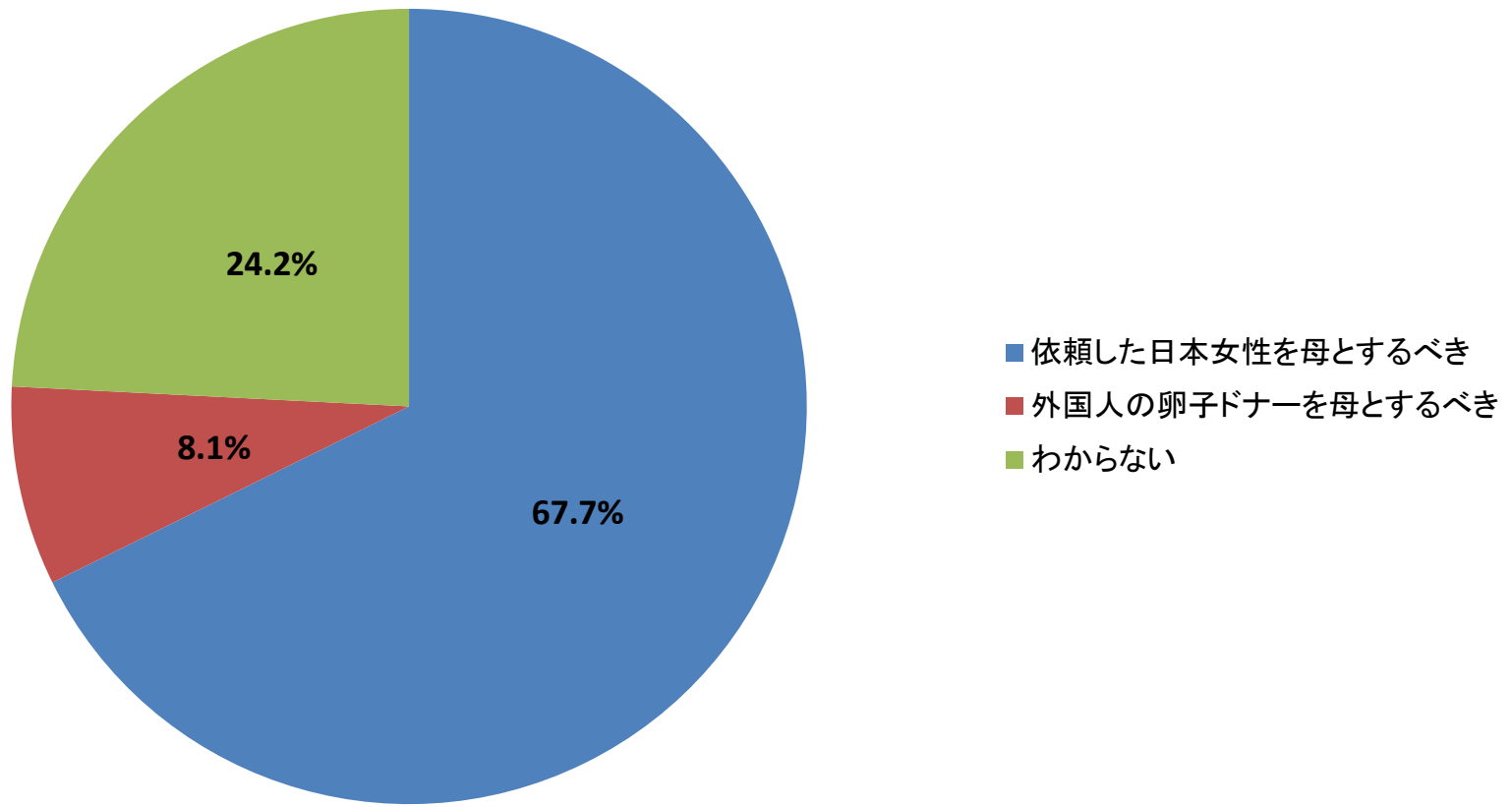
# 自分の卵子や受精卵の提供を 検討するケース



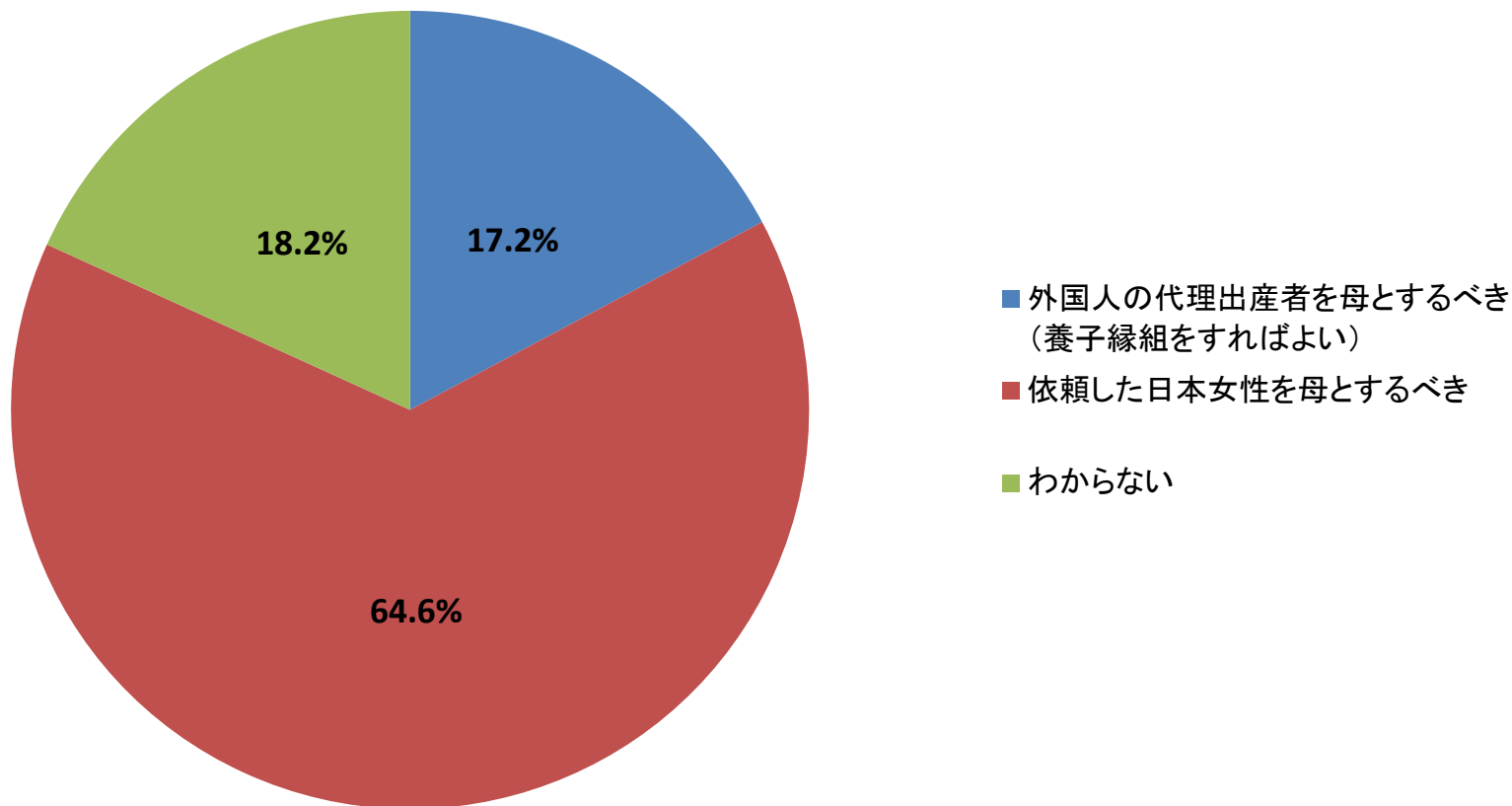
# 自分の卵子・受精卵を 提供するなら妥当と考える金額



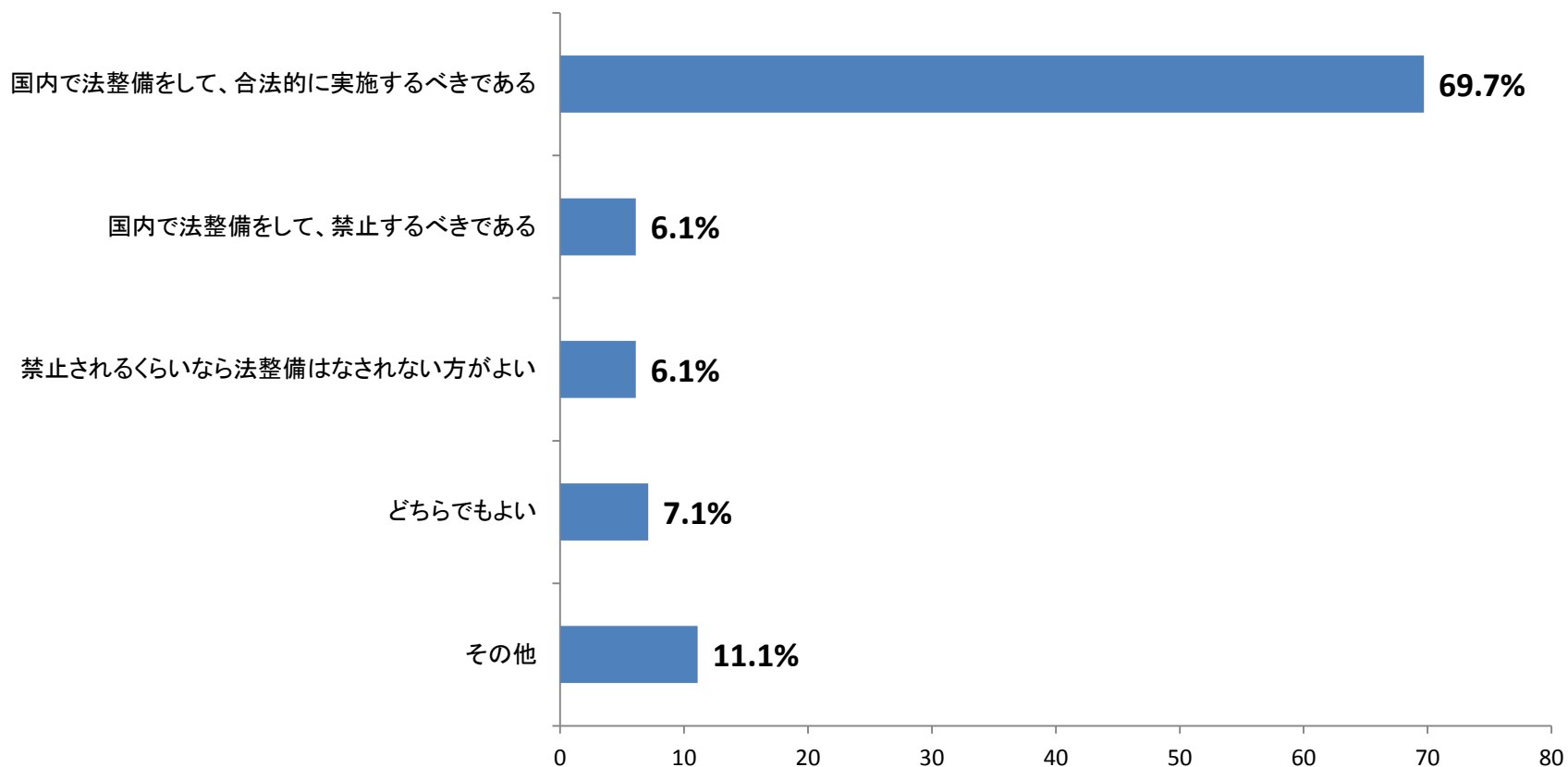
# 海外で卵子提供を依頼した場合 生まれた子の法的地位はどうあるべきか



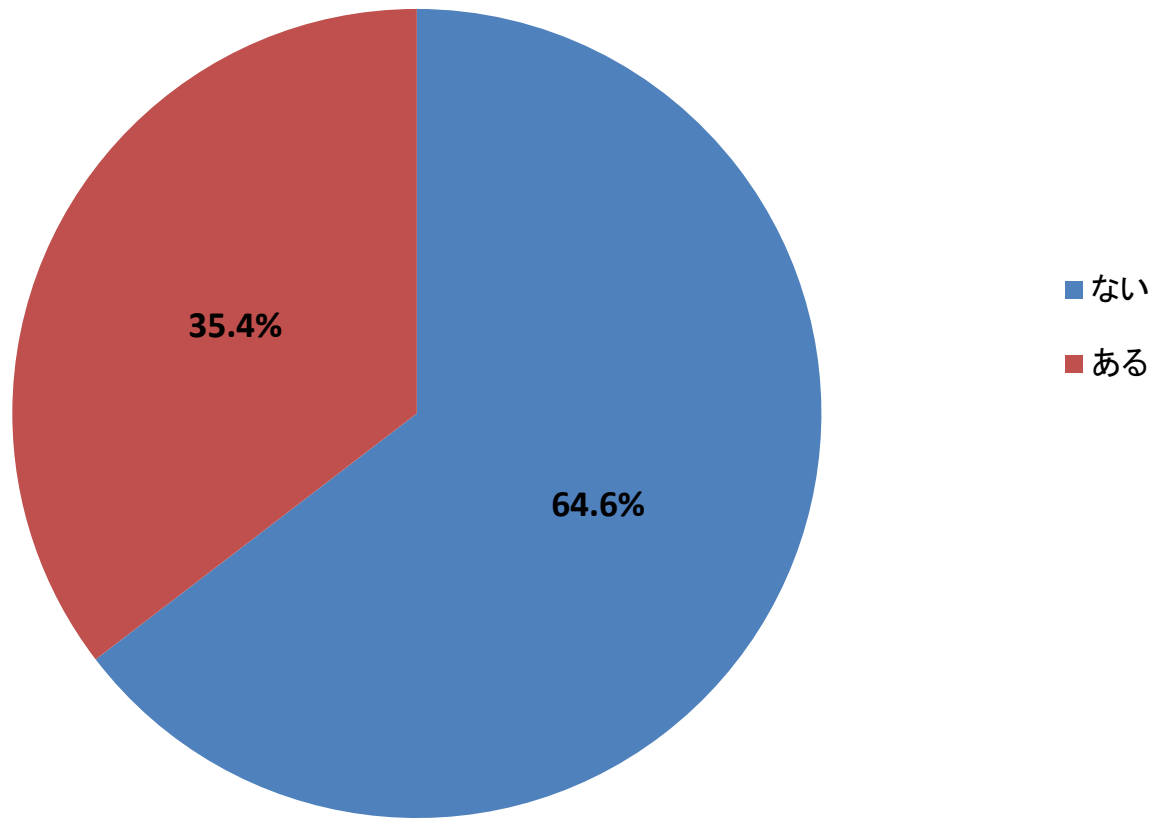
# 海外で代理出産をする場合、生まれた子の法的地位はどうあるべきか



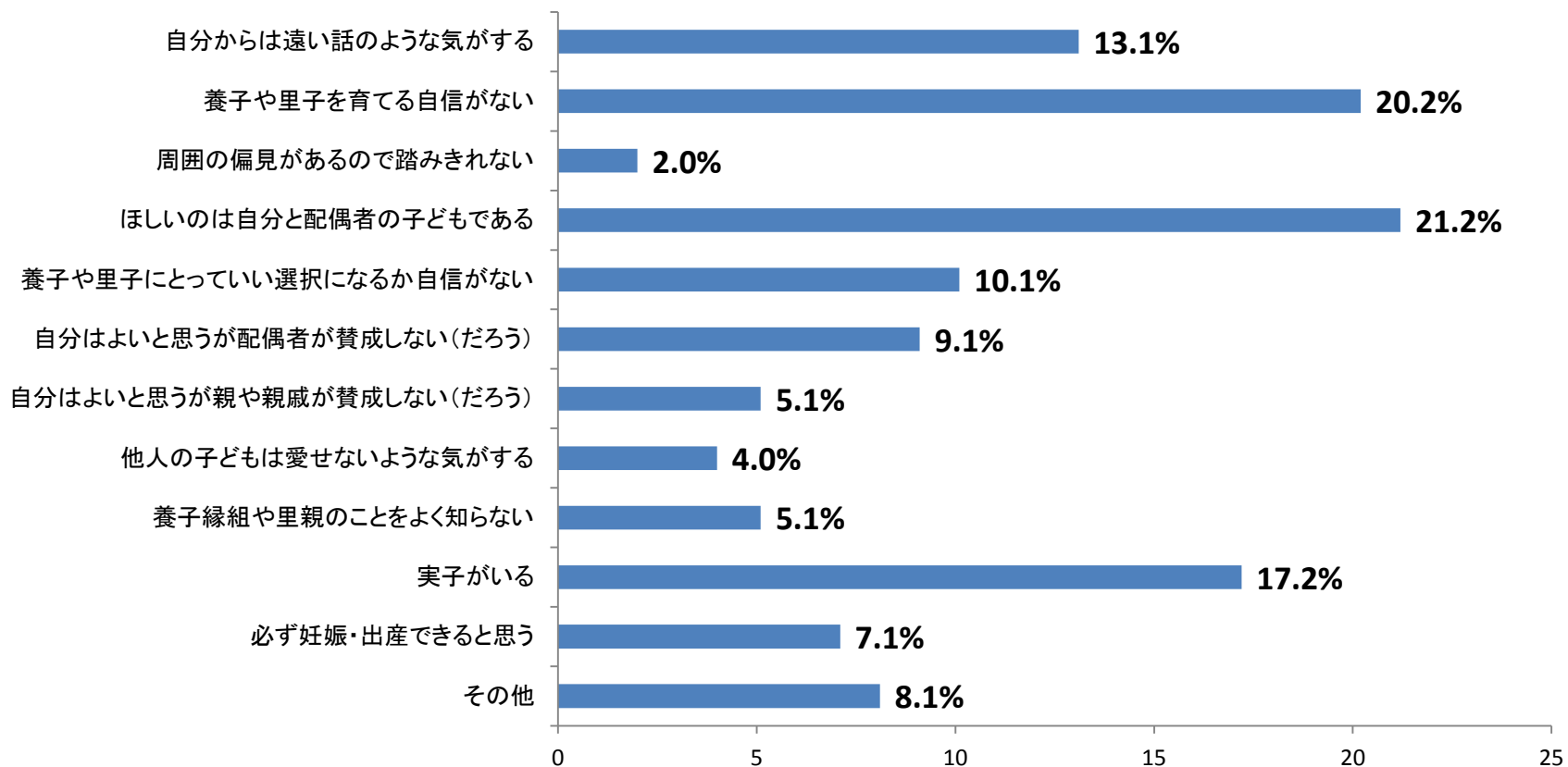
# 生殖補助医療に関して、日本での 法整備は必要か



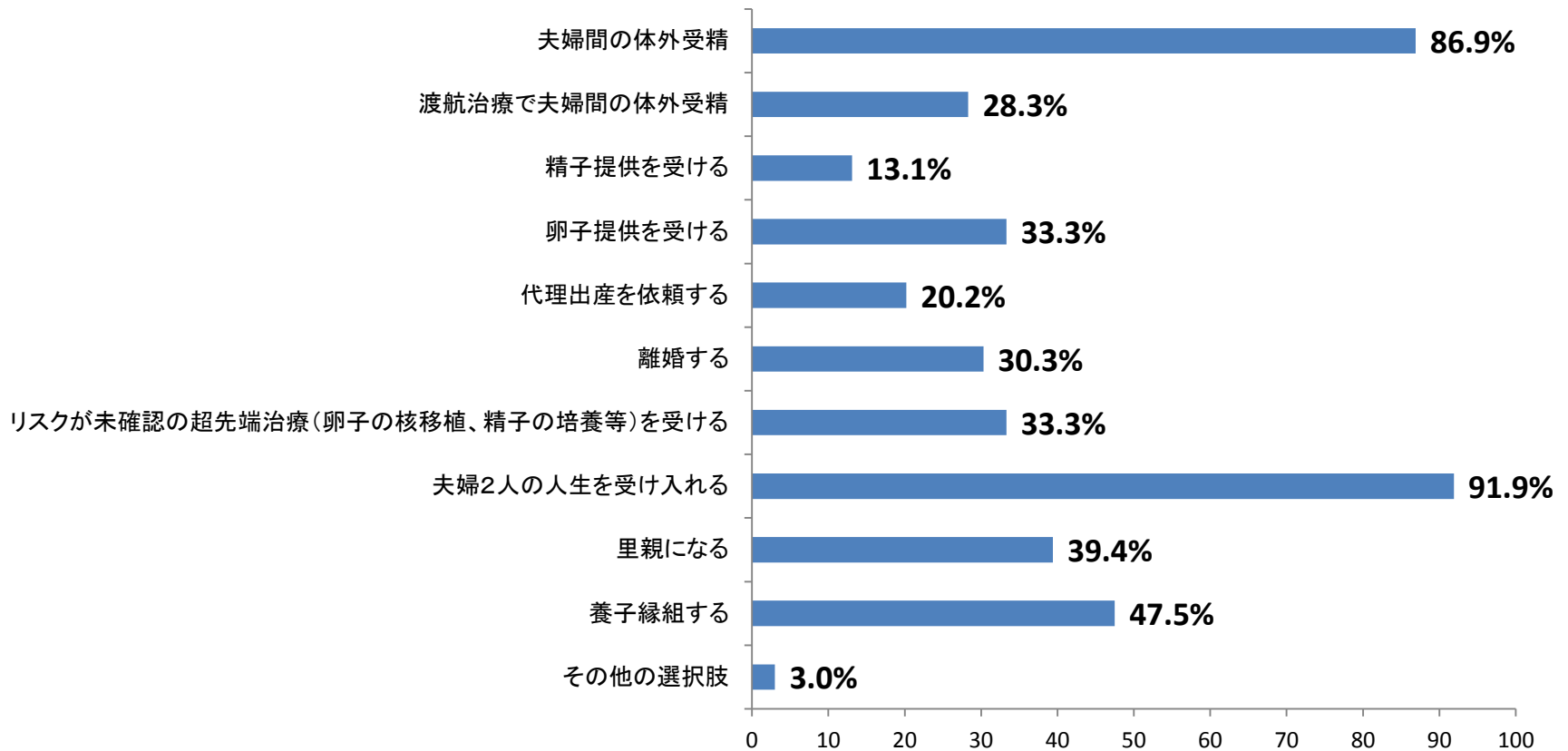
# 特別養子縁組を利用する可能性



# 特別養子縁組を検討しない理由 (複数回答可)

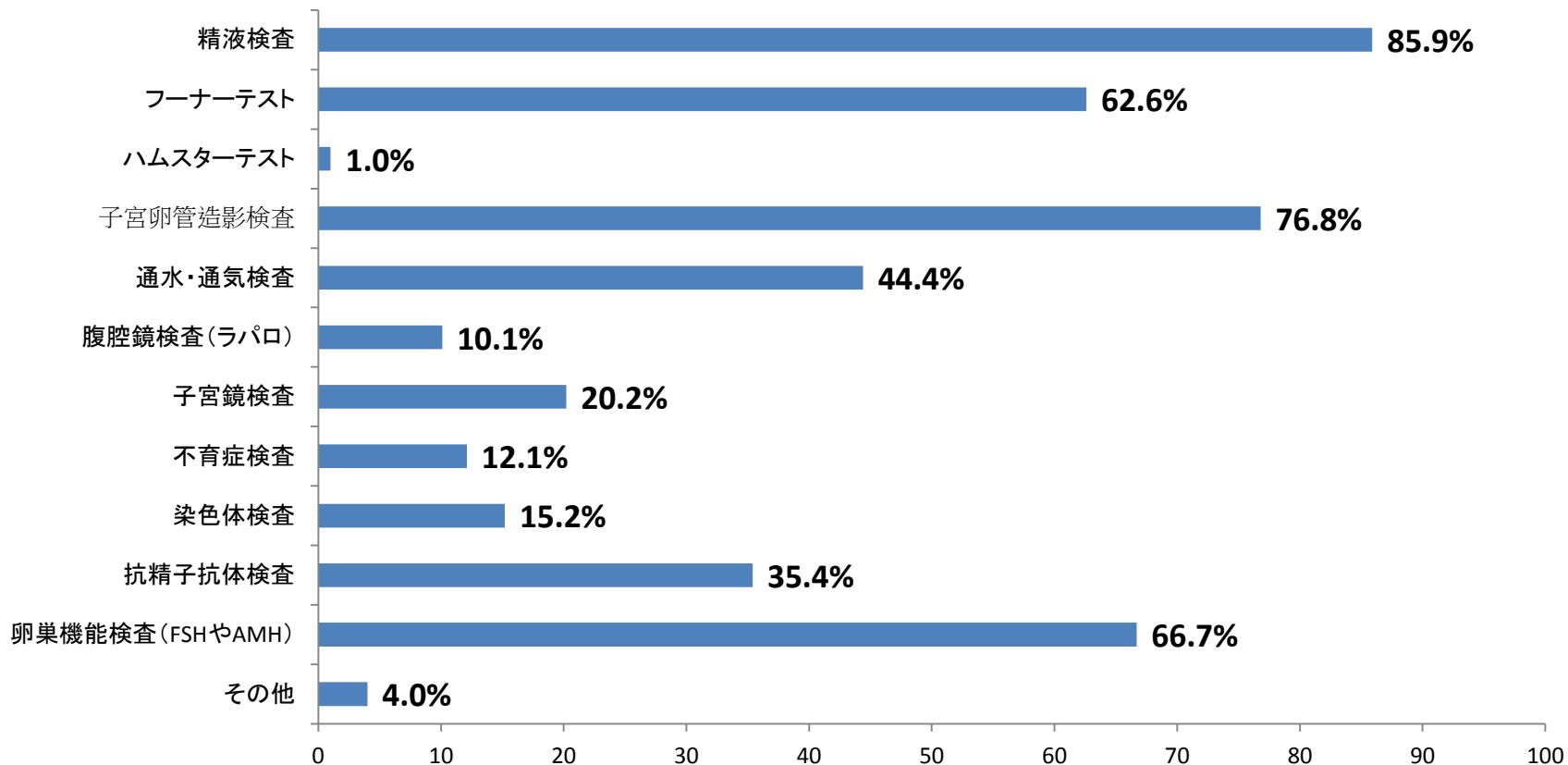


# 子どもを授かることが出来ずに年月が過ぎた場合、あなたの中でありえる選択肢(複数回答可)

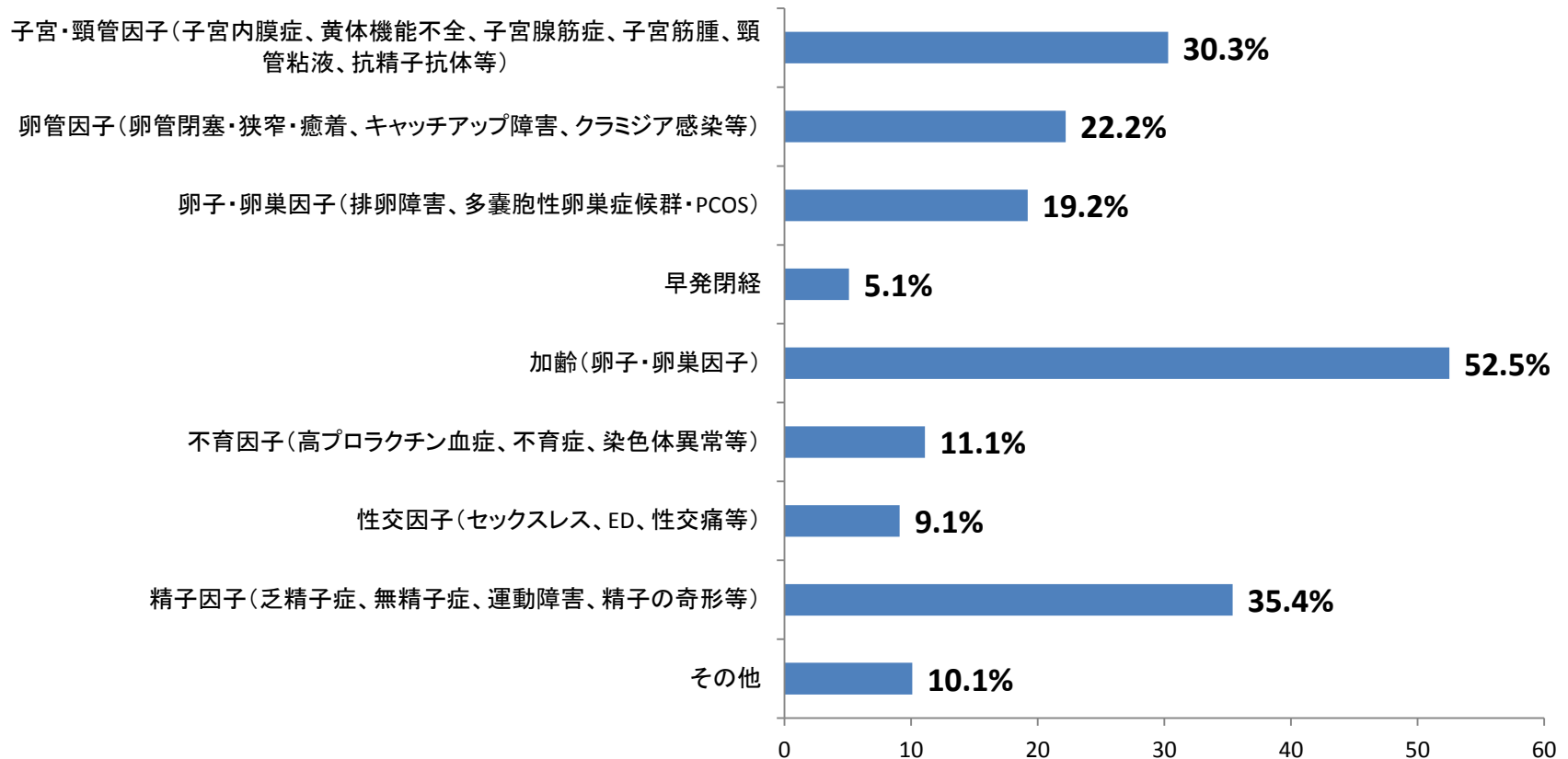




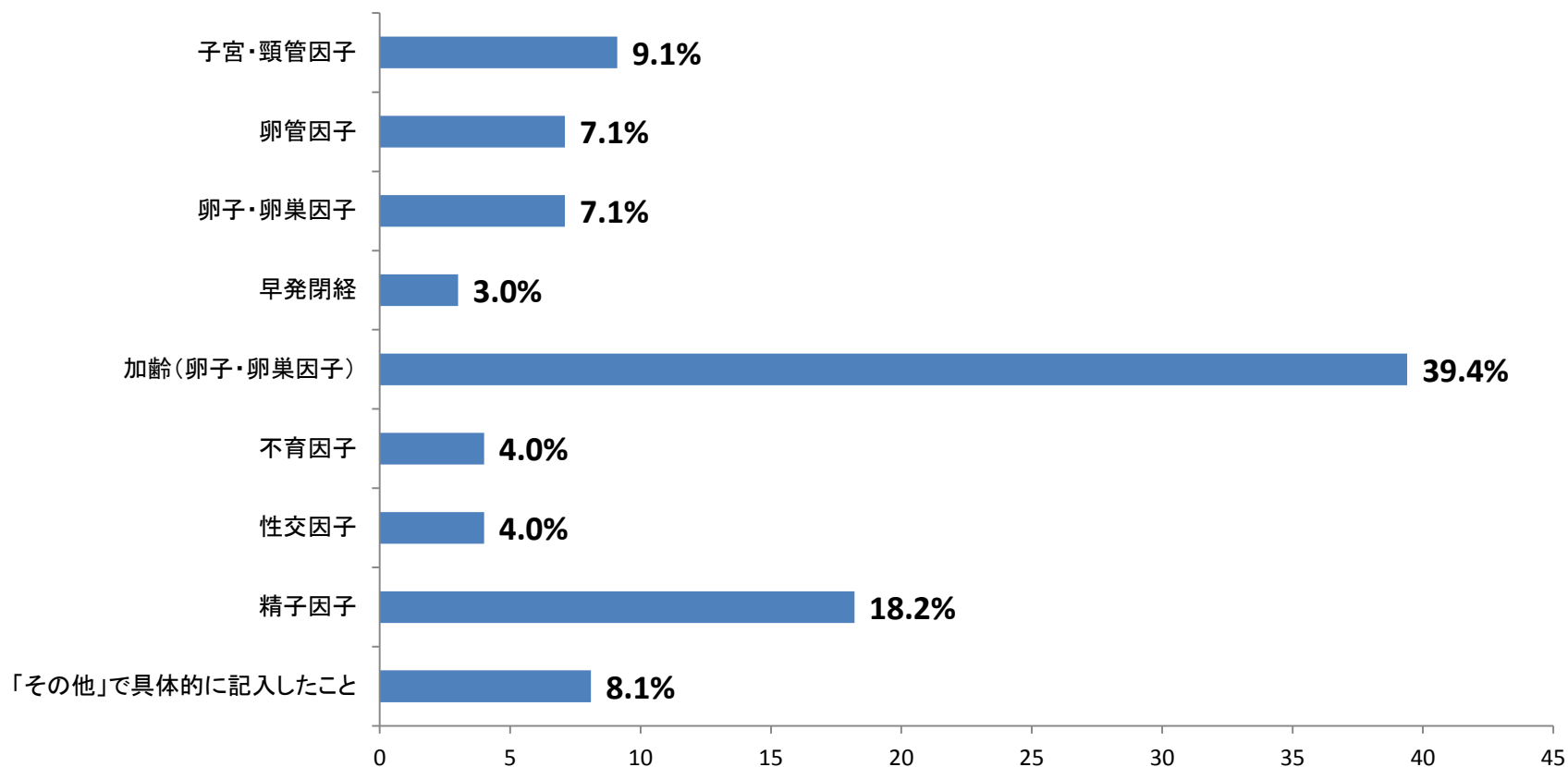
# 受けたことがある検査 (複数回答可)



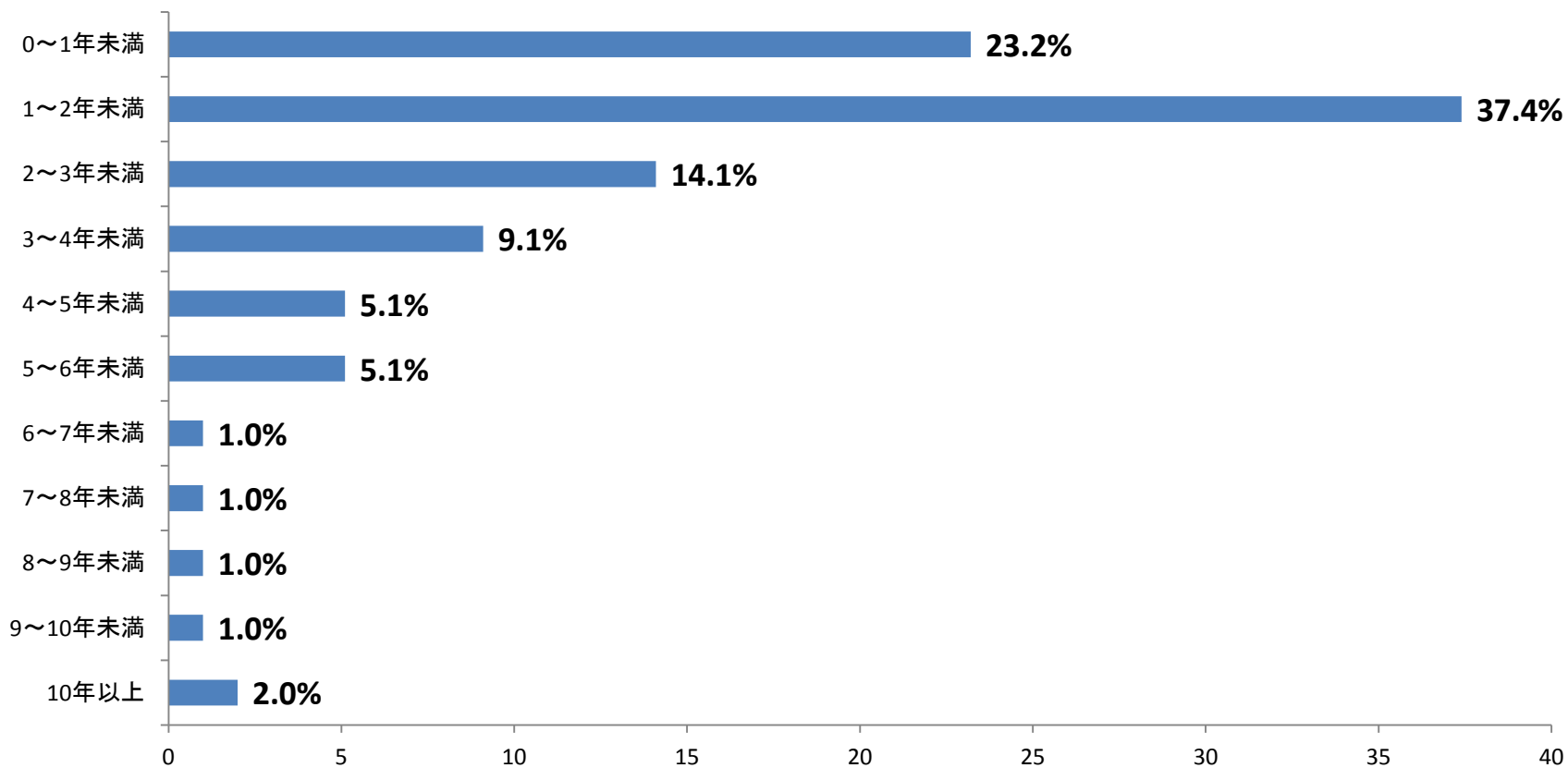
# 現在の不妊原因としてわかっていること (当てはまるものすべて)



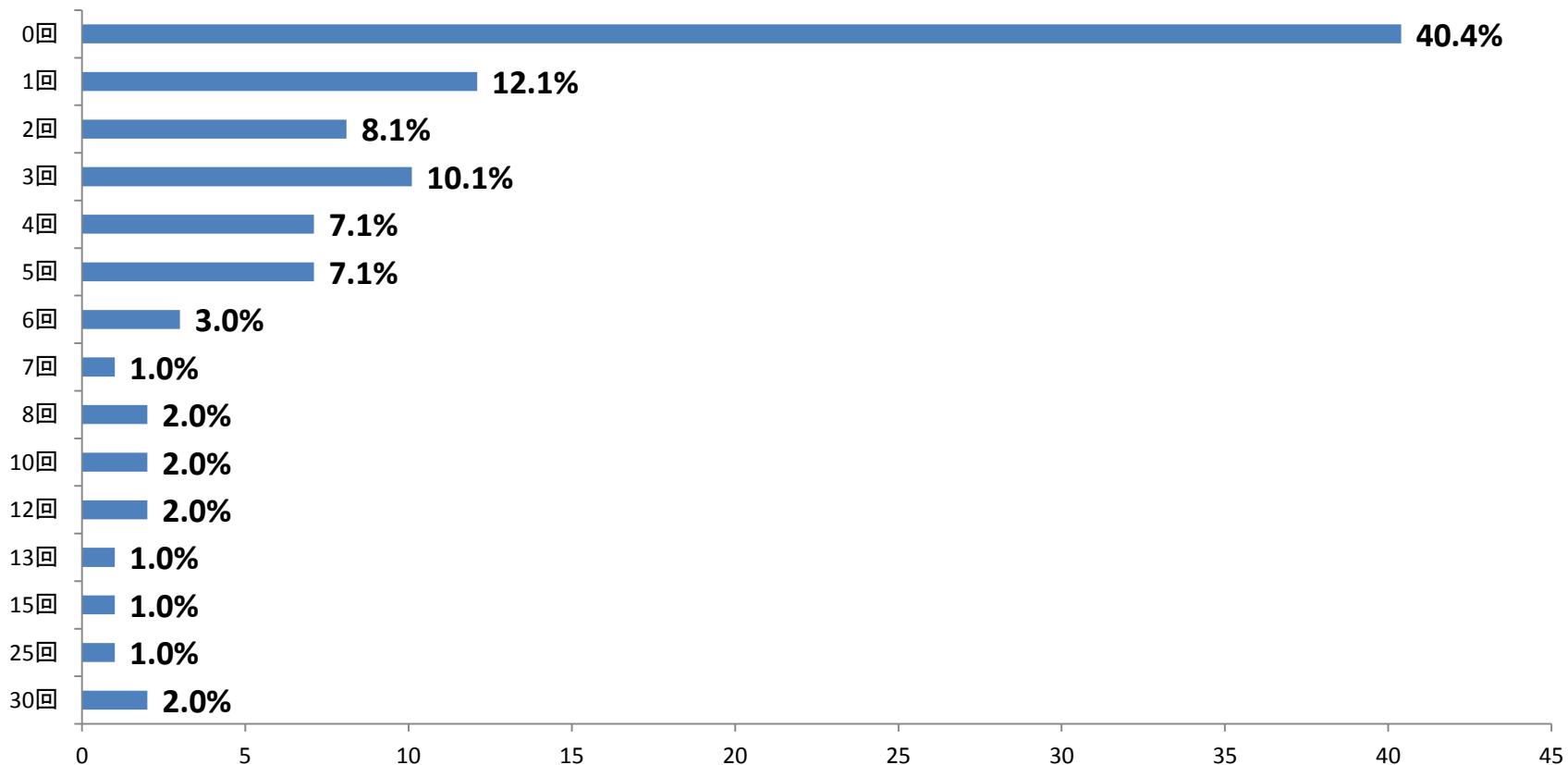
# 不妊の主原因はどれだと思われるか



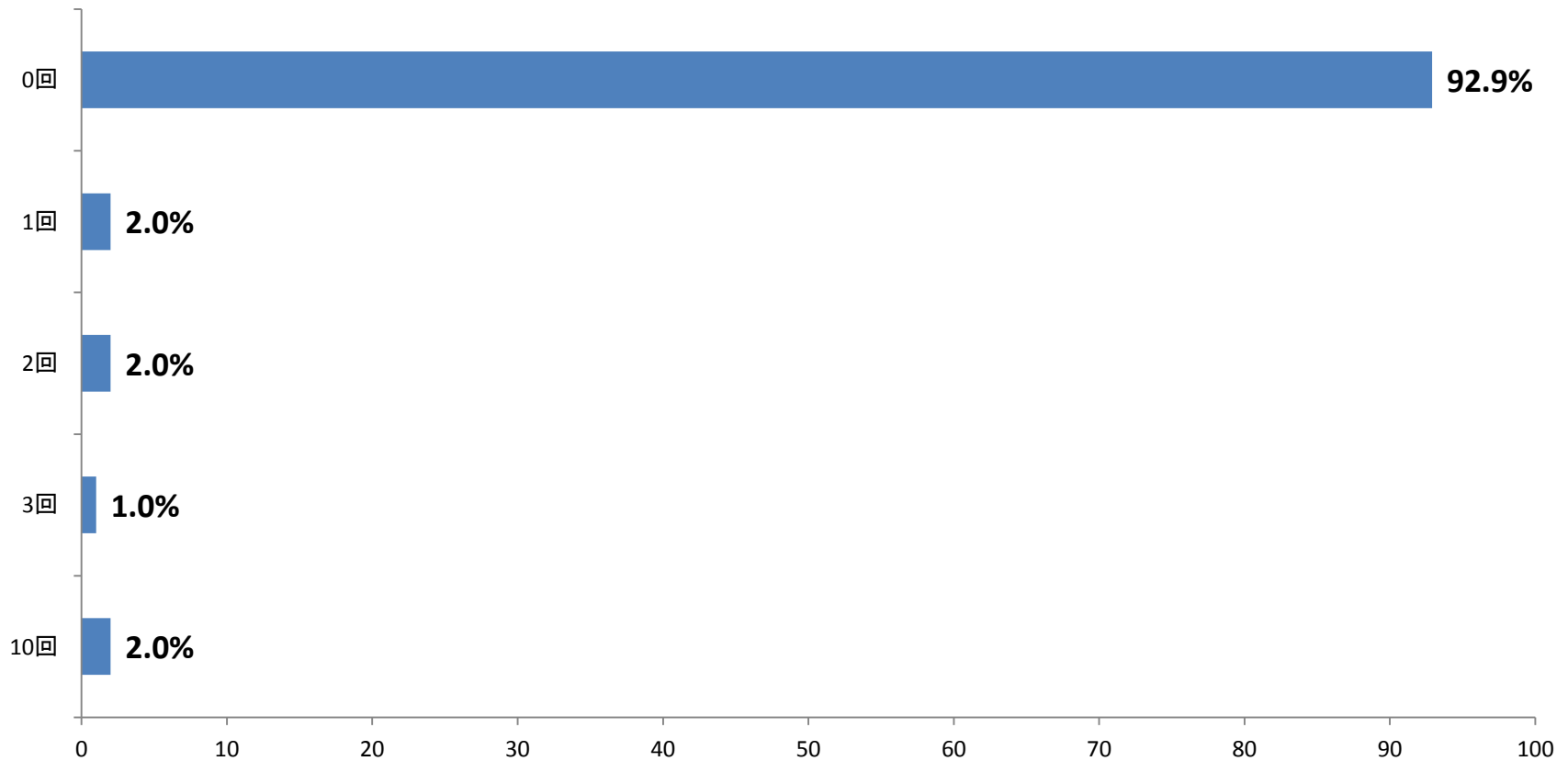
# タイミング法を行った年数



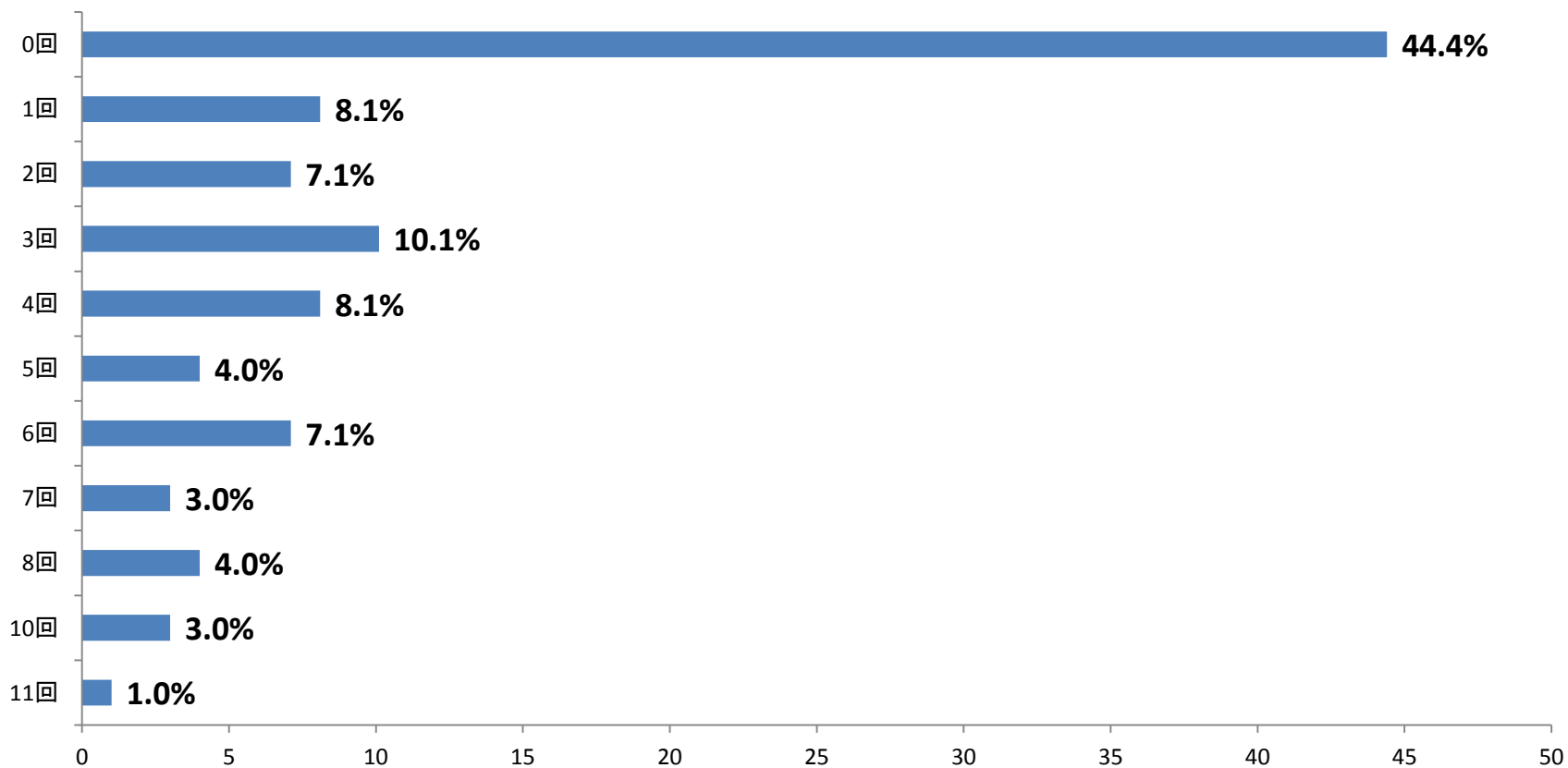
# 体外受精を実施した回数(採卵チャレンジのみを含む)



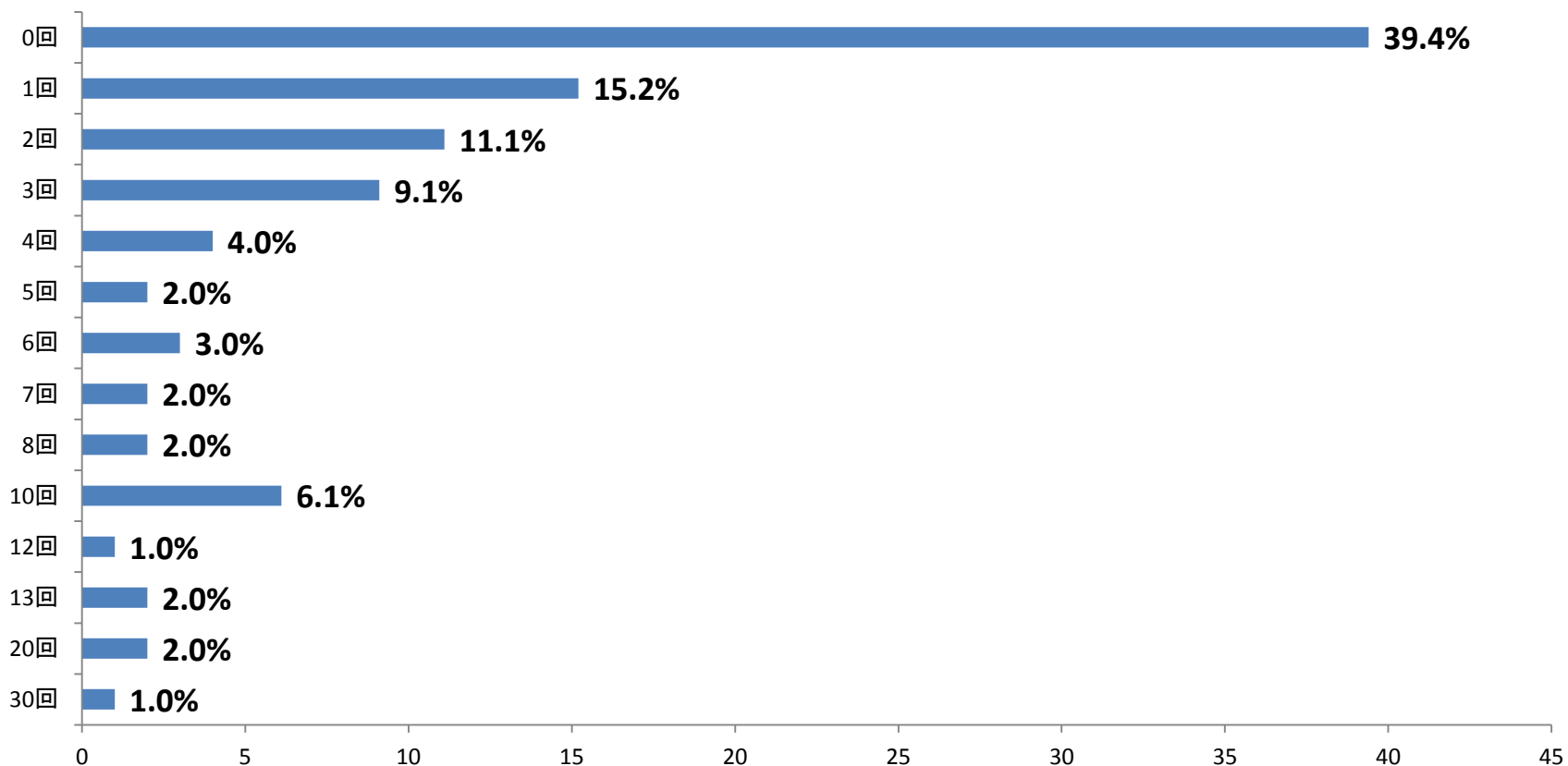
# 精子吸入採取を実施した回数



# AIH(配偶者間人工授精)を実施した回数

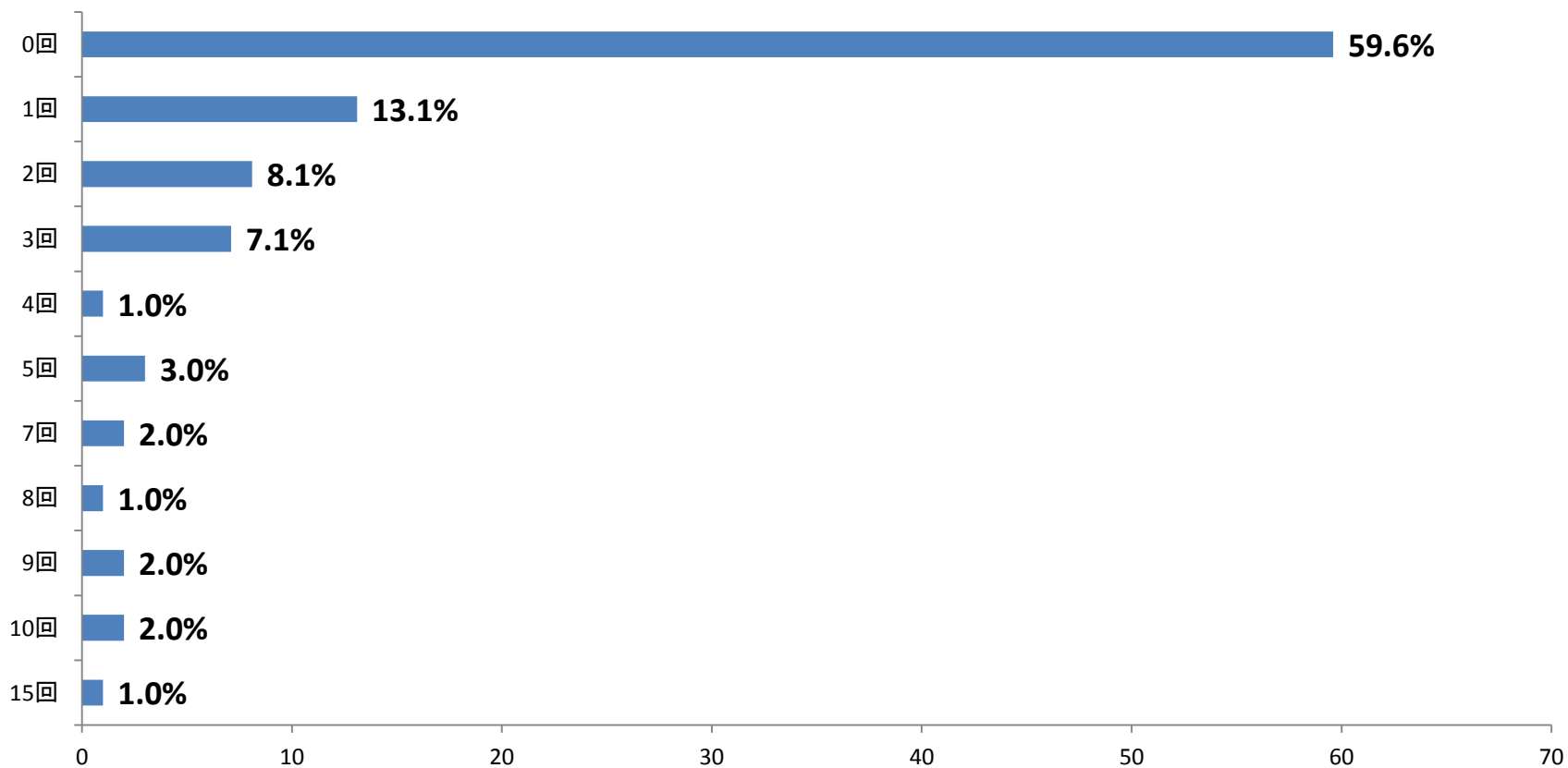


# 顕微授精を実施した回数(採卵チャレンジのみを含む)

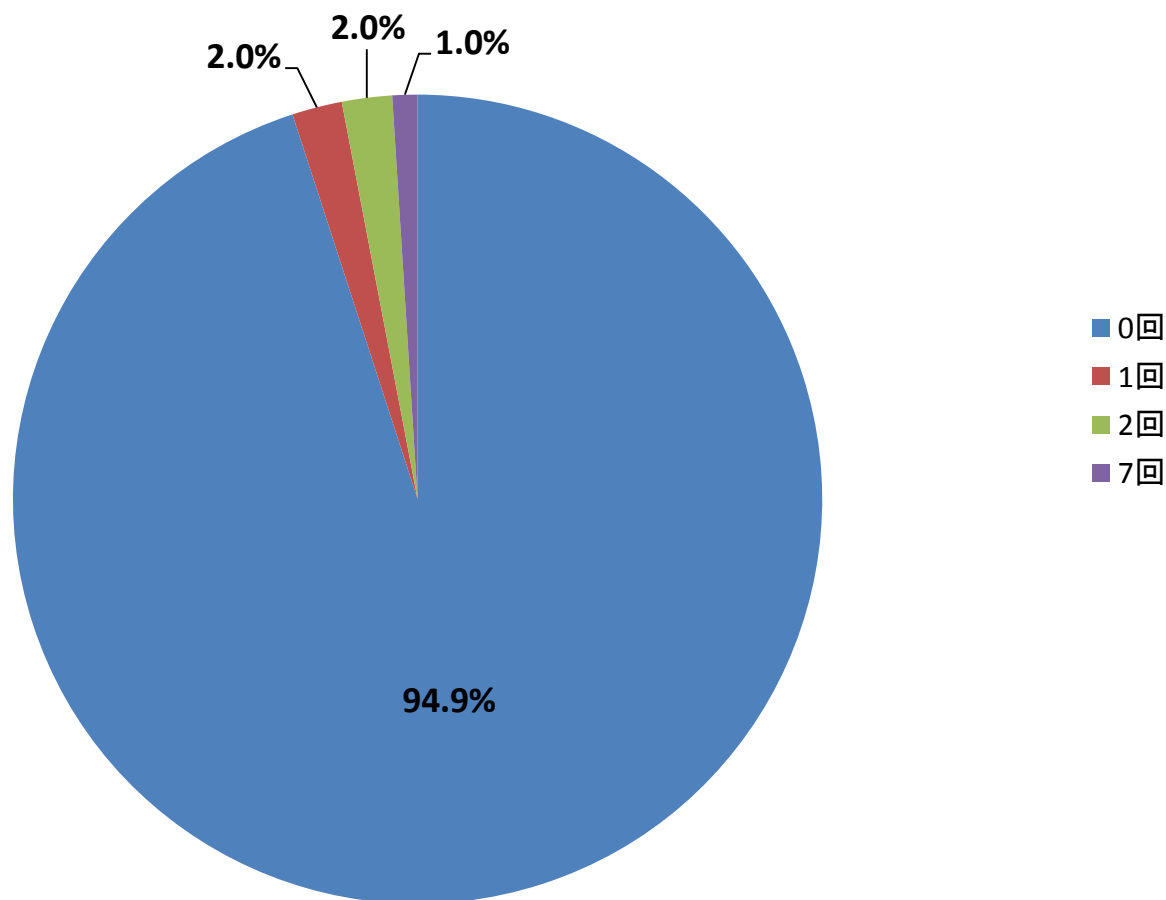




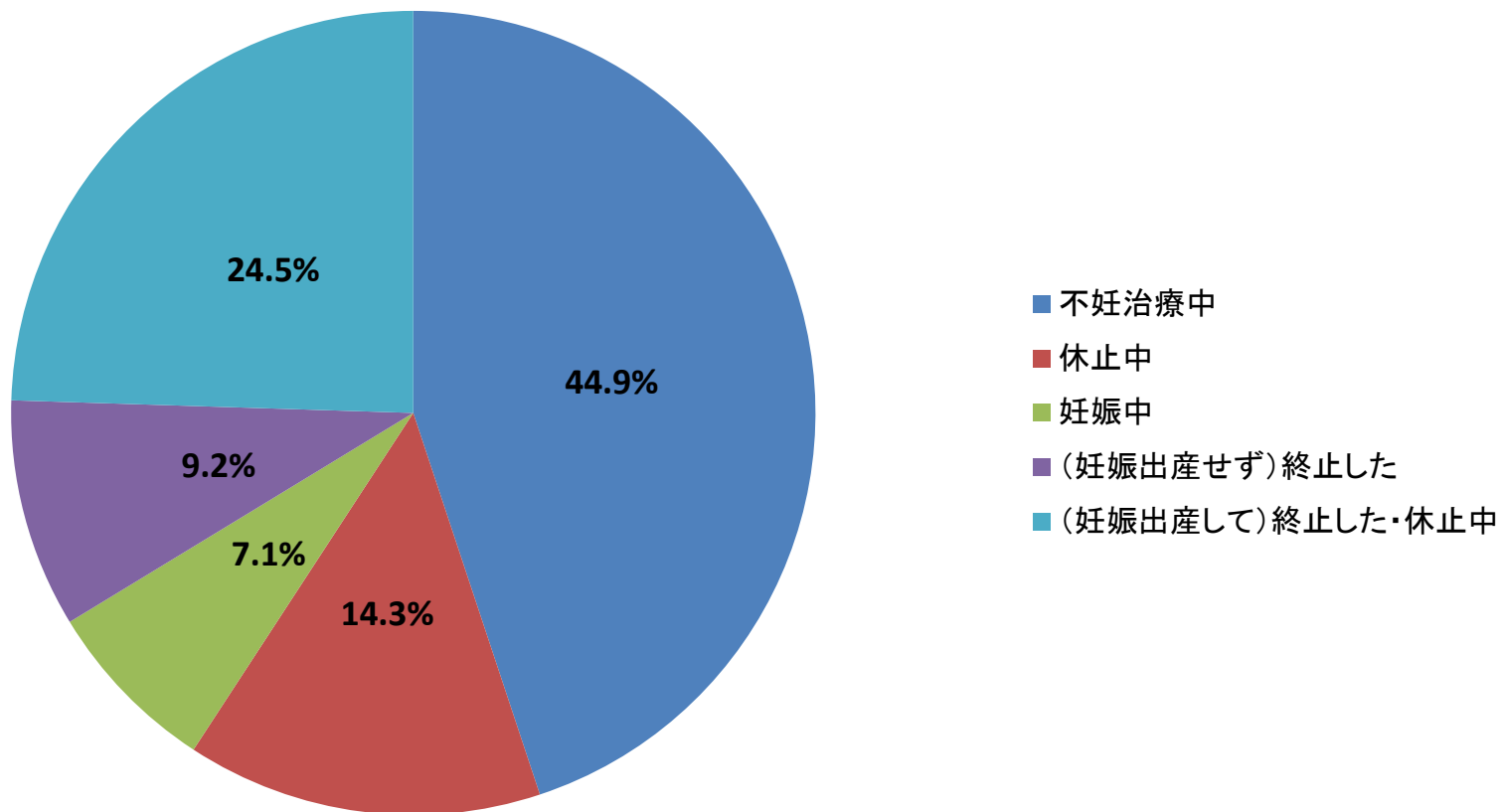
# 融解して移植(ETのみ)を実施した回数



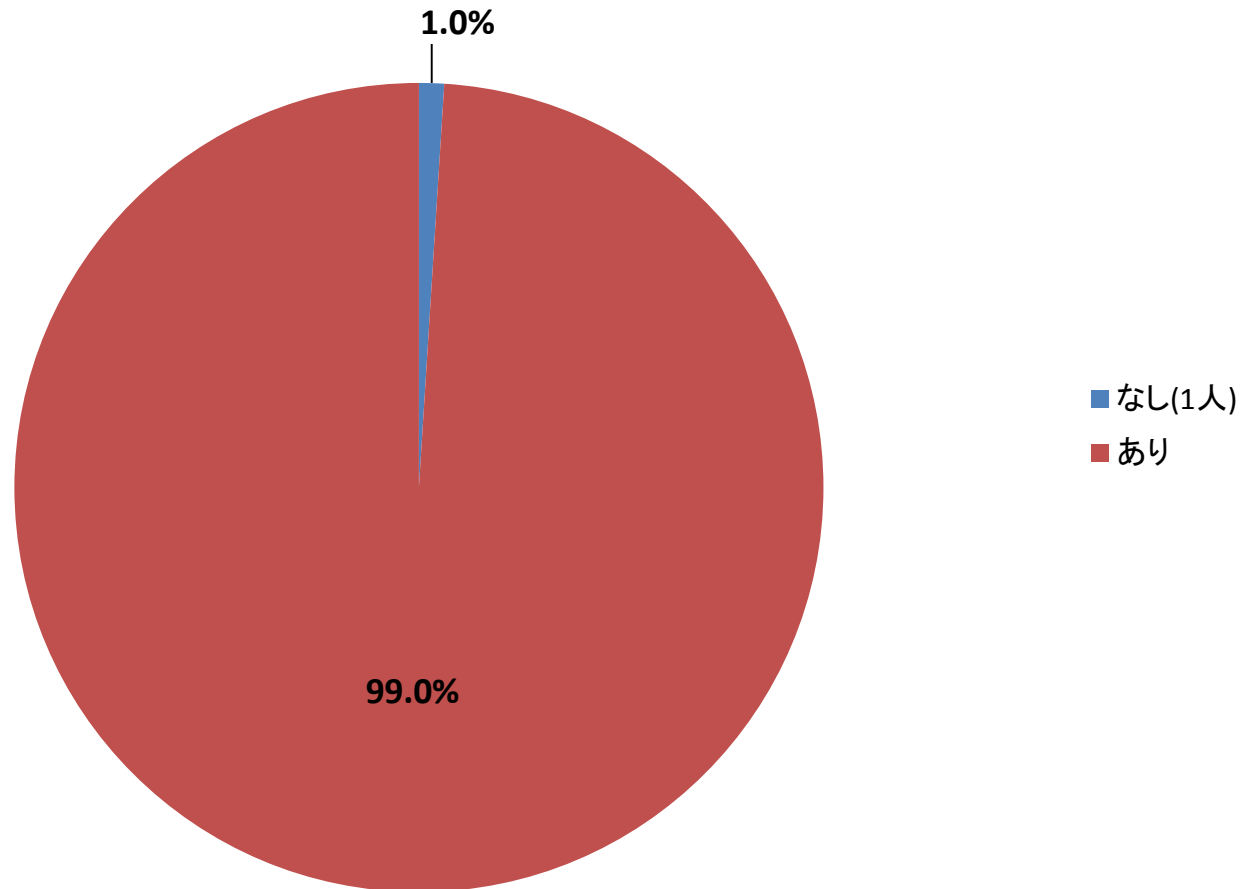
# 卵子提供を伴う体外受精を実施した回数



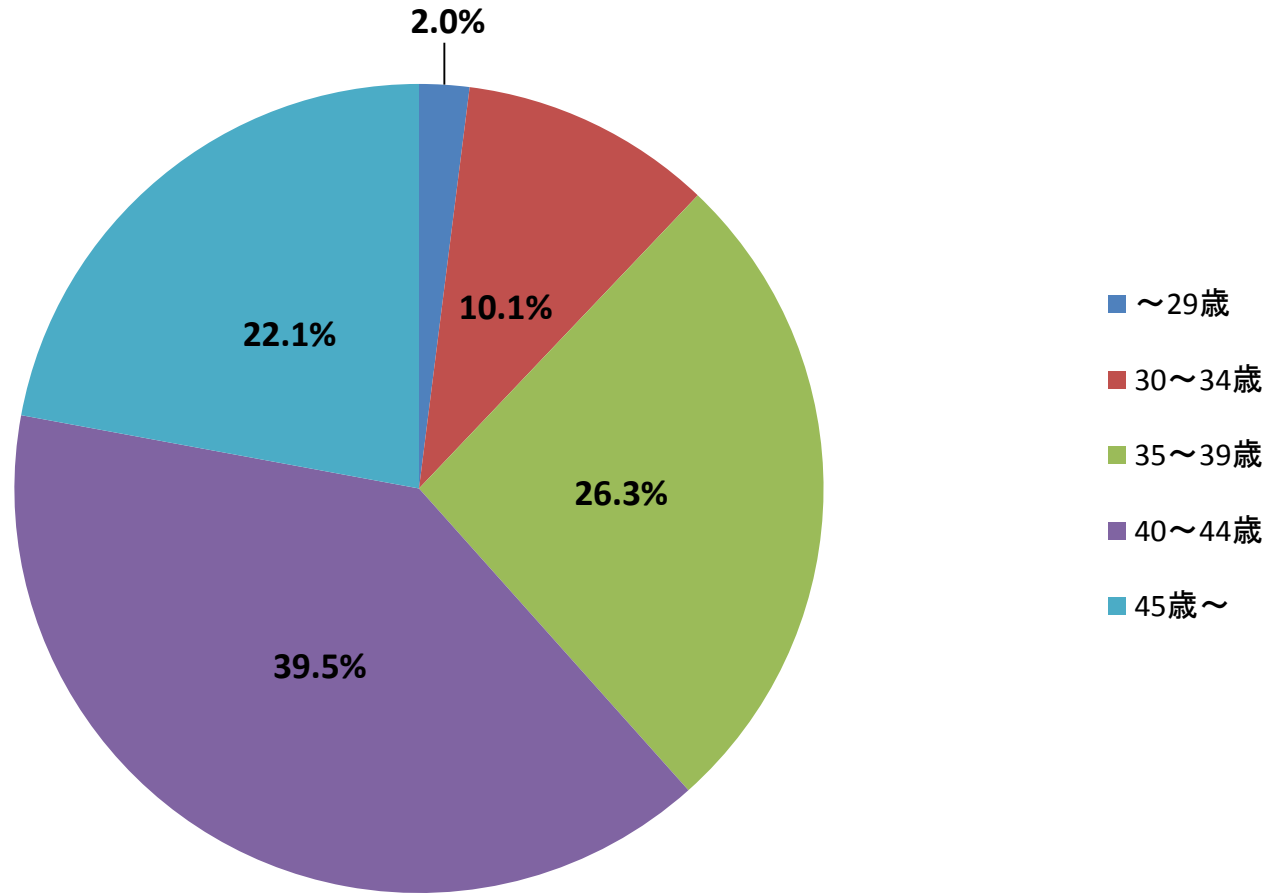
# 現在、不妊治療を行なっているか



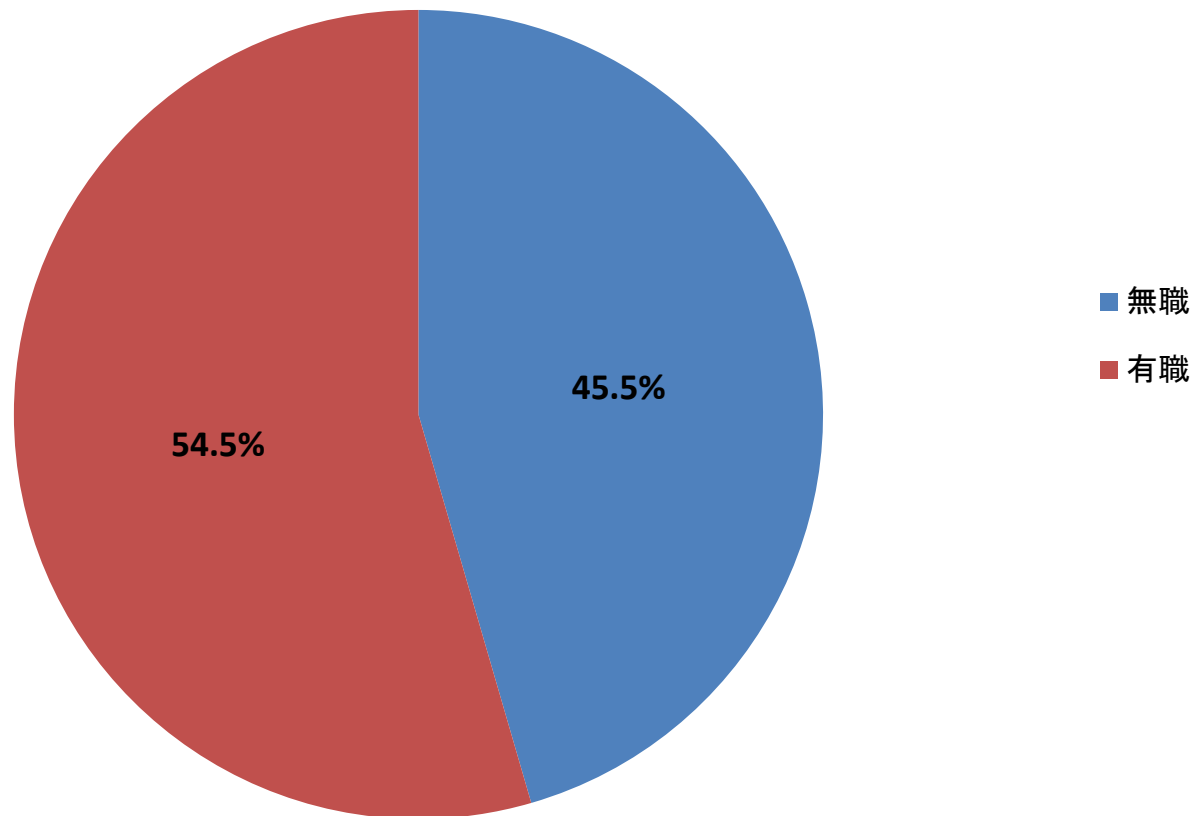
# 現在の配偶者の有無



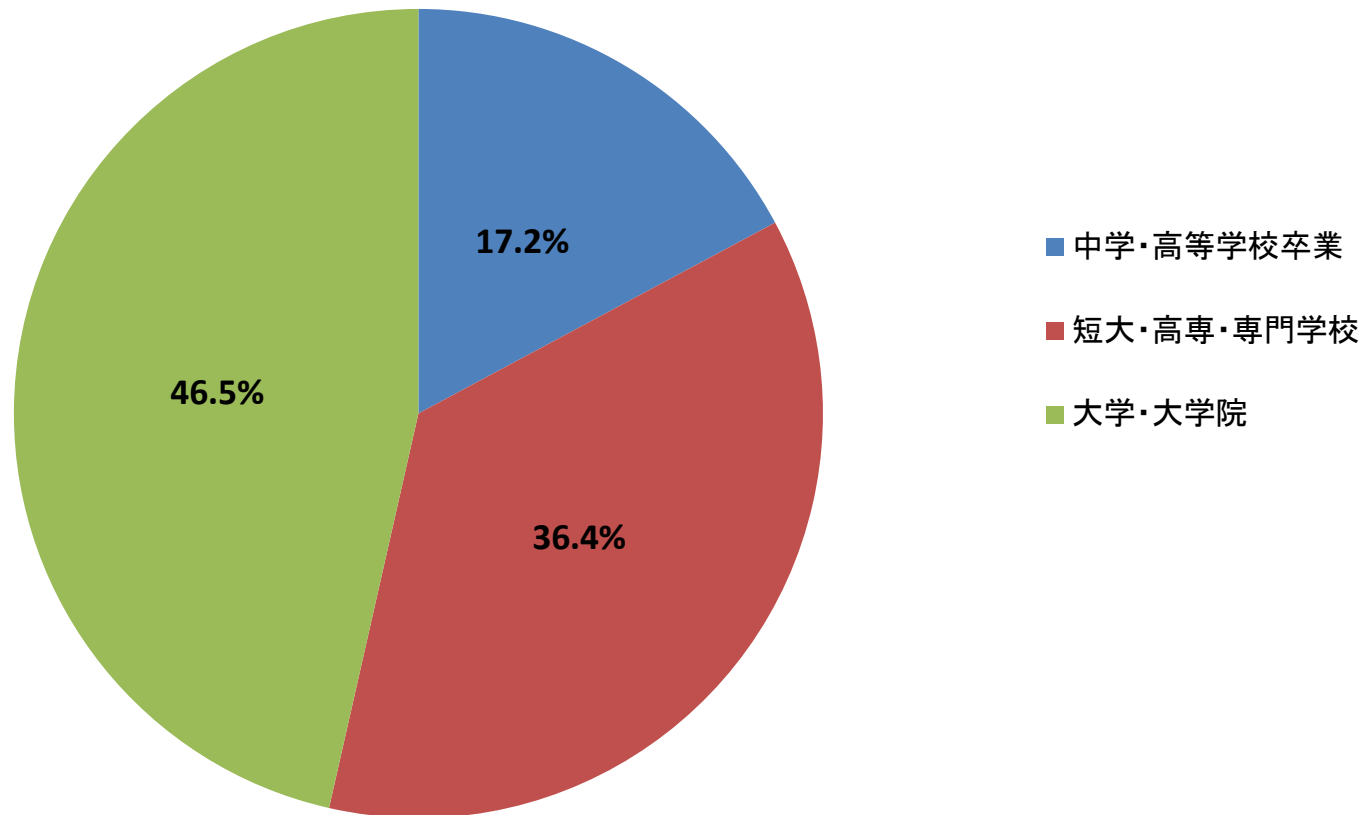
# 現在の年齢



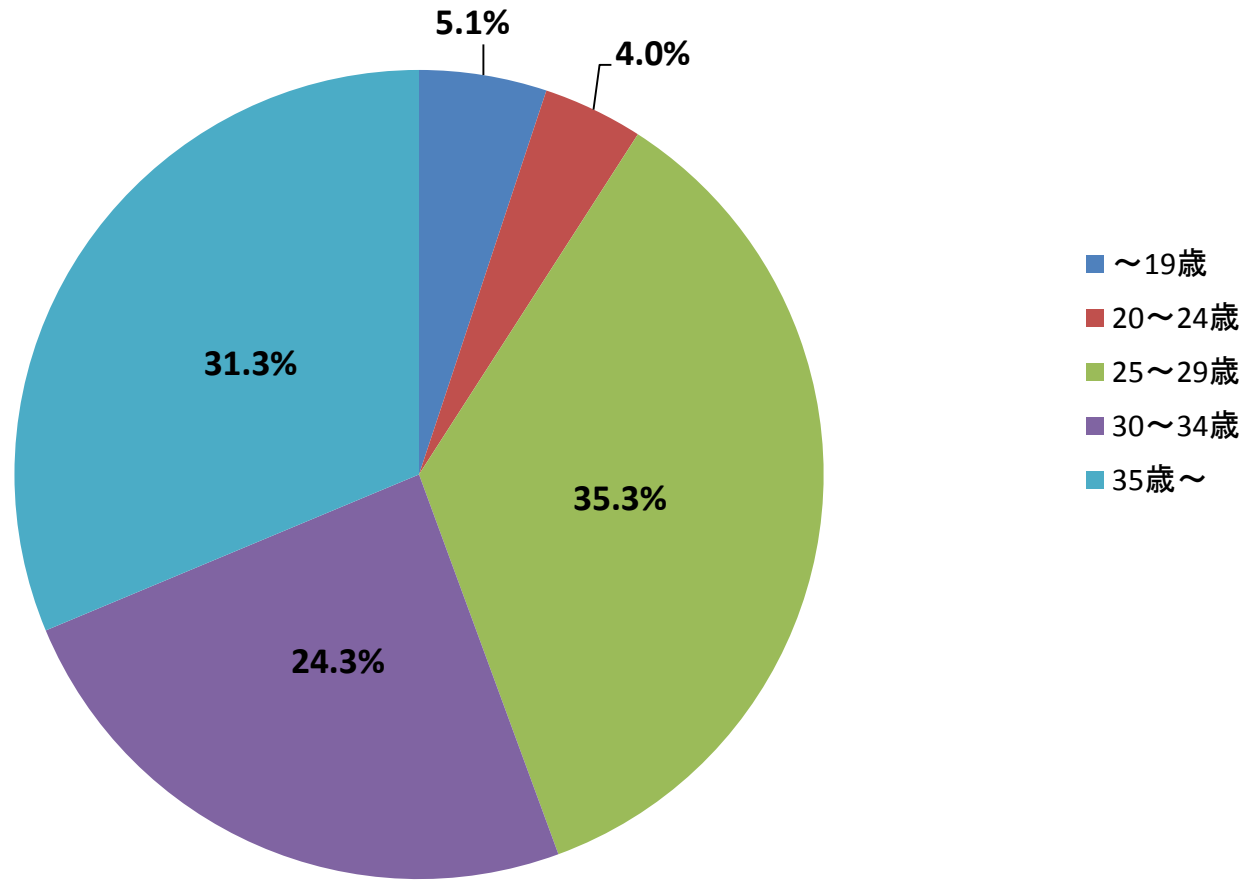
# 現在の就労の有無



# 最終学歴(退学含)

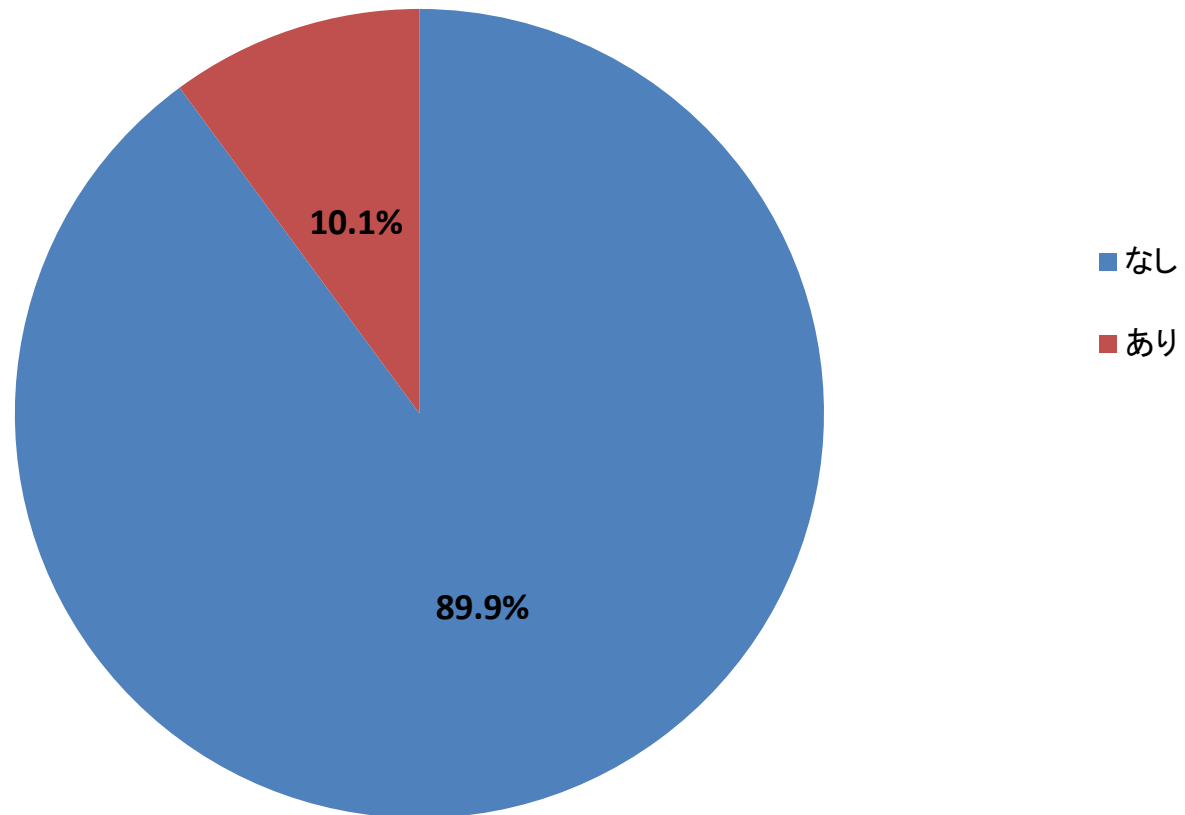


# 初婚年齢

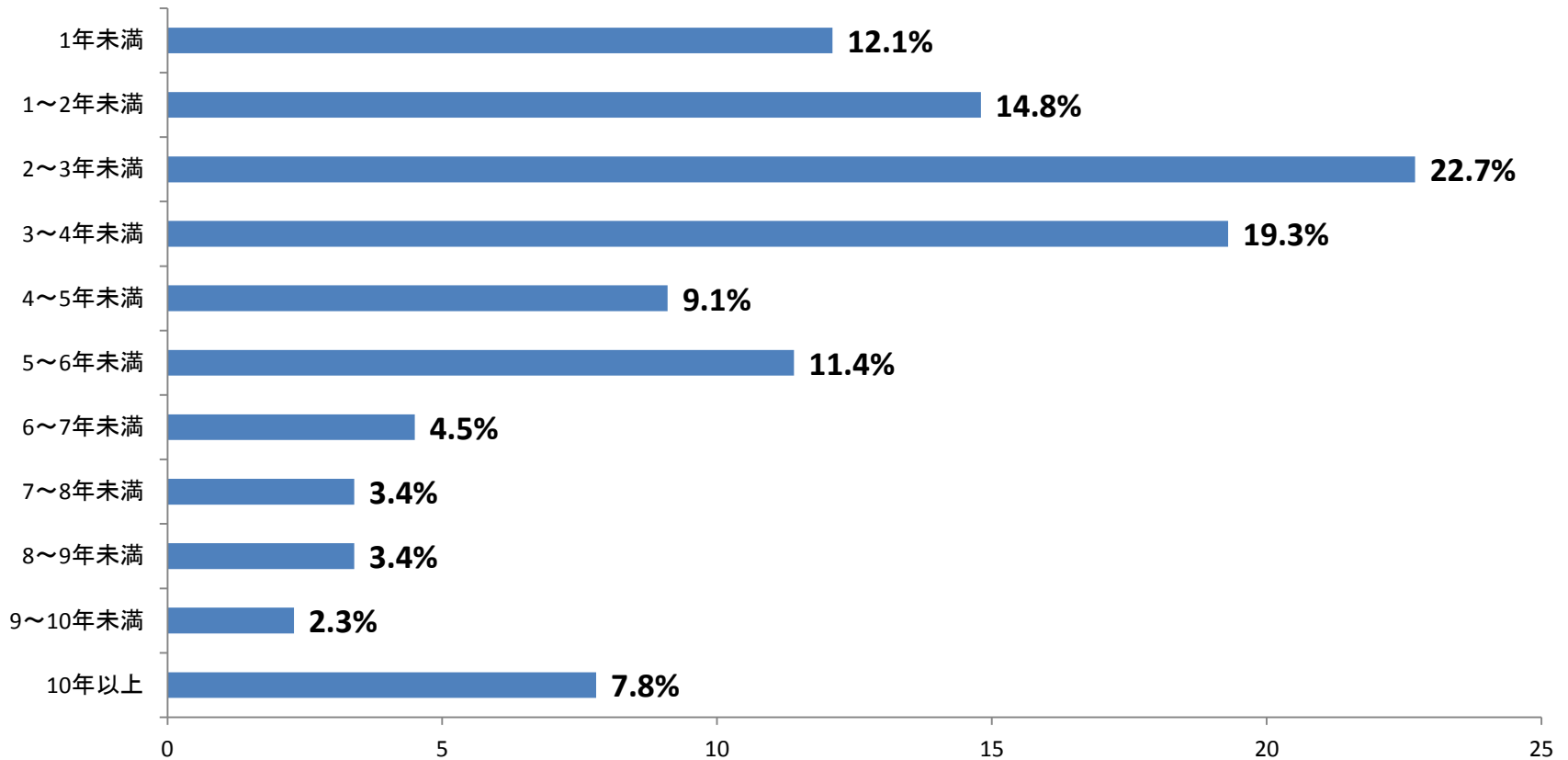




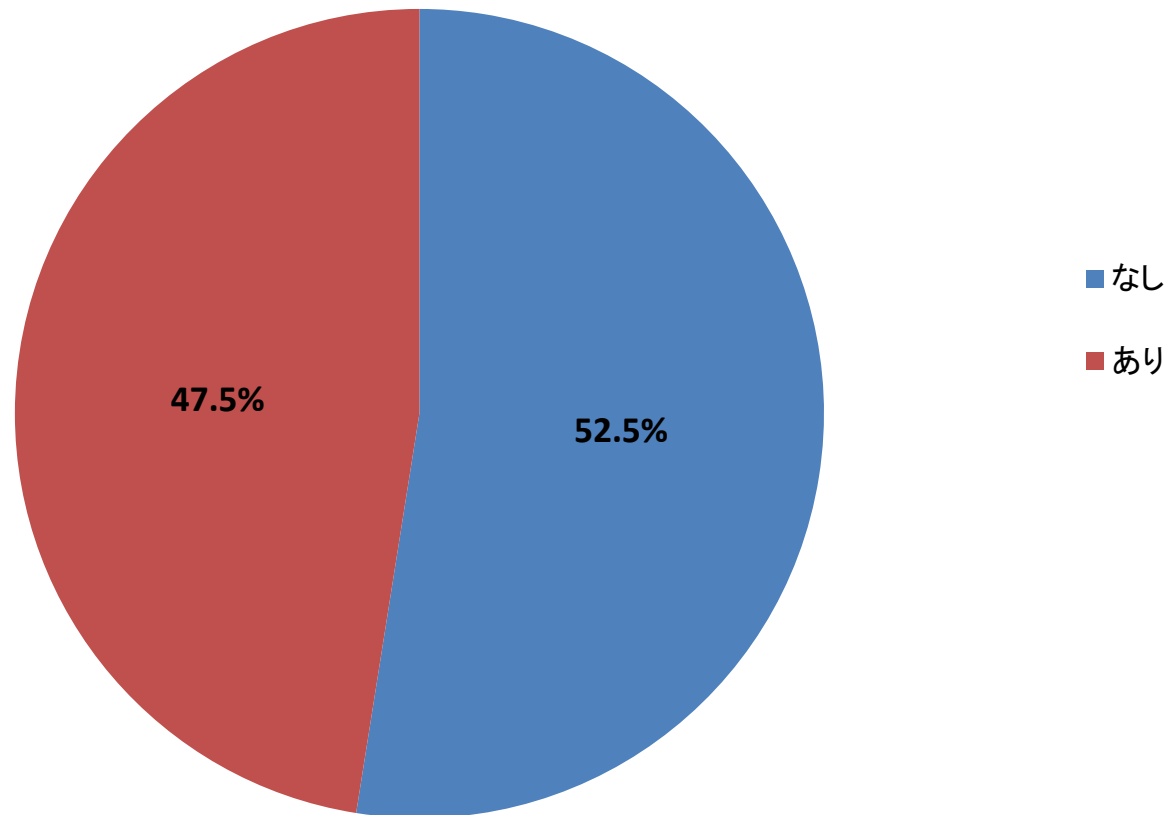
# 離別・死別・再婚経験



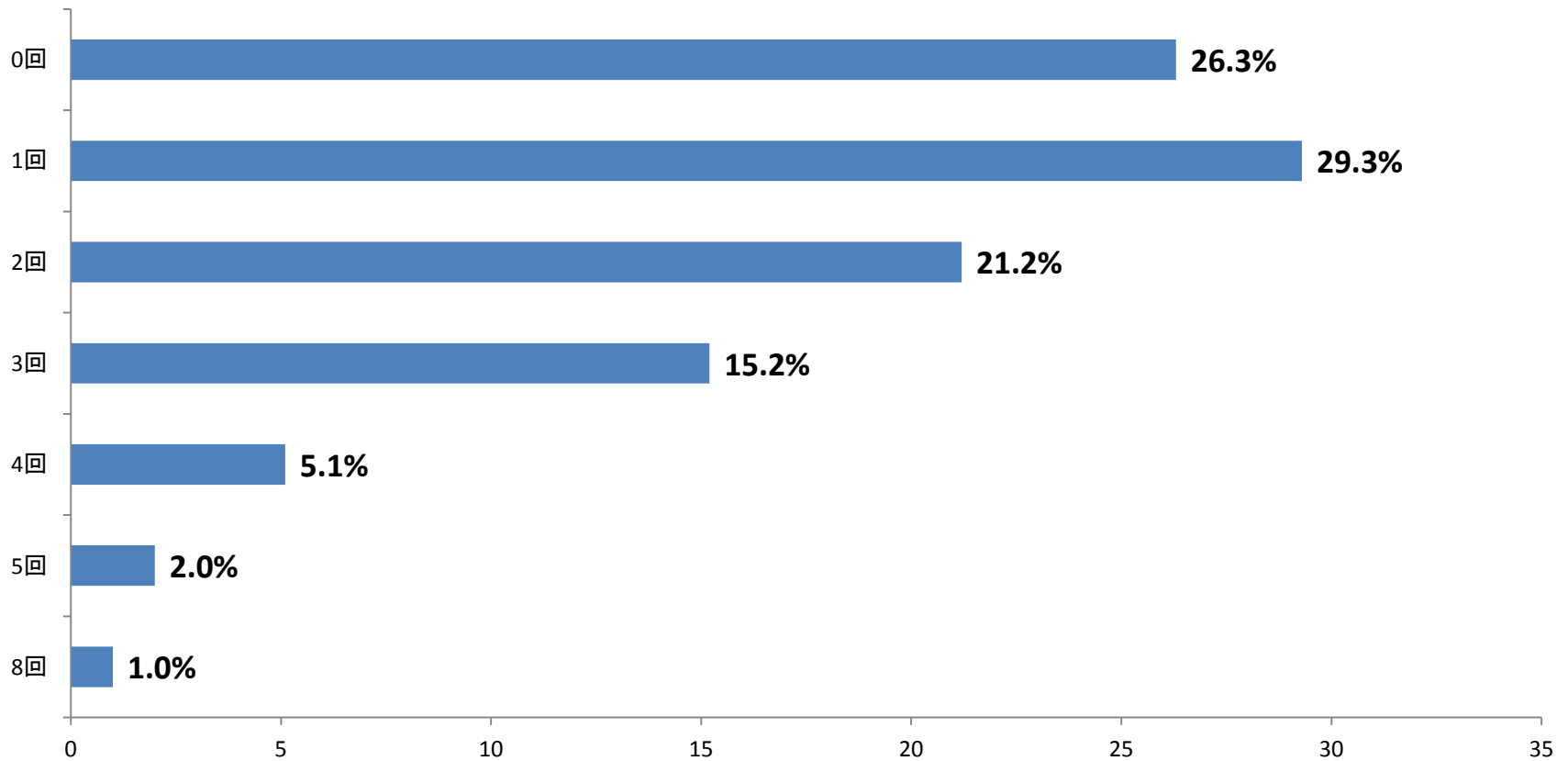
# 不妊治療歴(年)



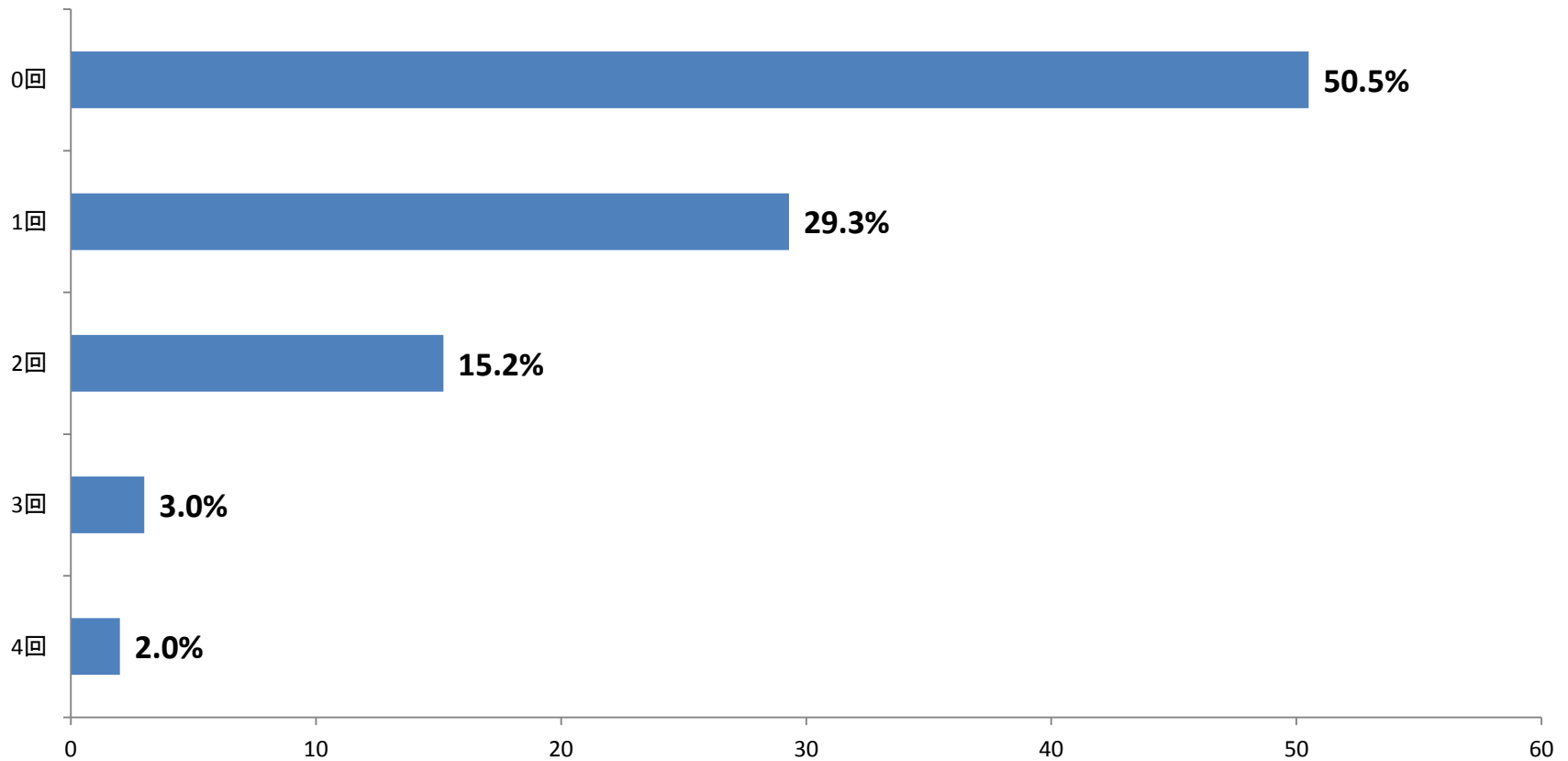
# 姉妹の有無



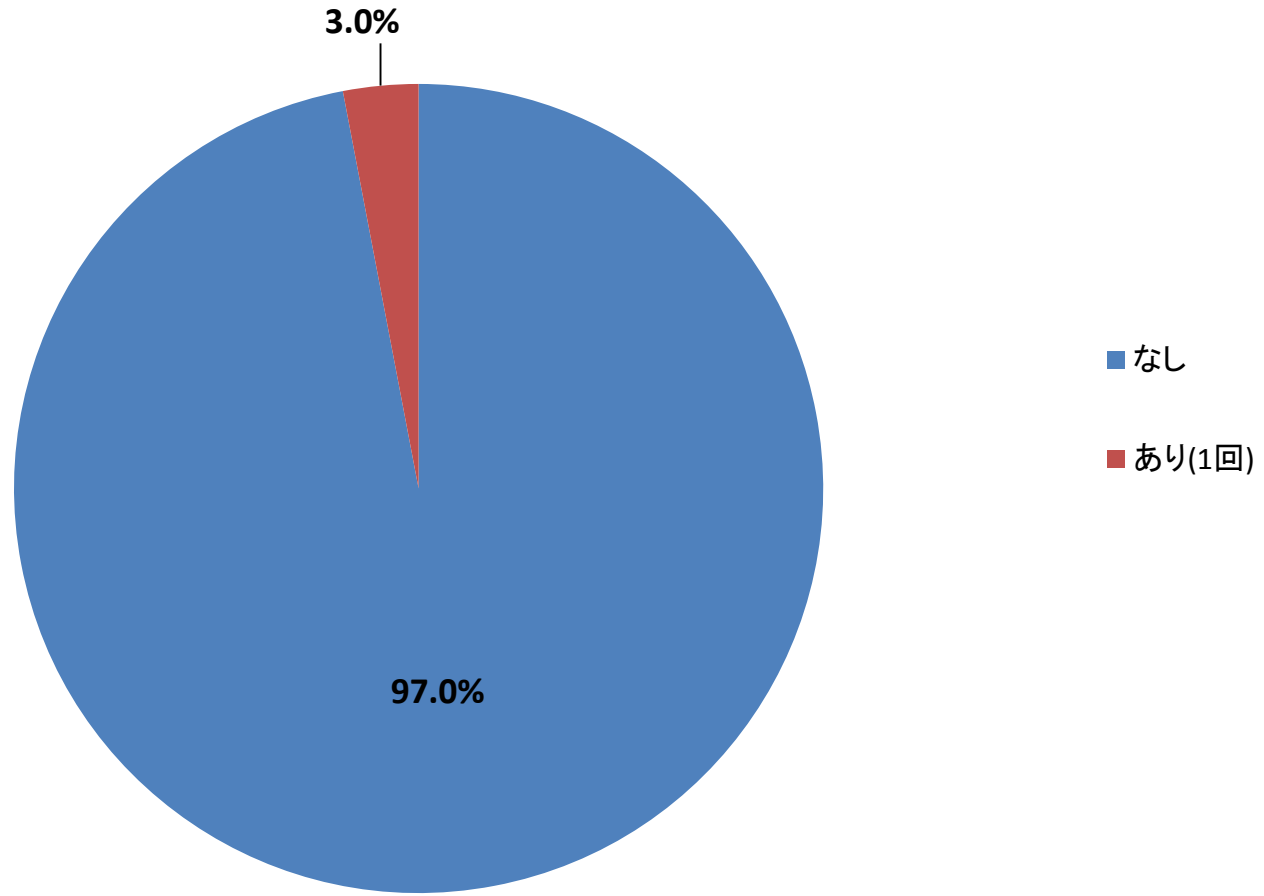
# 妊娠回数(化学的妊娠含)



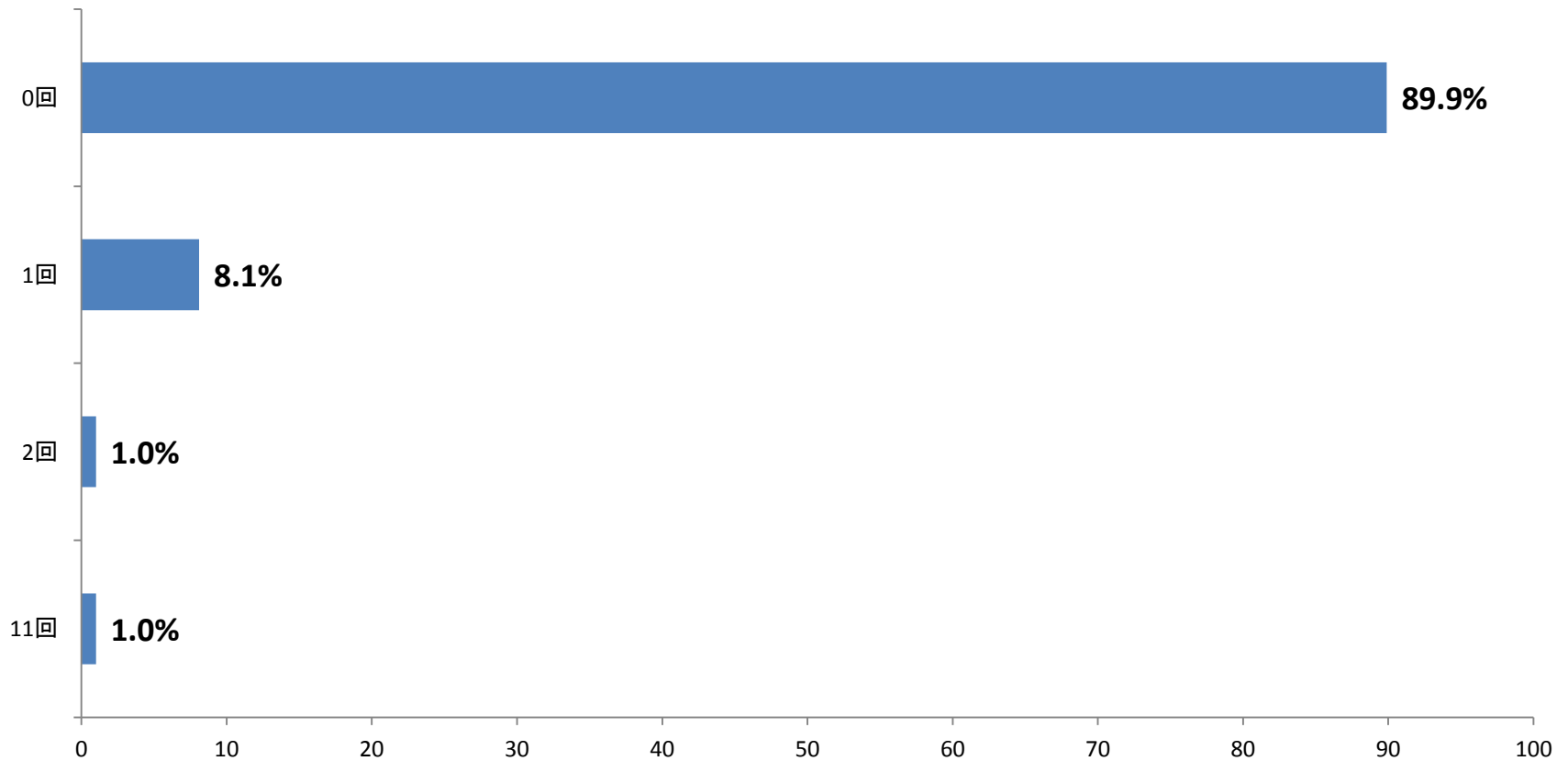
# 流産・異常妊娠処置回数



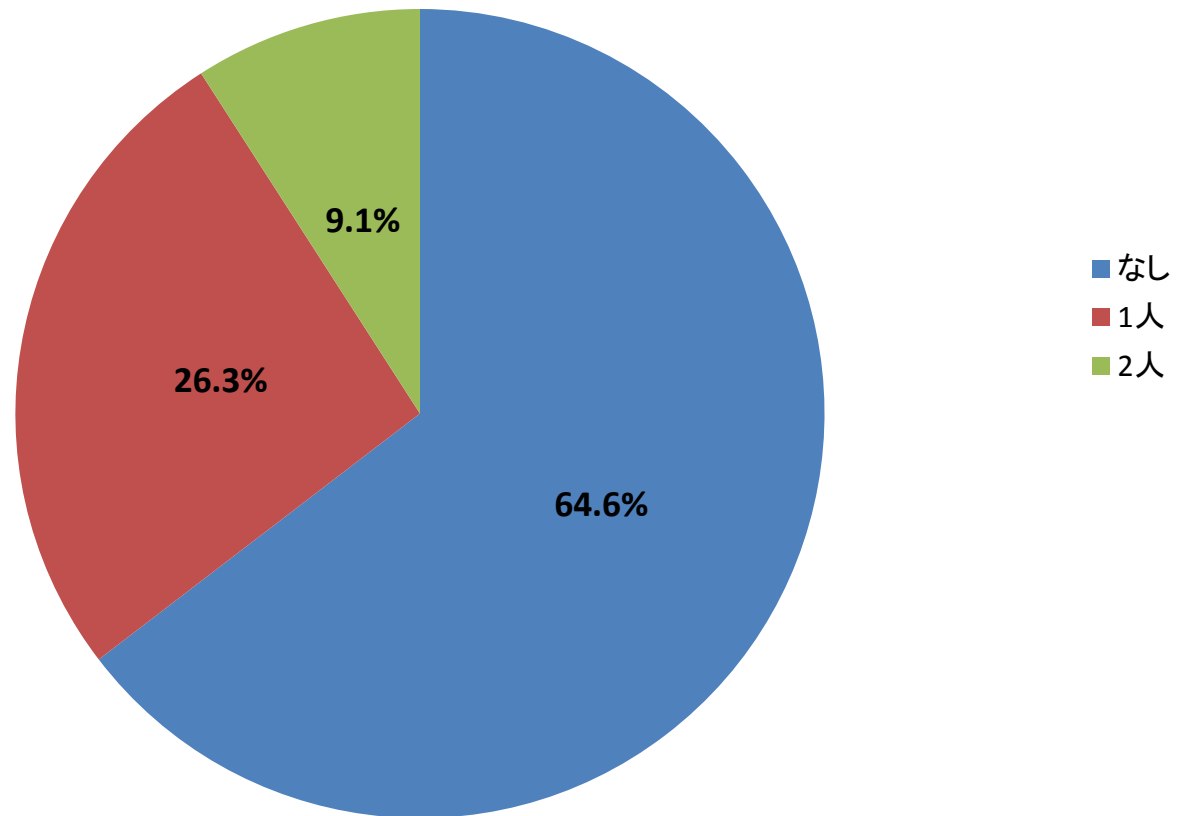
# 死産経験



# 人工妊娠中絶

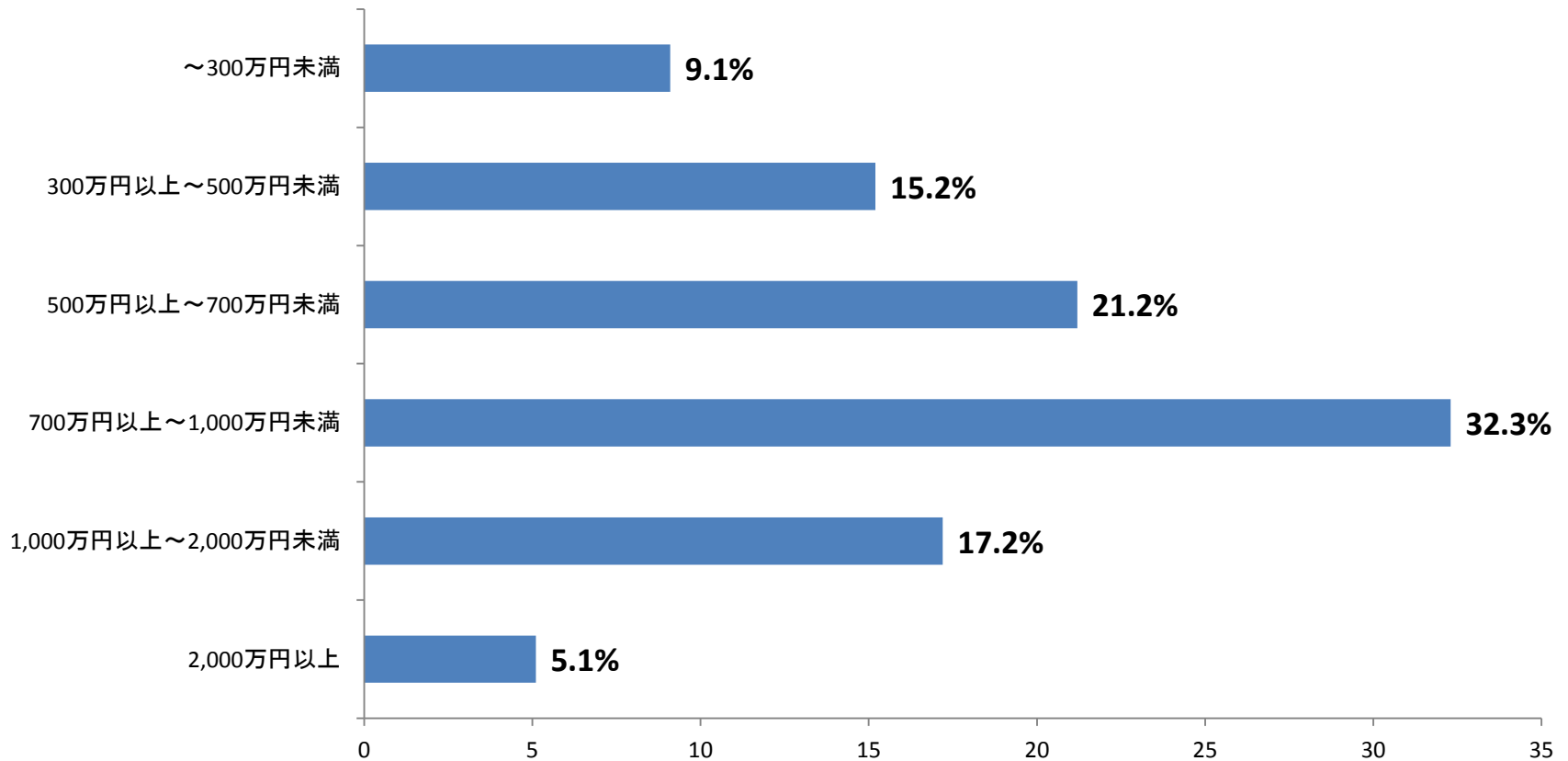


# 子どもの数





# 世帯年収(税込み)



# 卵子提供・代理出産についての考え その1

- とても難しい問題だと思えます。どうしても子どもを授かりたい人はその方法を用いればいいと思えます。私はそこまではしなないと思えます。夫婦二人で暮らしていきたいです。(24歳 不妊治療歴1年)
- 子供を切実にほしいと考えている人には 必要な技術・手段だと思う(27歳 不妊治療歴1年)
- 子どもは夫婦2人の間にできるものであってほしいので、他人の卵子を使ったり他人に生んでもらうということには非常に抵抗がある。なので自分自身のこととしてはまったく現実味をもって考えられない。(37歳 不妊治療歴不明)
- 当事者になるまでは否定的な考えでしたが、今ではできるならあらゆる可能性を試したいと思うようになりました。ただ金銭面で限界は感じています。(26歳 不妊治療歴3年)
- 不妊治療中は、いつも神様をお願いしていました。海外での治療や卵子提供、代理出産は私の中で現実的ではないので選択肢にはありませんでしたが、現実として方法が残されていない方にとっては、大きな悩みであると思えます。実際に治療を経験しても、やはりこういったことは受け入れ難く感じるので、普通に病院で受けられるようになることや後々の血縁関係、子どもへの伝え方など、難しいことが多く感じます。(33歳 不妊治療歴 2年半)
- 代理出産のほうが、大人も子供自身も複雑な思いを抱えそう(34歳 不妊治療歴不明)
- やはり世間の目が気になるので抵抗を感じる(28歳 不妊治療歴 2年)
- 自分自身はここまでしたくない。ただ個人の自由なので自分の卵子がためになるのなら提供することはいい。代理出産は依頼されても受けない。やはり情が出てしまうと思うから。(35歳 不妊治療歴1年)
- それが出来た時代に産まれたことに感謝して、あとは個人の自由だと思う。(38歳 不妊治療歴4ヶ月)
- 卵子提供は自分の子ではないのでそれより養子を考える。出産はそれなりのリスクがあるので(32歳 不妊治療歴6年)
- 何かトラブルがあった時に他人のせいにしてはならないと分かっている、心の中では葛藤が生まれると思う。(39歳 不妊治療歴1年6ヶ月)
- 妊娠・出産できない母体にとって、欲しい！子供が欲しい！という懇願からすると上記について賛成です。もっと、国内で情報収集できる機会や場所が増え、実際に日本での実施が合法化になることを願います。(36歳 不妊治療歴5年8ヶ月)

## 卵子提供・代理出産についての考え その2

- 当事者間の合意がある卵子提供は全く問題ないと思います。代理出産は個人的には必要性を感じませんが、子供を希望する夫婦にとって子供を持つことができる手段の一つとして今後重要になってくると思います。ですが産まれた子供の母親問題等、日本の法律は考え方が古すぎるので早急に改正してほしいと思います。日本は少子化問題があるのですから、卵子提供・代理出産についてもっと国が積極的になればいいと思います。(31歳 不妊治療歴2年3ヶ月)
- 契約として結ばれている以上提供者や出産した方は親権の主張はすべきでないし、法律でも依頼者を優先すべきと思う。それだけの覚悟や法整備ができないのであれば実施すべきでない。(37歳 不妊治療歴1年6ヶ月)
- とても難しい。できれば全員が自然に授かりたいと願っている。それでもどうしても授かることができない場合、卵子の提供ならまだしも代理出産した子を本当に愛せるのか疑問がある。(33歳 不妊治療歴1年)
- 卵子提供は、夫婦のうち夫の遺伝子を受け継ぐ子供を妻が出産する構図だが、妻の遺伝子は受け継がないのに「出産」の事実が残る。夫婦の自己満足によって子供が出産されるように思える。血縁を重視するあまりの行為に思える。代理出産は、妻になりかわり別の女性に妊娠・出産を委託する形態だが、遺伝により夫婦の子供と証明できるのだから奨励されてもいいと思う。出産の痛みを伴わなくても、父親は父親なのだから母にだけ「出産」の事実が必要、とはおかしい理屈だと思う。(35歳 不妊治療歴不明)
- お金がかかることだと思います。(32歳 不妊治療歴 6ヶ月)
- 卵子提供は個人的には考えられない。代理出産は割り切れる人同士の意味で行う分にはいいと思う。(43歳 不妊治療歴7年10ヶ月)
- 個人の自由だし、お互いが話し合っただけならそれでいいと思う。(29歳 不妊治療歴不明)
- 卵子提供、代理出産も抵抗があります。やはり子供ができた時、子供がこれから考えるであろう自分自身のことや将来を考えてしまいます。卵子提供は自分の子供ではない(遺伝子的に)と必ずどこかで思ってしまいます。代理出産は、2人の子供ではありますが、自分のお腹で育てて成長していく過程が自分自身も母性に目覚めるきっかけにもなりますし、人のお腹ではどうしても実感がわかないと思うんです。また代理出産してくれた方に母性が目覚め、間際になって手放さない...ってことになったら厄介です。(35歳 不妊治療歴5年4ヶ月)

## 卵子提供・代理出産についての考え その3

- 私自信はそこまでしないと今は思うが、実際に必要にせまられる状況になればわからないだろう。日本でももっと積極的に議論を行い、前向きに取り組むべき(41歳 不妊治療歴9年)
- 卵子提供は私自身考えない。代理出産は夫がどうしてもと望めば考えるかも。(33歳 不妊治療歴3年6ヶ月)
- まだ身近な現実として思わない。芸能人やお金持ちがやる治療の延長のイメージがある。(37歳 不妊治療歴8年)
- 提供する側もされる側も、精神的・肉体的負担がかかることなので、簡単に考えることはできないと思う。また、国内での法整備があまりなされていない中、行うことにも抵抗がある。(35歳 不妊治療歴7ヶ月)
- 純粹に不妊治療をしていて、子供が欲しいと願う夫婦がどうしてもその手段でしか子供を持つことができないのであれば、それはある程度の代償があった上で行うのには何の問題もないと思うが、その部分をオープンに自由にしてしまうのは、法的規制の未熟なうちは危険だと思う。親のエゴのみの医者の子、容姿端麗な子、スポーツ選手、など特定の子供が欲しいために、そういう遺伝子を選び好みで行うことは人間としてどうかと思うが、提供者の個人情報が開示されている場合、そっちのほうに偏ってしまうことは免れない。貧しい国の人が進進国へお金のために卵子提供や代理出産をするという話も聞いたことがあるし、金銭目的の提供もどこまでが良くてどこまでが悪いのかもわからない。売春婦の売買のようにそういうことが闇で行われなくても限らないし、未知の部分が多すぎて、現実的に考えることができない。そこまでして、子供が欲しいとも思わない。私は不妊治療をしているがまだ子供を授かったことが無く、この考えはもしかしたら、出産や育児を体験したら簡単に変わってしまう気もする。(41歳 不妊治療歴4年1ヶ月)
- もっと日本も普及していいと思う。ただ、少子化と叫ばれている割には子供を望む不妊治療において全体的に不親切に感じる。現在、卵子提供や代理出産というと＝海外でしか受けられないイメージ。海外＝お金と時間がかかる＝言葉の問題＝本当に信頼出来るか 等等、踏み込みたい思いや事情があったとしても、とつき辛い。TV等で見かけてもこれらが可能であるのは裕福な一部の人だけなように思う。(36歳 不妊治療歴10年)
- 身体的に、妊娠・出産ができないのであれば、きっぱり子どもはあきらめる。夫婦2人の生活を考えればよい。ただ、否定しているわけではない。私ならば受けることはない。(38歳 不妊治療歴2ヶ月)
- 子供を欲しいと思う気持ちの強さはひとそれぞれ。どうしても欲しいのにできないのは辛い事なので卵子提供、代理出産という選択肢があってもよいと思います。ただし生まれた子供や本人たちが精神的に辛い目にあわないように・・と思います。提供して下さる側の体も心配です。(40歳 不妊治療歴2年)